

## (参考資料 1)

# HPVワクチンに関する調査 1 及び 2 (接種対象者/保護者向け調査)

## 調査結果

### ■ 目次

- p1～p59 調査 1 「HPVワクチンに関するアンケート調査」 結果
  - p4～p26 サマリー
  - p28～p59 学年ごとのクロス集計
- p60～p79 調査 2 「HPVワクチンに関するインタビュー調査」 結果

# 調査 1 「HPVワクチンに関するアンケート調査」

<b>目的</b>	接種対象者と保護者における、HPVワクチンや子宮頸がんに対する認知・認識、および接種に対する考え方等を把握する
<b>形式</b>	オンラインアンケート調査 ※小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答する方式で実施
<b>対象者</b>	<p>以下の条件で、生まれ年度ごとに400サンプルを回収。エリア別の構成は下記表のとおり。</p> <p>【接種対象者本人】 1997年度～2011年度生まれの女性*1      6,000サンプル      *1：2023年度に小学校6年～26歳になった女性</p> <p>【保護者】 2005年度～2011年度生まれの娘*2 がいる母親      2,800サンプル      *2：2023年度に小学校6年～高校3年相当になった娘</p> <p>※サマリー（p4～p26）については、以下の集団での割付とした。</p> <p>【接種対象者本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校6年～高校1年相当の女性      2,000人</li> <li>高校2年～3年相当の女性      800人</li> <li>1997年度～2004年度生まれの女性*3      3,200人      *3：2023年度に19歳～26歳になった女性</li> </ul> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校6年～高校1年相当の娘がいる母親      2,000人</li> <li>高校2年～3年相当の娘がいる母親      800人</li> </ul>
<b>調査期間</b>	2024/2/29（木）～2024/3/4（月）

<エリア別構成>	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
① 2011年度生まれ（小学校6年）の女性	40	141	66	74	33	46	400
② 2010年度生まれ（中学校1年）の女性	40	141	66	74	33	46	400
③ 2009年度生まれ（中学校2年）の女性	40	141	66	74	33	46	400
④ 2008年度生まれ（中学校3年）の女性	40	141	66	74	33	46	400
⑤ 2007年度生まれ（高校1年相当）の女性	40	141	66	74	33	46	400
⑥ 2006年度生まれ（高校2年相当）の女性	40	141	66	74	33	46	400
⑦ 2005年度生まれ（高校3年相当）の女性	40	141	66	74	33	46	400
⑧ 2004年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑨ 2003年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑩ 2002年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑪ 2001年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑫ 2000年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑬ 1999年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑭ 1998年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑮ 1997年度生まれの女性	40	141	66	74	33	46	400
⑯ ①に該当する娘がいる保護者	43	144	64	72	33	44	400
⑰ ②に該当する娘がいる保護者	43	144	64	72	33	44	400
⑱ ③に該当する娘がいる保護者	43	144	64	72	33	44	400
⑲ ④に該当する娘がいる保護者	43	144	64	72	33	44	400
⑳ ⑤に該当する娘がいる保護者	43	144	64	72	33	44	400
㉑ ⑥に該当する娘がいる保護者	43	144	64	72	33	44	400
㉒ ⑦に該当する娘がいる保護者	43	144	64	72	33	44	400
合計	901	3123	1438	1614	726	998	8800

※エリア（地域）の偏りが発生しないよう、国勢調査の構成比に近似させて割り付け

※エリア内訳：  
 【北海道・東北】 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県  
 【関東】 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県  
 【中部】 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県  
 【近畿】 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県  
 【中国・四国】 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県  
 【九州・沖縄】 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

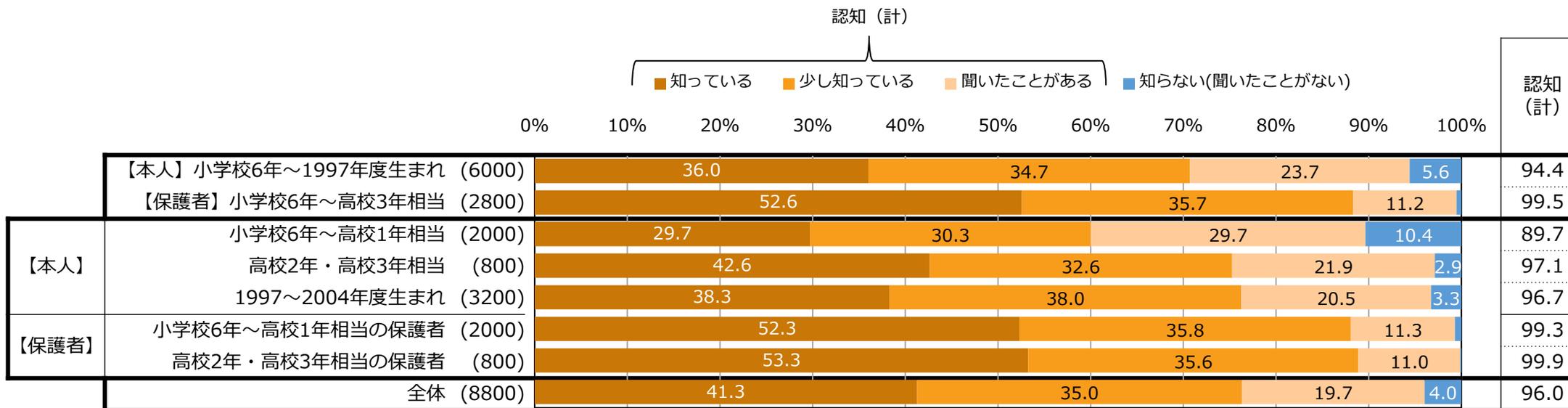
# サマリー編

---

Q：あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

① [「子宮頸(けい)がん」という病気について]

- 接種対象者本人は「知っている」36.0%に対し、保護者は52.6%と本人より高い。
- 本人の割付別で見ると、「知っている」は、高校2年・3年相当が42.6%と一番高く、次いで、1997～2004年度生まれが38.3%、小学校6年～高校1年相当では29.7%であった。



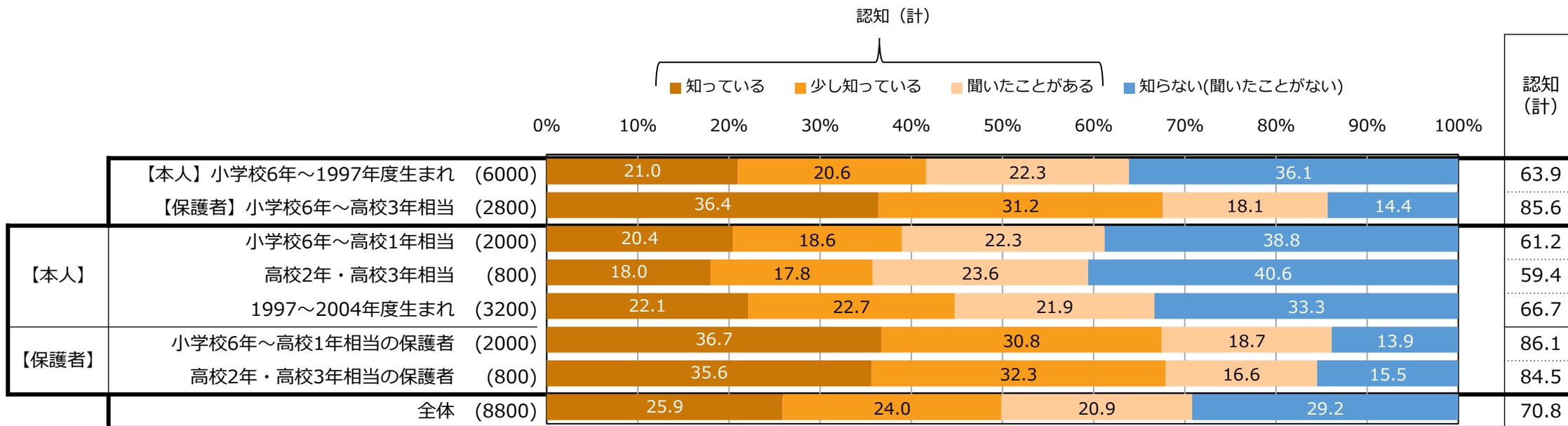
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q: あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

② [「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン」について]

- 本人は「知っている」21.0%に対し、保護者は36.4%と高く、「知らない」は本人は36.1%に対し、保護者は14.4%と低い。
- 本人の割付別では「知っている」では違いはあまりないが、「知らない」は高校2年・高校3年相当40.6%、小学校6年～高校1年相当38.8%に対し、1997～2004年度生まれ33.3%とやや低い。



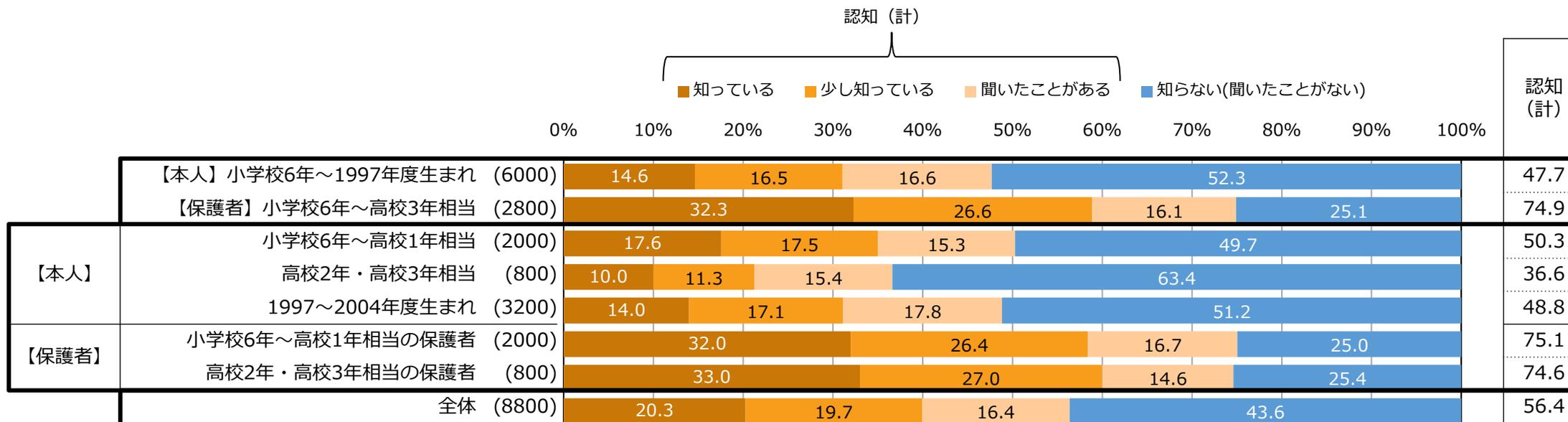
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

③ [ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種方法・必要な手続き]

- 本人は「知っている」14.6%に対し、保護者は32.3%と高く、「知らない」は、本人52.3%に対し、保護者は25.1%と低い。
- 本人の割付別でみると、「知っている」は、小学校6年～高校1年相当17.6%、1997～2004年度生まれ14.0%、高校2年・高校3年相当10.0%。「知らない」は、高校2年・高校3年相当63.4%と高く、1997～2004年度生まれ51.2%、小学校6年～高校1年相当49.7%と続く。



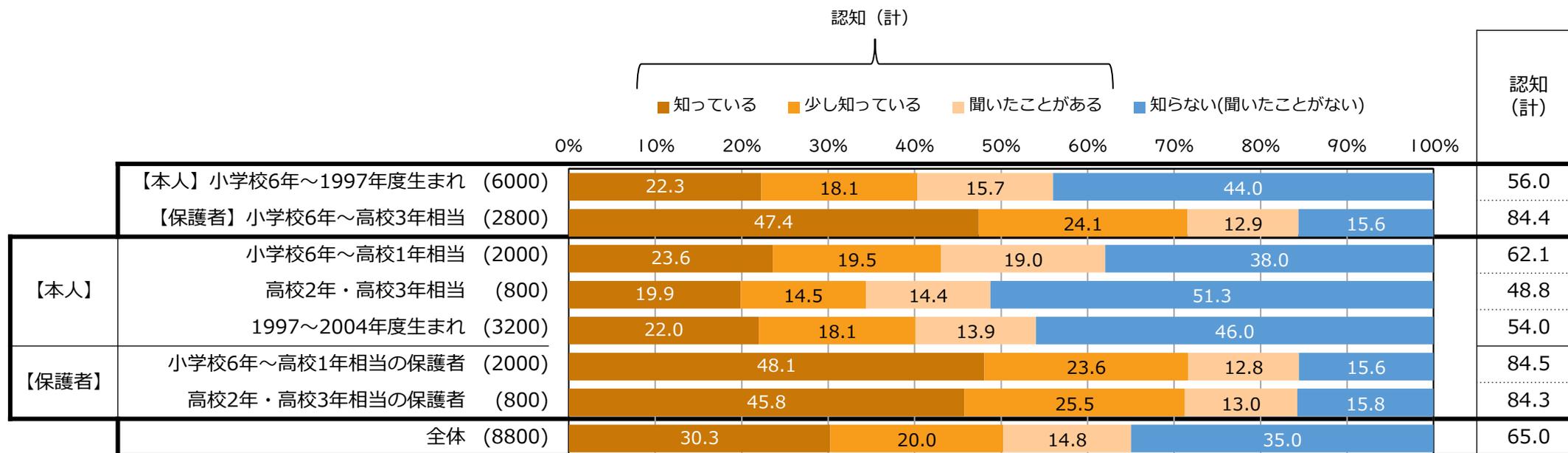
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

④ [政府が、小学校6年～高校1年相当に該当する女性に、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種を積極的にお勧めしていること]

- 本人は「知っている」は22.3%に対し、保護者は47.4%と高く、「知らない」は、本人44.0%に対し、保護者は15.6%と低い。
- 本人の割付別で見ると、「知らない」は高校2年・高校3年相当51.3%、1997～2004年度生まれ46.0%に対し、小学校6年～高校1年相当38.0%とやや低い。



※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

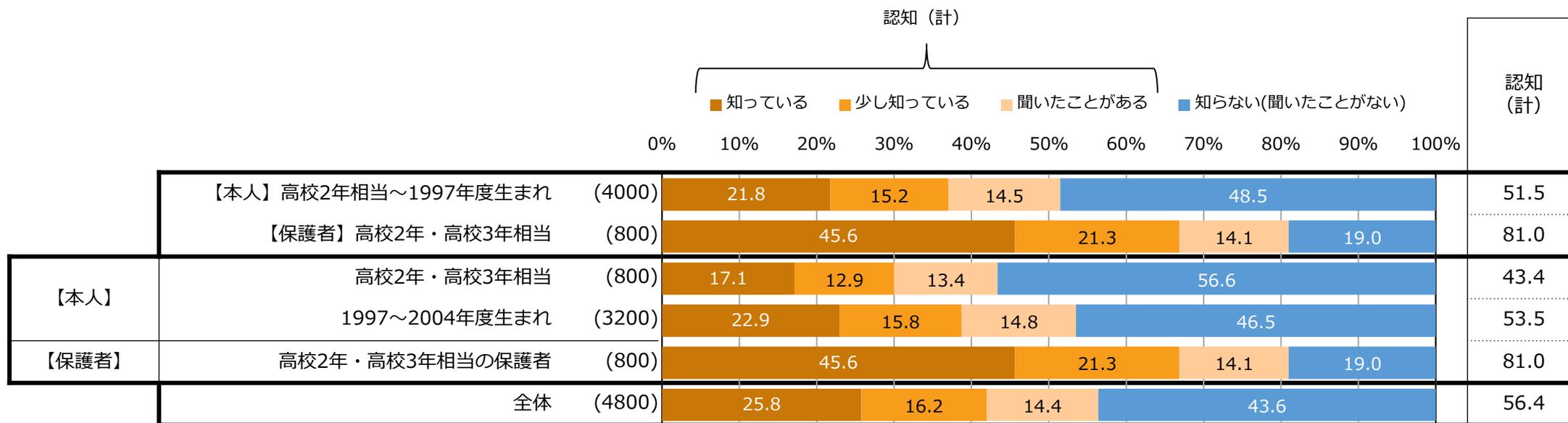
2%未満の数値ラベルは非表示

Q：（高校2年相当～1997年度生まれの女性本人、高校2年・高校3年相当の保護者のみ）

あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

⑤ [政府が、1997～2006年度生まれの女性に対しても、HPVワクチンを公費で接種できる機会を提供していること(キャッチアップ接種)]

- 「本人は「知っている」は21.8%、保護者は45.6%と高く、「知らない」は、本人48.5%に対し、保護者は19.0%と低い。
- 本人の割付別で見ると、1997～2004年度生まれは「知っている」22.9%に対し、高校2年・高校3年相当17.1%、「知らない」は、1997～2004年度生まれ46.5%に対し、高校2年・高校3年相当56.6%と高い。



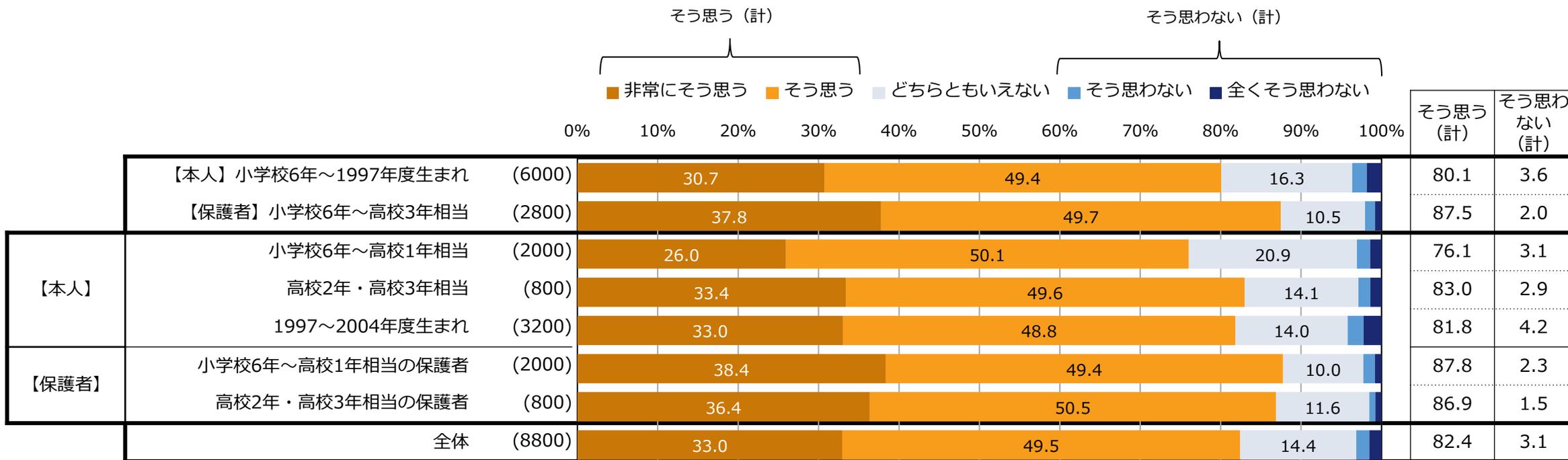
※本設問は、高校2年相当～1997年度生まれの女性本人、高校2年・高校3年相当の保護者のみに聴取

2%未満の数値ラベルは非表示

Q：あなたは/あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

① 【子宮頸がんは深刻な病気だと思う】

- 本人は「そう思う（計）」80.1%に対し、保護者は87.5%とやや高い。「そう思わない（計）」ではあまり差がない。
- 本人の割付別でみると、「そう思う（計）」が高校2年・高校3年相当は83.0%、1997～2004年度生まれ81.8%に対し、小学校6年～高校1年相当では76.1%とやや低い。



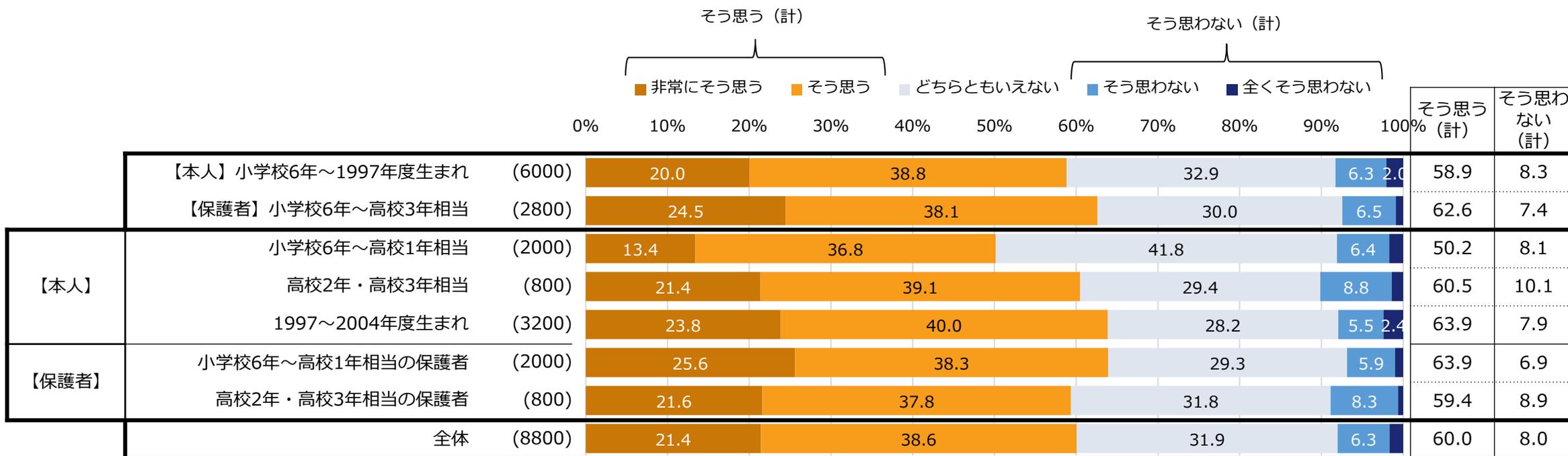
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは/あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

② [HPVは、性交渉の経験のある女性であれば、誰でも一生に一度は感染する可能性がある]

- 本人は「そう思う（計）」58.9%に対し、保護者は62.6%とやや高い。「そう思わない（計）」は、保護者7.4%に対し本人が8.3%とやや高い。
- 本人の割付別でみると、「そう思う（計）」が高校2年・高校3年相当は83.0%、1997～2004年度生まれ81.8%に対し、小学校6年～高校1年相当では76.1%とやや低い。



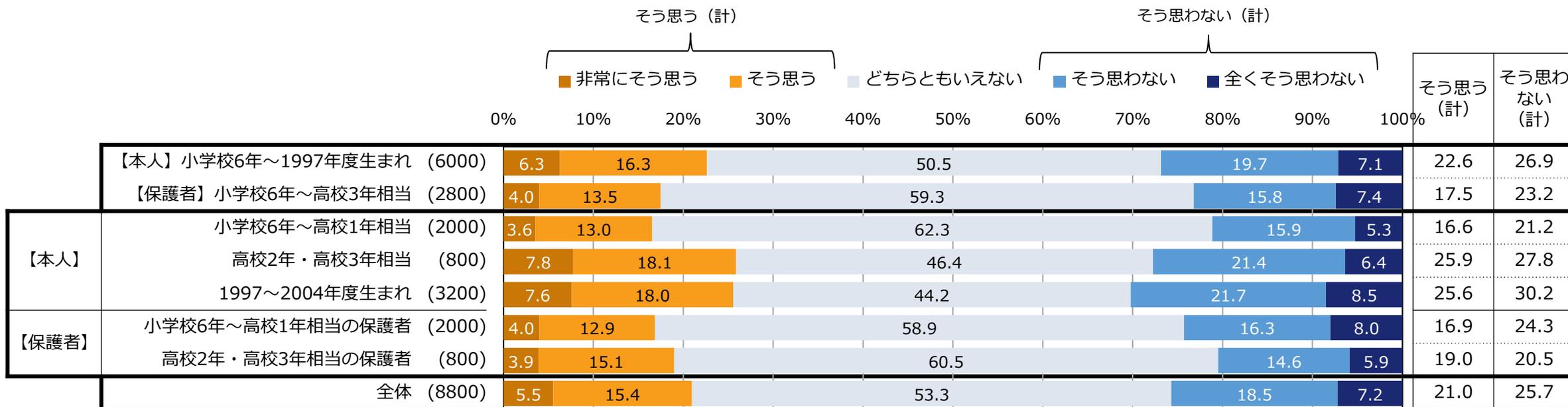
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは/あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

③ [私は/娘は、子宮頸がんになる可能性は高くないと思う]

- 本人は「そう思う（計）」22.6%に対し、保護者は17.5%で大きく変わらない。「そう思わない（計）」でも、本人26.9%に対し、保護者は23.2%と変わらない。
- 本人の割付別でみると、  
「そう思う（計）」が、高校2年・高校3年相当25.9%、1997～2004年度生まれは25.6%に対し、小学校6年～高校1年相当は16.6%とやや低く、  
「そう思わない（計）」が、1997～2004年度生まれは30.2%、高校2年・高校3年相当27.8%に対し、小学校6年～高校1年相当は21.2%とやや低い。  
小学校6年～高校1年相当は、「どちらともいえない」が62.3%と高くなっている。



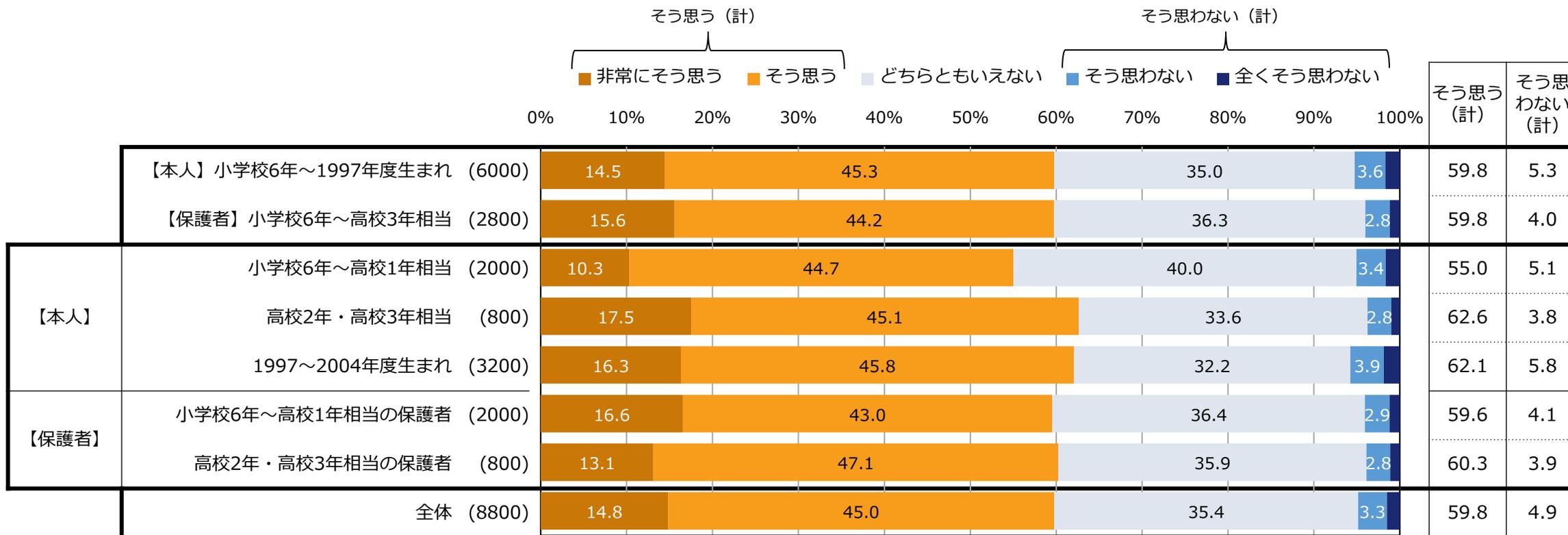
※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答。  
また、小学校6年～高校1年相当の女性に対しても、「娘は、子宮頸がんになる可能性は高くないと思う」として聴取されている

2%未満の数値ラベルは非表示

Q：あなたは/あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

④ [HPVワクチンは、子宮頸がんを予防するのに有効である]

- ・ 本人も保護者も「そう思う（計）」は59.8%と変わらない。
- ・ 本人の割付別でみると、小学校6年～高校1年相当が「そう思う（計）」がやや低く、「どちらともいえない」がやや高い。



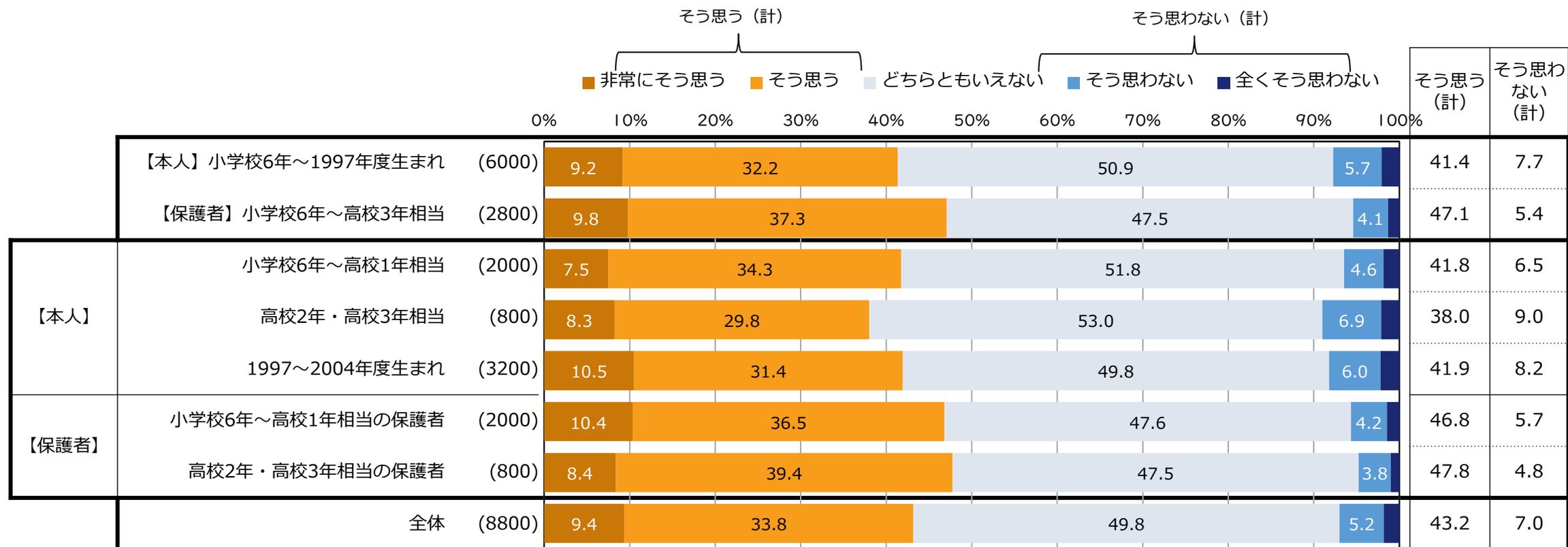
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは/あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

⑤ [公費で接種できるHPVワクチンで、子宮頸がんの原因となるHPVの90%までが予防できる]

- ・ 本人は「そう思う（計）」41.4%に対し、保護者は47.1%とやや高い。
- ・ 本人の割付別、保護者の割付別どちらも大きく違いは見られない。



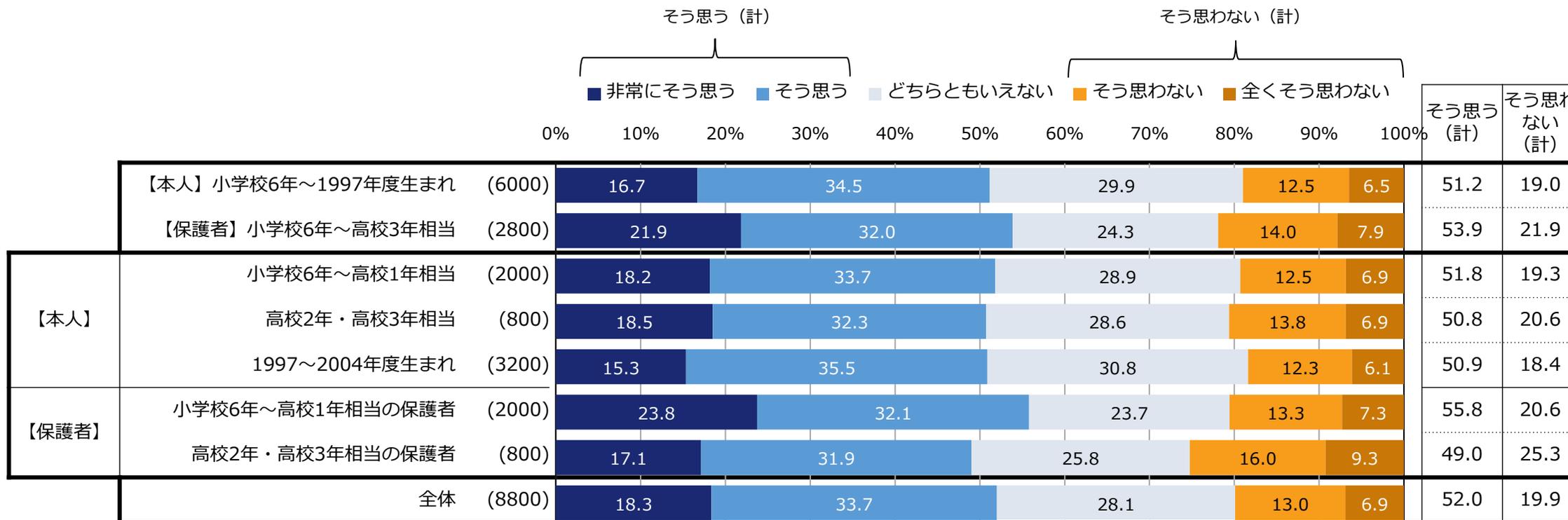
※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

2%未満の数値ラベルは非表示

Q：あなたは/あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

⑥ [HPVワクチンのリスクについて十分な情報がなく、接種するか/させるかどうか決められない]

- 本人は「そう思う（計）」51.2%に対し、保護者53.9%とあまり変わらない。
- 保護者の割付別で見ると、「そう思う（計）」では、小学校6年～高校1年相当の保護者が55.8%に対し、高校2年・高校3年相当の保護者49.0%とやや低い。



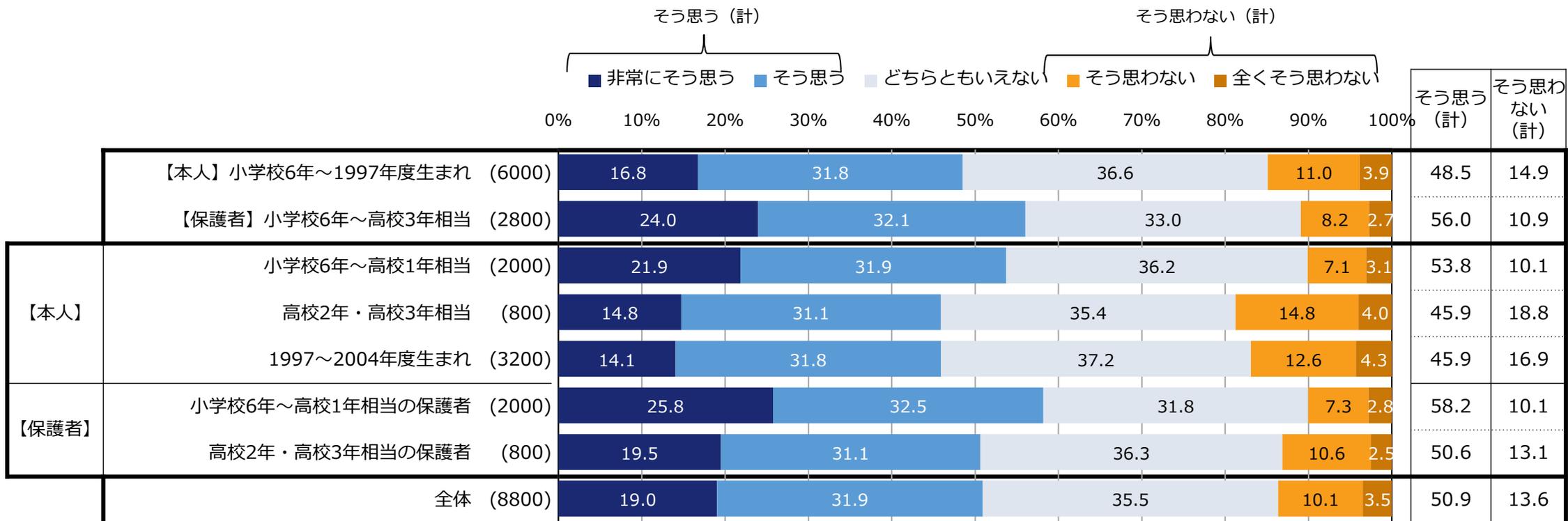
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは/あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

⑦ [HPVワクチンを接種すると、以前報道で見たような健康被害が起きるのではないかと考えている]

- 本人は「そう思う（計）」48.5%に対し、保護者は56.0%とやや高い。
- 本人の割付別でみると、「そう思う（計）」が、高校2年・高校3年相当、1997～2004年度生まれ45.9%に対し、小学校6年～高校1年相当53.8%とやや高く、保護者の割付別で見ると、「そう思う（計）」が、小学校6年～高校1年相当の保護者58.2%に対し、高校2年・高校3年相当の保護者50.6%とやや低い。



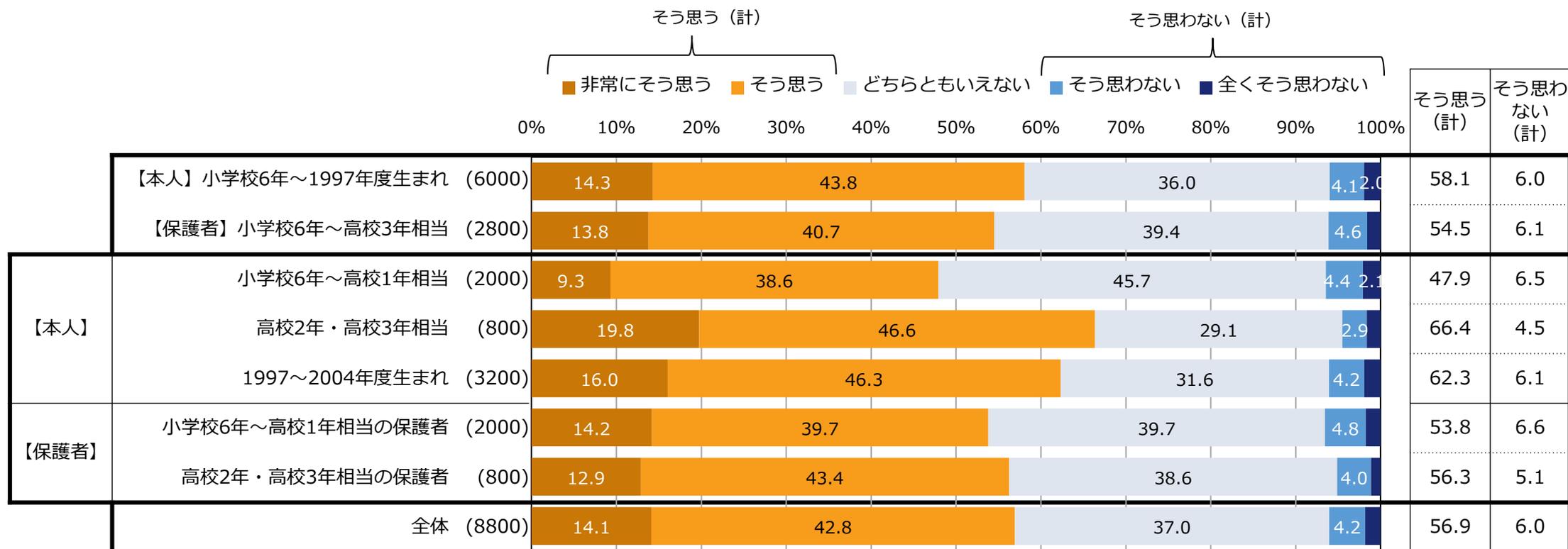
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは/あなたの娘は以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

① [HPVワクチンは重要である]

- 本人は「そう思う（計）」58.1%に対し、保護者は54.5%、「そう思わない（計）」も本人6.0%、保護者6.1%とあまり変わらない。
- 本人の割付別でみると、「そう思う（計）」が高校2年・高校3年相当は66.4%と高く、小学校6年～高校1年相当は47.9%と低い。



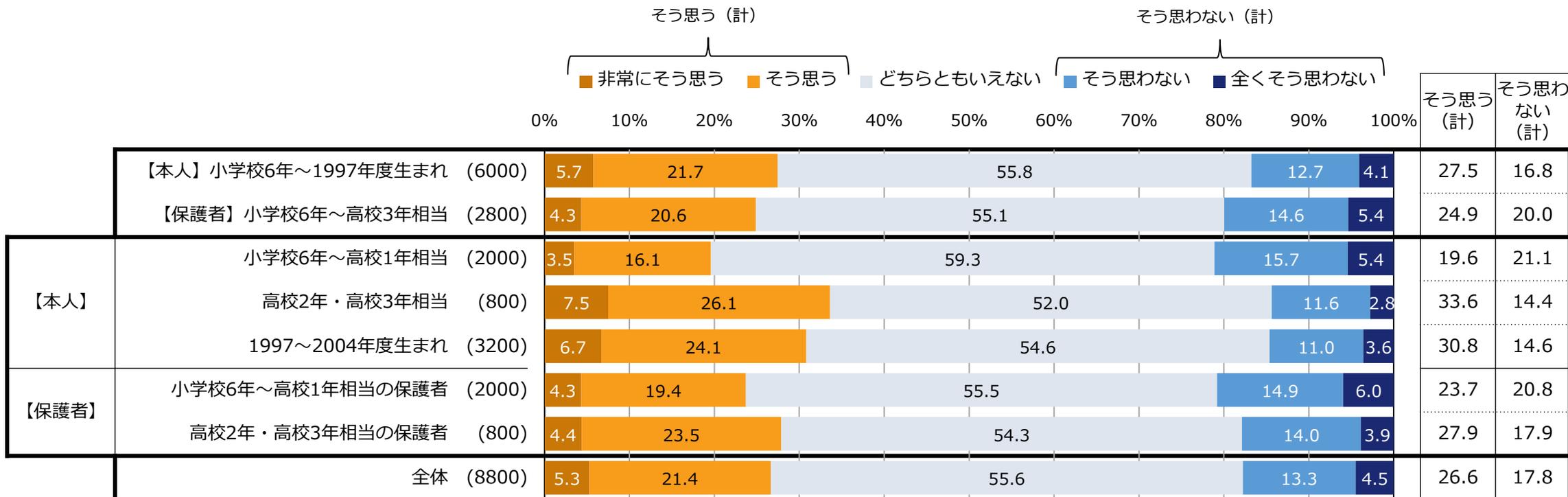
※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

2%未満の数値ラベルは非表示

Q：あなたは/あなたの娘は以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

② [HPVワクチンは安全である]

- 本人は「そう思う（計）」27.5%に対し、保護者は24.9%、「そう思わない（計）」は本人16.8%に対し、保護者20.0%とあまり変わらない。
- 本人の割付別でみると、「そう思う（計）」が高校2年・高校3年相当は33.6%と高く、小学校6年～高校1年相当は19.6%と低い。



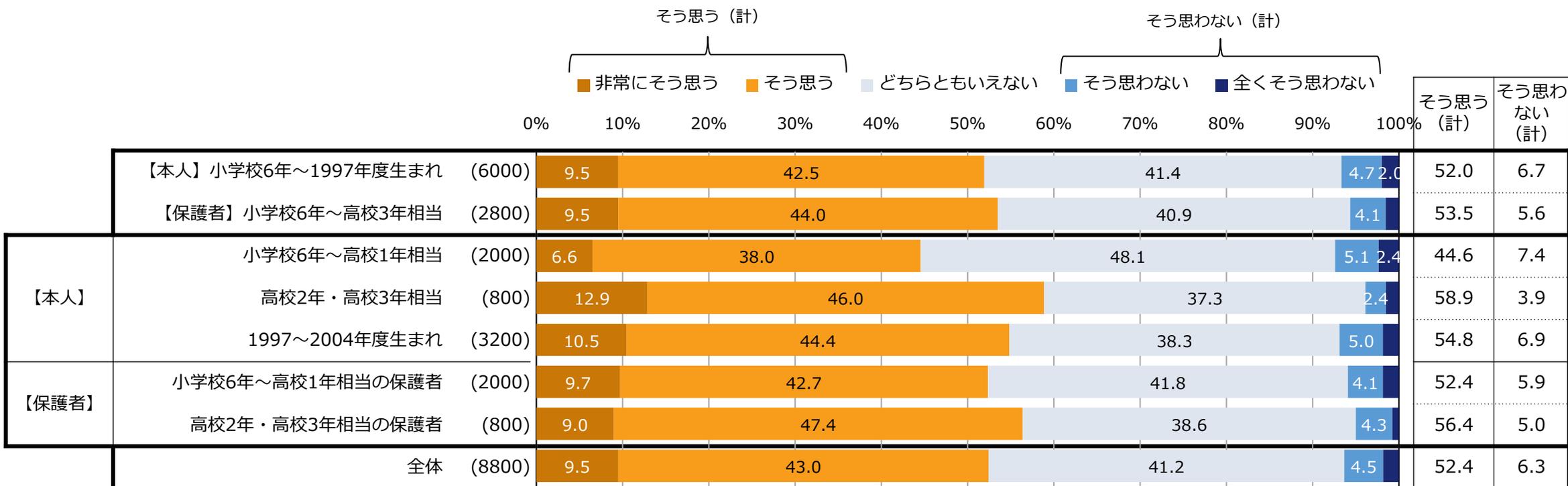
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは/あなたの娘は以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

③ [HPVワクチンは有効である]

- 本人は「そう思う（計）」52.0%に対し、保護者は「そう思う（計）」53.5%、「そう思わない（計）」も本人6.7%、保護者5.6%とあまり変わらない。
- 本人の割付別で見ると、「そう思う（計）」が高校2年・高校3年相当は58.9%と高く、小学校6年～高校1年相当は44.6%と低い。

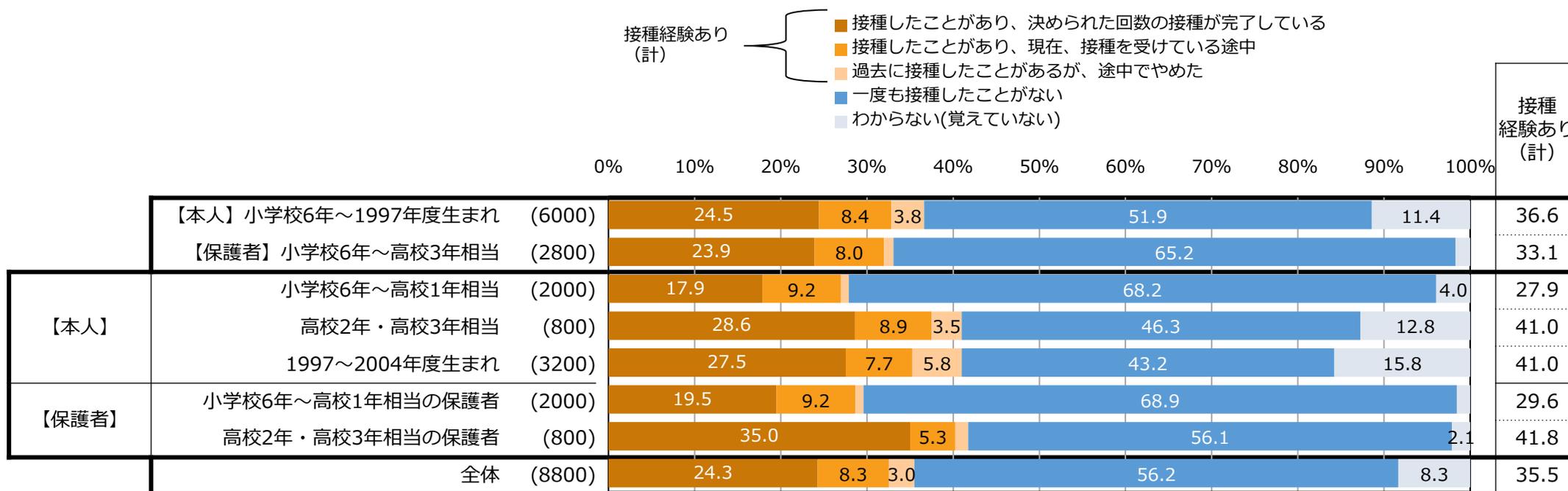


2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：あなたは/あなたの娘はHPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)を接種したことはありますか。

- 「一度も接種したことがない」は本人51.9%に対し、保護者は65.2%と差があるが、「接種経験あり」は本人36.6%に対し、保護者は33.1%であり差はなく、「わからない」が本人11.4%に対し、保護者は1.7%と差が出ている。
- 本人の割付別では、小学校6年～高校1年相当は「一度も接種したことがない」が68.2%と高い。
- 同様に、保護者の割付別でも、小学校6年～高校1年相当の保護者が「一度も接種したことがない」が68.9%に対し、高校2年・高校3年相当の保護者は56.1%と低い。



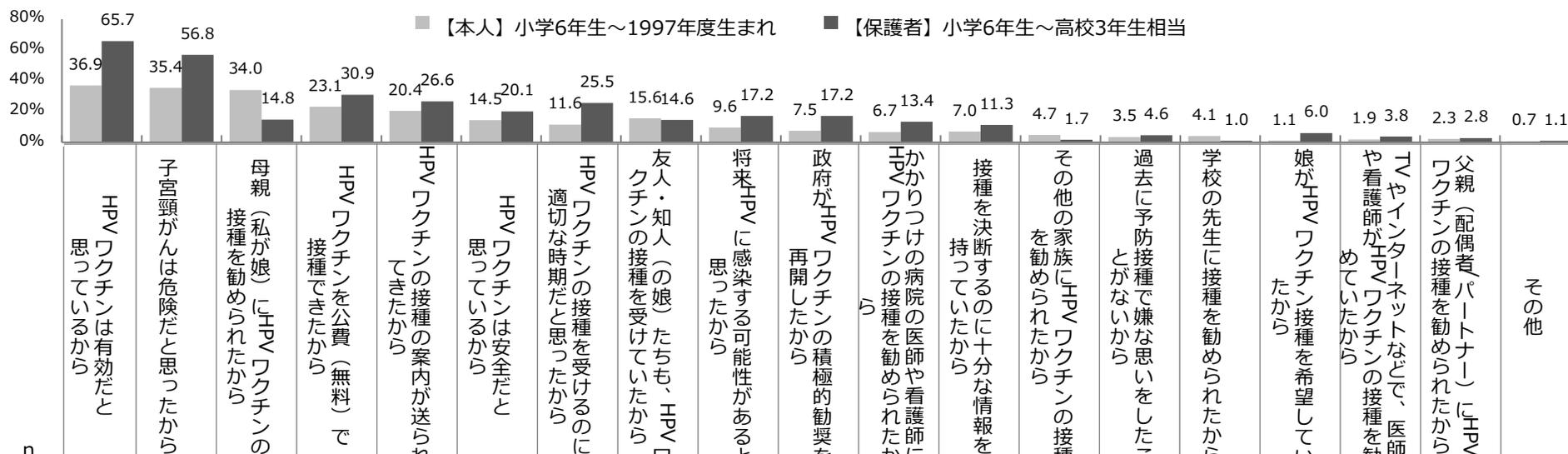
※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

2%未満の数値ラベルは非表示

# HPVワクチンの接種について (2)

Q：（前問で、接種したことがある（「決められた回数の接種が完了している」「現在、接種を受けている途中」「過去に接種したことがあるが、途中でやめた」）と回答した人のみ）  
 あなたが（あなたの娘に）HPVワクチンを接種した/させた理由として、あてはまるものをすべてお答えください。

- 本人で最も高いのは、「HPVワクチンは有効だと思っているから」(36.9%)。次いで「子宮頸がんは危険だと思ったから」(35.4%)、「母親にHPVワクチンの接種を勧められたから」(34.0%)と続く。  
 保護者で最も高いのは、「HPVワクチンは有効だと思っているから」(65.7%)。次いで「子宮頸がんは危険だと思ったから」(56.8%)、「HPVワクチンを公費（無料）で接種できたから」(30.9%)と続く。
- 本人の割付別でみると、小学校6年～高校1年相当は「HPVワクチンは有効だと思っているから」「子宮頸がんは危険だと思ったから」が高い。  
 一方、高校2年・高校3年相当は「母親にHPVワクチンの接種を勧められたから」が高く、高校2年・高校3年相当の保護者とのギャップが大きい。

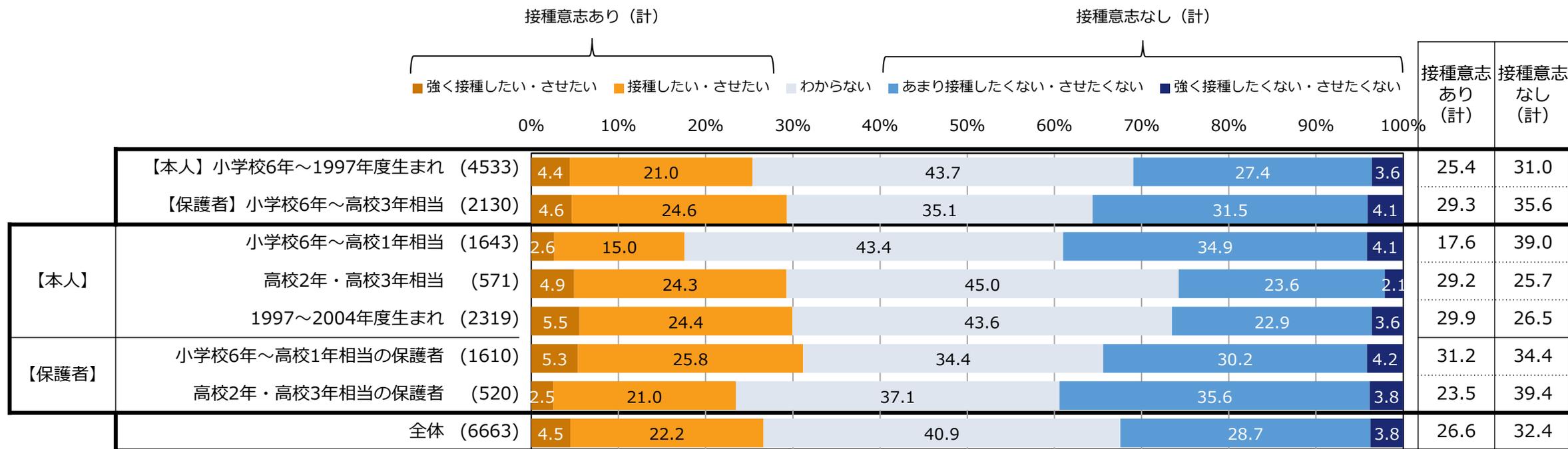


	n	HPVワクチンは有効だと思っているから	子宮頸がんは危険だと思ったから	母親（私が娘）にHPVワクチンの接種を勧められたから	HPVワクチンを公費（無料）で接種できたから	HPVワクチンの接種の案内が送られてきたから	HPVワクチンは安全だと思っているから	HPVワクチンの接種を受けるのに適切な時期だと思ったから	友人・知人（の娘）たちも、HPVワクチンの接種を受けていたから	将来HPVに感染する可能性があると思ったから	政府がHPVワクチンの積極的勧奨を再開したから	かかりつけの病院の医師や看護師にHPVワクチンの接種を勧められたから	接種を決定するのに十分な情報を保持していたから	その他の家族にHPVワクチンの接種を勧められたから	過去に予防接種で嫌な思いをしたことがないから	学校の先生に接種を勧められたから	娘がHPVワクチン接種を希望していたから	看護師がHPVワクチンの接種を勧めていたから	TVやインターネットなどで、医師や看護師がHPVワクチンの接種を勧められたから	父親（配偶者、パートナー）にHPVワクチンの接種を勧められたから	その他
【本人】	小学校6年～1997年度生まれ	2198	36.9%	35.4%	34.0%	23.1%	20.4%	14.5%	11.6%	15.6%	9.6%	7.5%	6.7%	7.0%	4.7%	3.5%	4.1%	1.1%	1.9%	2.3%	0.7%
【保護者】	小学校6年～高校3年相当	926	65.7%	56.8%	14.8%	30.9%	26.6%	20.1%	25.5%	14.6%	17.2%	17.2%	13.4%	11.3%	1.7%	4.6%	1.0%	6.0%	3.8%	2.8%	1.1%
【本人】	小学校6年～高校1年相当	558	55.7%	46.1%	27.4%	25.8%	21.3%	19.5%	19.2%	17.0%	13.1%	10.2%	12.7%	10.2%	2.5%	3.8%	0.9%	4.5%	2.3%	2.0%	0.9%
	高校2年・高校3年相当	328	31.1%	41.2%	44.5%	21.0%	20.4%	15.5%	13.7%	19.5%	9.1%	9.5%	5.5%	6.7%	5.2%	4.0%	4.9%	0.0%	2.4%	2.7%	0.6%
【保護者】	1997～2004年度生まれ	1312	30.4%	29.3%	34.1%	22.4%	20.0%	12.0%	7.8%	13.9%	8.3%	5.8%	4.4%	5.7%	5.6%	3.2%	5.3%	0.0%	1.5%	2.3%	0.6%
	小学校6年～高校1年相当の保護者	592	66.0%	57.6%	14.2%	28.9%	26.5%	20.1%	25.8%	13.9%	18.4%	15.2%	15.9%	11.8%	2.0%	5.1%	0.8%	5.2%	4.1%	3.4%	0.8%
	高校2年・高校3年相当の保護者	334	65.0%	55.4%	15.9%	34.4%	26.6%	20.1%	24.9%	15.9%	15.0%	20.7%	9.0%	10.5%	1.2%	3.9%	1.2%	7.5%	3.3%	1.8%	1.5%
	全体	3124	45.5%	41.7%	28.3%	25.4%	22.2%	16.1%	15.7%	15.3%	11.9%	10.3%	8.7%	8.3%	3.8%	3.8%	3.2%	2.6%	2.4%	2.4%	0.8%

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答。  
 また、小学校6年～高校1年相当の女性に対しては、「娘がHPVワクチン接種を希望していたから」「私が娘にHPVワクチンの接種を勧めたから」の双方が表示されている

Q：（前問で、「決められた回数の接種が完了している」以外の回答をした人のみ）  
 今後、あなたは/あなたの娘にHPVワクチンを接種したい/させたいと思いますか。

- 本人は「接種意志あり」25.4%に対し、保護者は「接種意志あり」29.3%とやや高いが、「接種意志なし」も本人31.0%に対し、保護者35.6%と高く、「わからない」で本人43.7%に対し、保護者は35.1%と低くなっている。
- 本人の割付別では、小学校6年～高校1年相当が「接種意志あり」は17.6%と低く、「接種意志なし」は39.0%と高い。保護者の割付別でみると、高校2年・高校3年相当の保護者が「接種意志あり」は23.5%とやや低く、「接種意志なし」は39.4%とやや高い。小学校6年～高校1年相当では、本人より保護者の方が「接種意志あり」が高く、高校2年・高校3年相当では、保護者より本人の方が「接種意志あり」が高い。



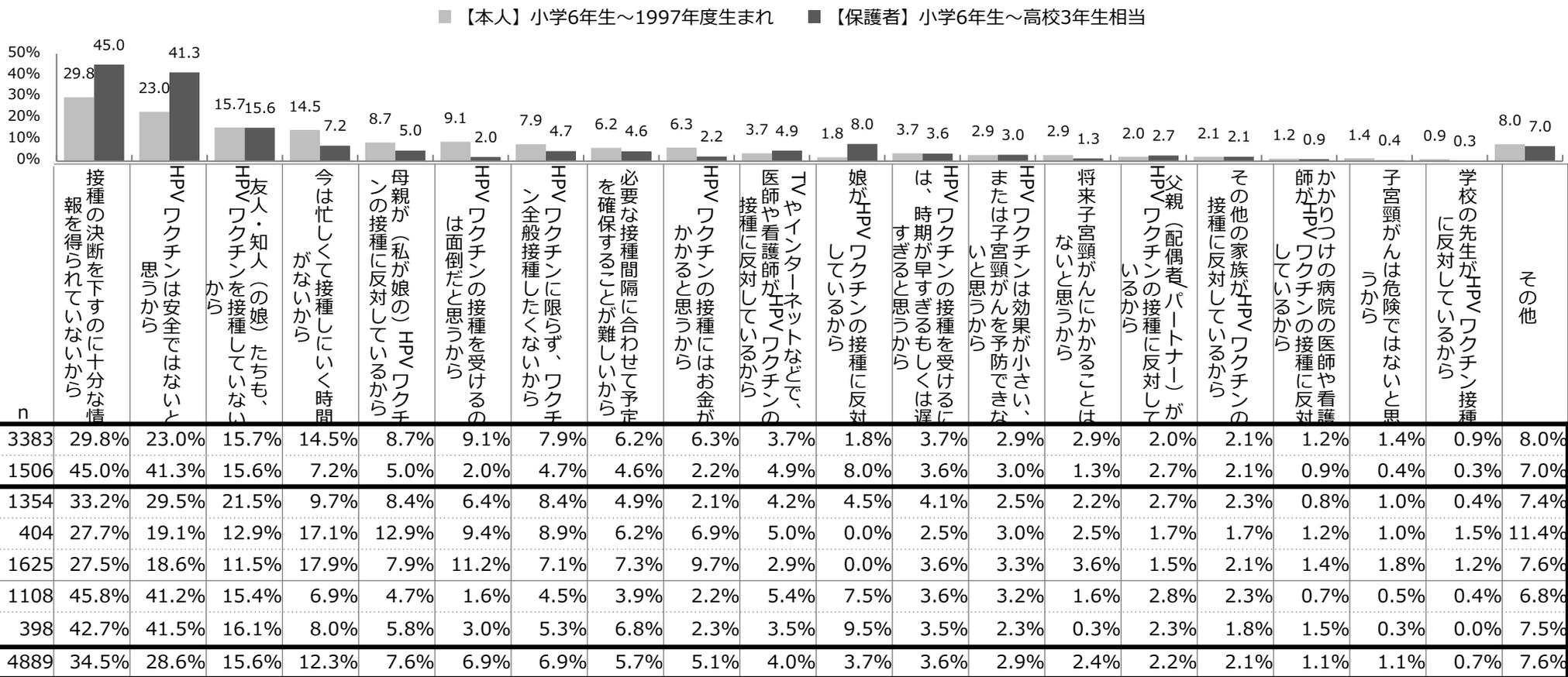
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

# HPVワクチンの接種について（4）

Q：（前問で、「あまり接種したくない/させたくない」「強く接種したくない/させたくない」と回答した人のみ）  
 あなたが（あなたの娘に）HPVワクチンを接種したくない/させたくない理由は何ですか。以下より、あてはまるものをすべてお答えください。

- 本人で最も高いのは、「十分な情報がない」(29.8%)である。次いで「HPVワクチンは安全でない」(23.0%)、「友人・知人も、未接種」(15.7%)と続く。保護者で最も高いのは、「十分な情報がない」(45.0%)、次いで「HPVワクチンは安全でない」(41.3%)、「友人・知人の娘も、未接種」(15.6%)と続く。
- 本人の割付別でみると、小学校6年～高校1年相当で「HPVワクチンは安全でない」「友人・知人も、未接種」がやや高い。



※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答。  
 また、小学校6年～高校1年相当の女性に対しては、「娘がHPVワクチン接種に反対しているから」「私が娘のHPVワクチンの接種に反対しているから」の両方が表示されている

Q：自治体から送られてきた、HPVワクチンの接種についての案内(封書、はがきなど)を見たことはありますか。

- 本人は「はい」が57.8%に対し、保護者は81.3%と高い。
- 本人の割付別では、「はい」は高校2年・高校3年相当48.9%、1997～2004年度生まれ53.5%に対し、小学校6年～高校1年相当68.3%と高い。保護者の割付別でみると、「はい」は小学校6年～高校1年相当の保護者79.4%に対し、高校2年・高校3年相当86.0%とやや高い。特に、高校2年・高校3年相当では、保護者が高く、本人と保護者のギャップが大きい。



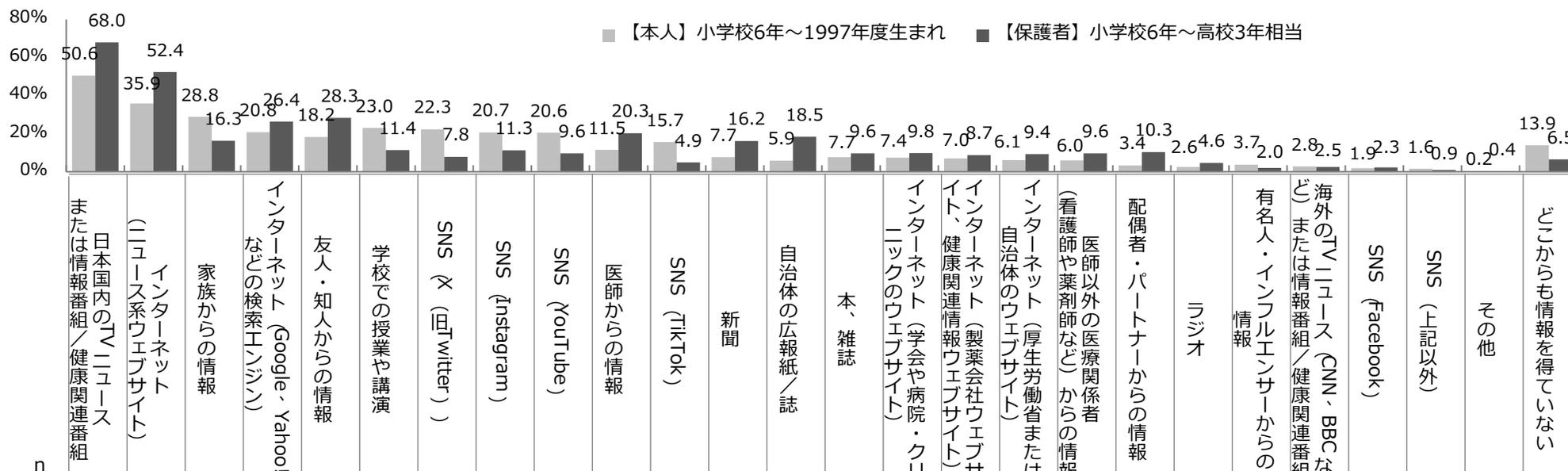
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：以下にあてはまる情報源および媒体について、すべてお答えください。

① [あなたが/あなたの娘が、一般的な健康についての情報を得る場合に使っている情報源]

- 本人で最も高いのは、「日本国内のTV」(29.5%)である。次いで「家族からの情報」(21.5%)、「学校での授業や講演」(13.9%)と続く。保護者で最も高いのは、「日本国内のTV」(56.4%)、次いで「インターネット(ニュース系ウェブサイト)」(27.5%)、「自治体の広報紙/誌」(20.5%)と続く。「日本国内のTV」「インターネット(ニュース系ウェブサイト)」など多くの項目で本人より保護者の方が高い。
- 本人の割付別でも大きな違いはないが、高校2年・高校3年相当で「家族からの情報」がやや高い。



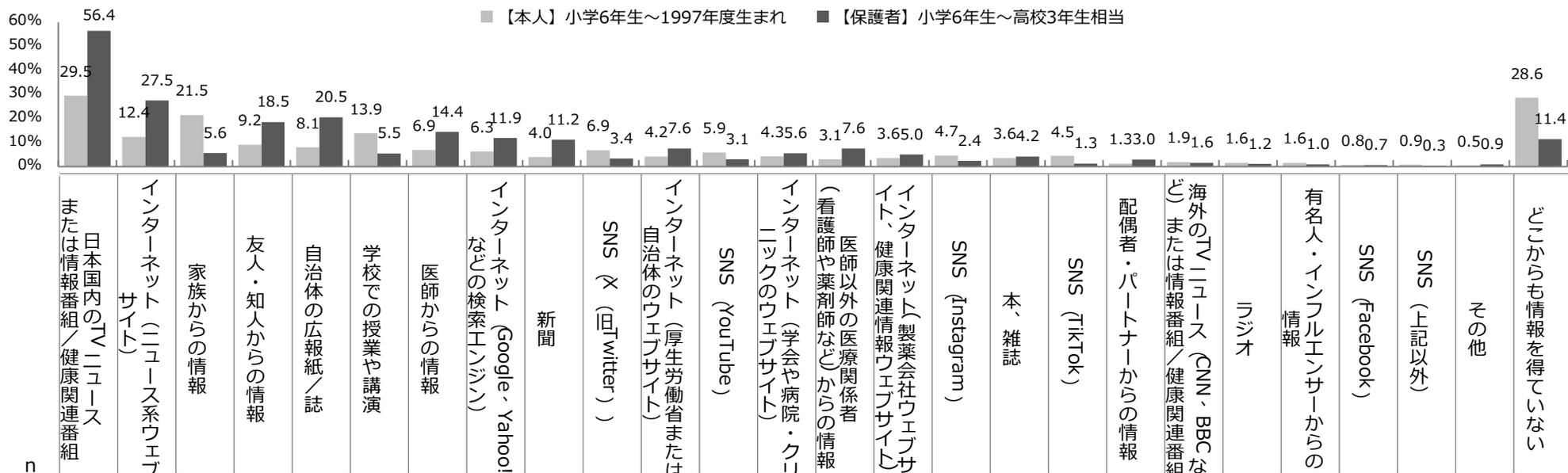
	n	日本国内のTV(ニュース系ウェブサイト)	インターネット(ニュース系ウェブサイト)	家族からの情報	インターネット(Google・Yahoo!などの検索エンジン)	友人・知人からの情報	学校での授業や講演	SNS(X(Twitter))	SNS(Instagram)	SNS(YouTube)	医師からの情報	SNS(TikTok)	新聞	自治体の広報紙/誌	本、雑誌	インターネット(学会や病院・クリニックのウェブサイト)	インターネット(製薬会社ウェブサイト)健康関連情報ウェブサイト	インターネット(厚生労働省または自治体のウェブサイト)	医師以外の医療関係者(看護師や薬剤師など)からの情報	配偶者・パートナーからの情報	ラジオ	有名人・インフルエンサーからの情報	海外のTV(ニュース CNN、BBCなど)または情報番組/健康関連番組	SNS(Facebook)	SNS(上記以外)	その他	どこからも情報を得ていない	
【本人】 小学校6年~1997年度生まれ	6000	50.6%	35.9%	28.8%	20.8%	18.2%	23.0%	22.3%	20.7%	20.6%	11.5%	15.7%	7.7%	5.9%	7.7%	7.4%	7.0%	6.1%	6.0%	3.4%	2.6%	3.7%	2.8%	1.9%	1.6%	0.2%	13.9%	
【保護者】 小学校6年~高校3年相当	2800	68.0%	52.4%	16.3%	26.4%	28.3%	11.4%	7.8%	11.3%	9.6%	20.3%	4.9%	16.2%	18.5%	9.6%	9.8%	8.7%	9.4%	9.6%	10.3%	4.6%	2.0%	2.5%	2.3%	0.9%	0.4%	6.5%	
【本人】	小学校6年~高校1年相当	2000	28.2%	11.4%	23.9%	11.2%	8.8%	19.6%	7.1%	4.8%	3.7%	3.0%	2.1%	6.4%	2.2%	2.0%	5.0%	2.8%	4.8%	1.4%	1.4%	0.8%	0.8%	1.1%	0.6%	0.5%	25.8%	
	高校2年・高校3年相当	800	33.6%	15.1%	28.5%	9.4%	6.4%	17.6%	5.9%	7.3%	5.1%	7.4%	4.5%	6.3%	4.8%	2.6%	3.4%	4.5%	3.8%	6.3%	0.8%	2.3%	1.9%	2.5%	0.6%	1.0%	0.4%	23.0%
	1997~2004年度生まれ	3200	29.3%	12.3%	18.2%	7.8%	8.0%	9.5%	7.1%	7.0%	3.8%	9.2%	5.4%	5.6%	3.8%	4.6%	4.5%	4.1%	3.9%	1.3%	2.2%	2.0%	1.9%	0.7%	1.0%	0.6%	31.8%	
【保護者】	小学校6年~高校1年相当の保護者	2000	57.0%	28.3%	5.5%	18.1%	19.0%	5.4%	16.3%	11.9%	10.4%	3.7%	7.5%	3.3%	5.3%	8.1%	5.1%	2.6%	4.7%	1.6%	3.1%	1.7%	1.4%	1.0%	0.7%	0.4%	1.0%	11.6%
	高校2年・高校3年相当の保護者	800	55.1%	25.6%	6.1%	19.8%	24.1%	5.6%	9.8%	11.9%	13.1%	2.5%	7.9%	2.6%	6.3%	6.3%	4.9%	2.0%	3.0%	0.5%	2.8%	1.3%	0.6%	0.9%	0.8%	0.3%	0.8%	10.9%
全体	8800	56.1%	41.1%	24.8%	22.6%	21.4%	19.3%	17.7%	17.7%	17.1%	14.3%	12.2%	10.4%	9.9%	8.3%	8.2%	7.6%	7.1%	7.1%	5.6%	3.2%	3.1%	2.7%	2.0%	1.4%	0.2%	11.6%	

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

Q：以下にあてはまる情報源および媒体について、すべてお答えください。

② [あなたが/あなたの娘が、HPVワクチンの情報についての情報を見聞きしたことがある媒体]

- 本人で最も高いのは、「日本国内のTV」(29.5%)である。次いで「家族からの情報」(21.5%)、「学校での授業や講演」(13.9%)と続く。保護者で最も高いのは、「日本国内のTV」(56.4%)、次いで「インターネット(ニュース系ウェブサイト)」(27.5%)、「自治体の広報紙/誌」(20.5%)と続く。「日本国内のTV」「インターネット(ニュース系ウェブサイト)」など多くの項目で本人より保護者の方が高い。
- 本人の割付別でも大きな違いはないが、高校2年・高校3年相当で「家族からの情報」がやや高い。



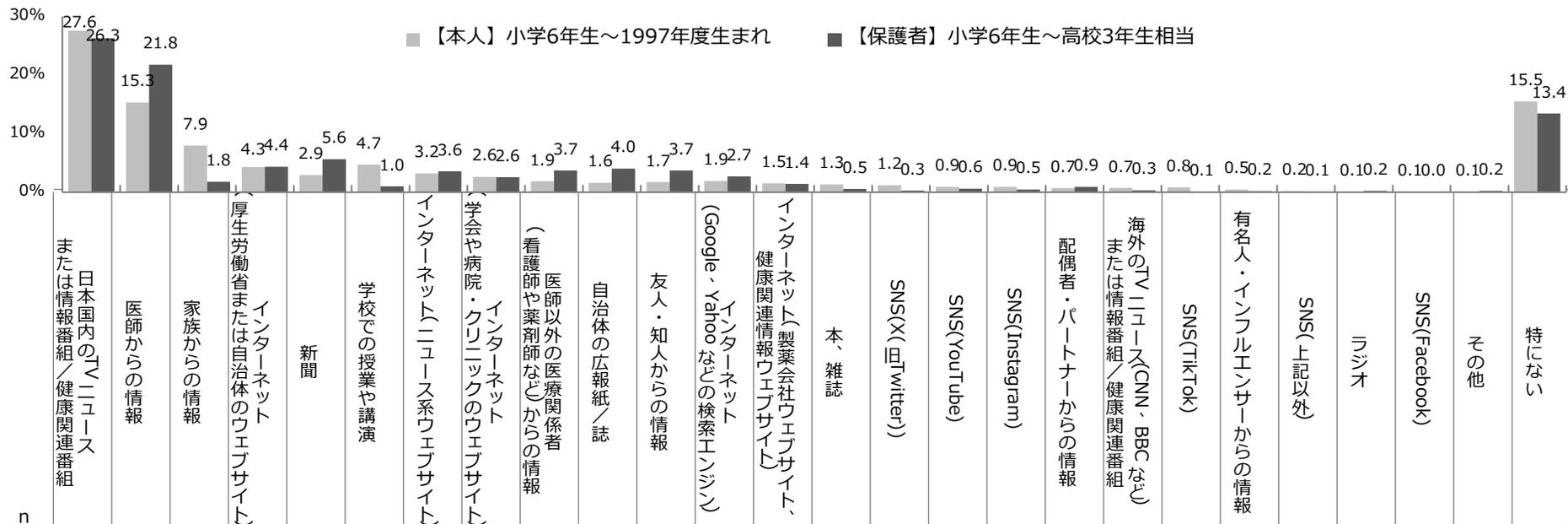
	n	日本国内のTV	インターネット(ニュース系ウェブサイト)	家族からの情報	友人・知人からの情報	自治体の広報紙/誌	学校での授業や講演	医師からの情報	インターネット(Google・Yahoo!などの検索エンジン)	新聞	SNS(X(Twitter))	インターネット(厚生労働省または自治体のウェブサイト)	SNS(YouTube)	インターネット(学会や病院・クリニックのウェブサイト)	医師以外の医療関係者(看護師や薬剤師など)からの情報	インターネット(製薬会社ウェブサイト、健康関連情報ウェブサイト)	SNS(Instagram)	本、雑誌	SNS(TikTok)	配偶者・パートナーからの情報	海外のTVニュース(CNN・BBCなど)または情報番組/健康関連番組	ラジオ	有名人・インフルエンサーからの情報	SNS(Facebook)	SNS(上記以外)	その他	どこからも情報を得ていない	
【本人】 小学校6年~1997年度生まれ	6000	29.5%	12.4%	21.5%	9.2%	8.1%	13.9%	6.9%	6.3%	4.0%	6.9%	4.2%	5.9%	4.3%	3.1%	3.6%	4.7%	3.6%	4.5%	1.3%	1.9%	1.6%	1.6%	0.8%	0.9%	0.5%	28.6%	
【保護者】 小学校6年~高校3年相当	2800	56.4%	27.5%	5.6%	18.5%	20.5%	5.5%	14.4%	11.9%	11.2%	3.4%	7.6%	3.1%	5.6%	7.6%	5.0%	2.4%	4.2%	1.3%	3.0%	1.6%	1.2%	1.0%	0.7%	0.3%	0.9%	11.4%	
【本人】	小学校6年~高校1年相当	2000	28.2%	11.4%	23.9%	11.2%	8.8%	19.6%	7.1%	4.8%	3.7%	3.0%	2.1%	6.4%	2.2%	2.2%	2.0%	5.0%	2.8%	4.8%	1.4%	1.4%	0.8%	0.8%	1.1%	0.6%	0.5%	25.8%
	高校2年・高校3年相当	800	33.6%	15.1%	28.5%	9.4%	6.4%	17.6%	5.9%	7.3%	5.1%	7.4%	4.5%	6.3%	4.8%	2.6%	3.4%	4.5%	3.8%	6.3%	0.8%	2.3%	1.9%	2.5%	0.6%	1.0%	0.4%	23.0%
	1997~2004年度生まれ	3200	29.3%	12.3%	18.2%	7.8%	8.0%	9.5%	7.1%	7.0%	3.8%	9.2%	5.4%	5.6%	5.6%	3.8%	4.6%	4.5%	4.1%	3.9%	1.3%	2.2%	2.0%	1.9%	0.7%	1.0%	0.6%	31.8%
【保護者】	小学校6年~高校1年相当の保護者	2000	57.0%	28.3%	5.5%	18.1%	19.0%	5.4%	16.3%	11.9%	10.4%	3.7%	7.5%	3.3%	5.3%	8.1%	5.1%	2.6%	4.7%	1.6%	3.1%	1.7%	1.4%	1.0%	0.7%	0.4%	1.0%	11.6%
	高校2年・高校3年相当の保護者	800	55.1%	25.6%	6.1%	19.8%	24.1%	5.6%	9.8%	11.9%	13.1%	2.5%	7.9%	2.6%	6.3%	6.3%	4.9%	2.0%	3.0%	0.5%	2.8%	1.3%	0.6%	0.9%	0.8%	0.3%	0.8%	10.9%
全体	8800	38.1%	17.2%	16.4%	12.1%	12.0%	11.2%	9.3%	8.1%	6.3%	5.7%	5.3%	5.0%	4.7%	4.5%	4.0%	3.9%	3.8%	3.5%	1.8%	1.8%	1.5%	1.4%	0.8%	0.7%	0.6%	23.1%	

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答

# HPVワクチンの情報を得る場合に信頼できると思う情報源（1位）

Q：HPVワクチンに関する情報を得る場合に、あなたが/あなたの娘が信頼できると思う情報源についてお聞きします。以下のうち、あなたが/あなたの娘が最も信頼している情報源上位3つをお答えください。

- 本人で最も高いのは、「日本国内のTV」（27.6%）、次いで「医師からの情報」（15.3%）、「家族からの情報」（7.9%）と続く。保護者は、「日本国内のTV」（26.3%）、次いで「医師からの情報」（21.8%）、「新聞」（5.6%）と続く。保護者では「医師からの情報」が本人より高い。
- 本人の割付別でも大きな違いはないが、高校2年・高校3年相当で「日本国内のTV」がやや高い。



	n	日本国内のTV	医師からの情報	家族からの情報	インターネット	新聞	学校での授業や講演	インターネット・ニュース系ウェブサイト	学会や病院・クリニックのウェブサイト	（看護師や薬剤師など）からの情報	医師以外の医療関係者	自治体の広報紙/誌	友人・知人からの情報	インターネット (Google・Yahoo などの検索エンジン)	インターネット (製薬会社ウェブサイト、健康関連情報ウェブサイト)	本、雑誌	SNS(X (Twitter))	SNS(YouTube)	SNS(Instagram)	配偶者・パートナーからの情報	海外のTVニュース (CNN、BBC など) または情報番組/健康関連番組	SNS(TikTok)	有名人・インフルエンサーからの情報	SNS(上記以外)	リンク	SNS(Facebook)	その他	特になし
【本人】 小学校6年～1997年度生まれ	6000	27.6%	15.3%	7.9%	4.3%	2.9%	4.7%	3.2%	2.6%	1.9%	1.6%	1.7%	1.9%	1.5%	1.3%	1.2%	0.9%	0.9%	0.7%	0.7%	0.8%	0.5%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	15.5%
【保護者】 小学校6年～高校3年相当	2800	26.3%	21.8%	1.8%	4.4%	5.6%	1.0%	3.6%	2.6%	3.7%	4.0%	3.7%	2.7%	1.4%	0.5%	0.3%	0.6%	0.5%	0.9%	0.3%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%	13.4%	
【本人】	小学校6年～高校1年相当	2000	25.2%	15.0%	11.2%	2.2%	3.1%	8.6%	3.7%	1.8%	1.6%	2.2%	2.9%	1.5%	1.0%	0.6%	0.6%	1.1%	1.0%	0.8%	0.5%	1.6%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	13.6%
	高校2年・高校3年相当	800	35.1%	15.6%	6.9%	4.6%	3.3%	4.1%	3.1%	1.5%	2.9%	1.0%	1.3%	2.5%	2.0%	1.1%	1.0%	0.4%	0.5%	0.1%	0.6%	0.8%	1.1%	0.1%	-	-	-	10.4%
【保護者】	1997～2004年度生まれ	3200	27.2%	15.5%	6.2%	5.6%	2.8%	2.4%	2.9%	3.4%	1.8%	1.4%	1.1%	2.1%	1.7%	1.8%	1.6%	0.9%	0.9%	0.7%	0.9%	0.4%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	18.0%
	小学校6年～高校1年相当の保護者	2000	26.2%	22.9%	1.8%	4.3%	5.0%	1.0%	3.7%	2.6%	3.8%	3.6%	3.8%	2.5%	1.5%	0.6%	0.3%	0.8%	0.5%	0.9%	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	-	0.2%	13.3%
	高校2年・高校3年相当の保護者	800	26.6%	19.1%	1.9%	4.5%	7.3%	1.1%	3.3%	2.5%	3.5%	5.1%	3.6%	3.3%	1.4%	0.4%	0.3%	0.1%	0.5%	1.0%	0.1%	-	-	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	13.9%
	全体	8800	27.2%	17.4%	6.0%	4.3%	3.8%	3.5%	3.3%	2.6%	2.4%	2.4%	2.4%	2.2%	1.5%	1.1%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.6%	0.6%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	14.8%

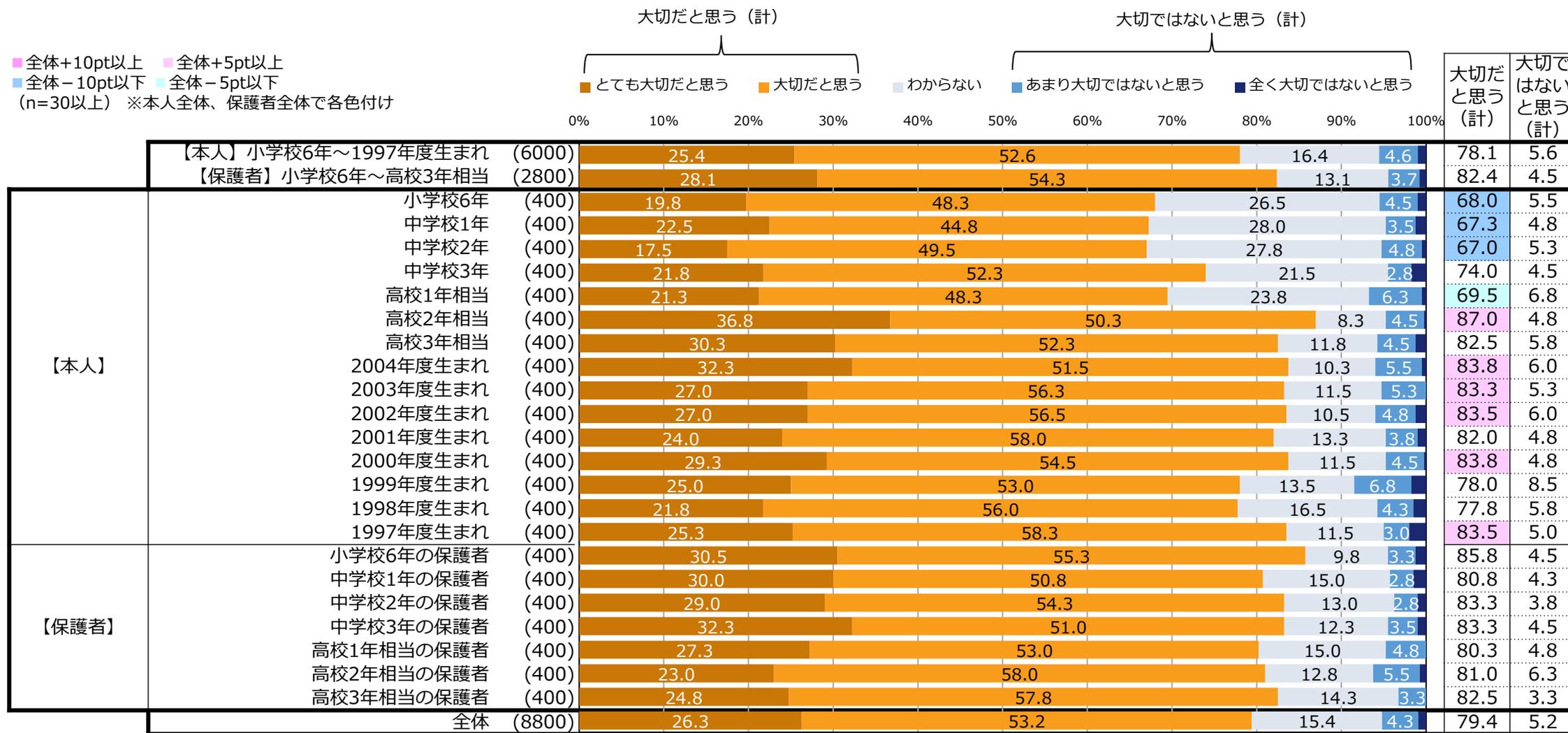
※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 学年ごとのクロス集計

---

# 予防接種に対する認識

Q1 あなたは、一般的に、予防接種を受けることは大切だと思いますか。

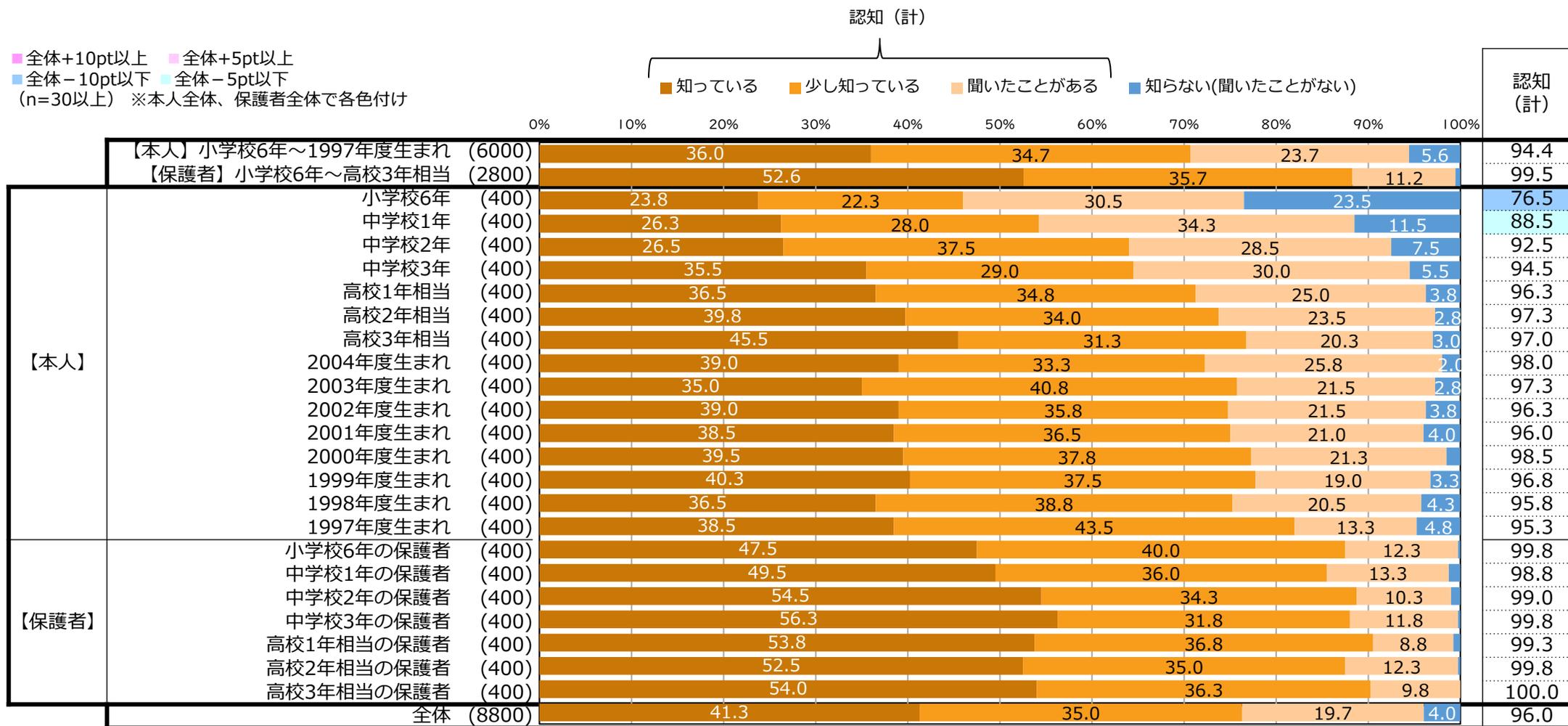


2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンの知識【「子宮頸がん」の認知状況】

Q2S1 あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [「子宮頸(けい)がん」という病気について]



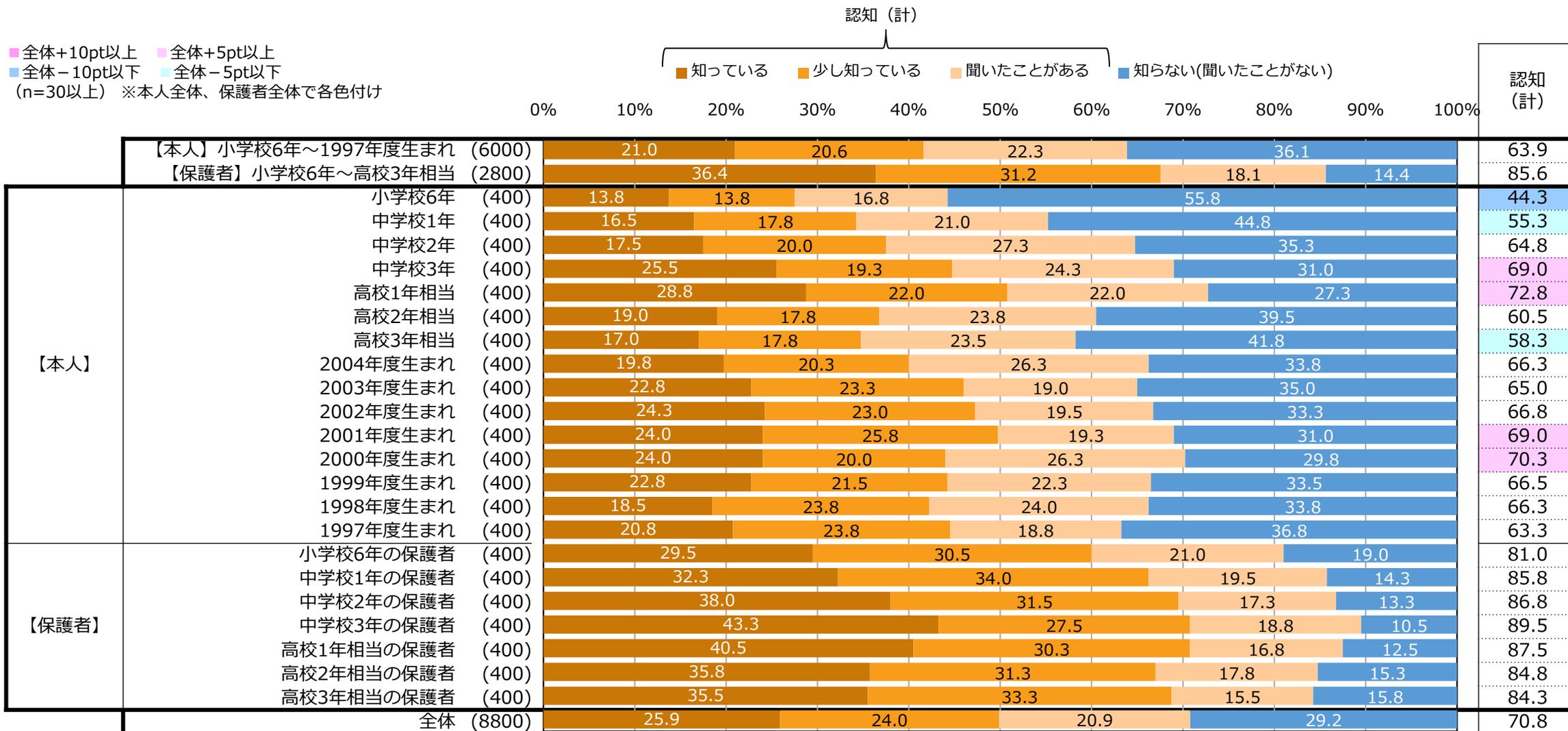
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンの知識【「HPVワクチン」の認知状況】

Q2S2 あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン」について]

■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上  
 ■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下  
 (n=30以上) ※本人全体、保護者全体で各色付け



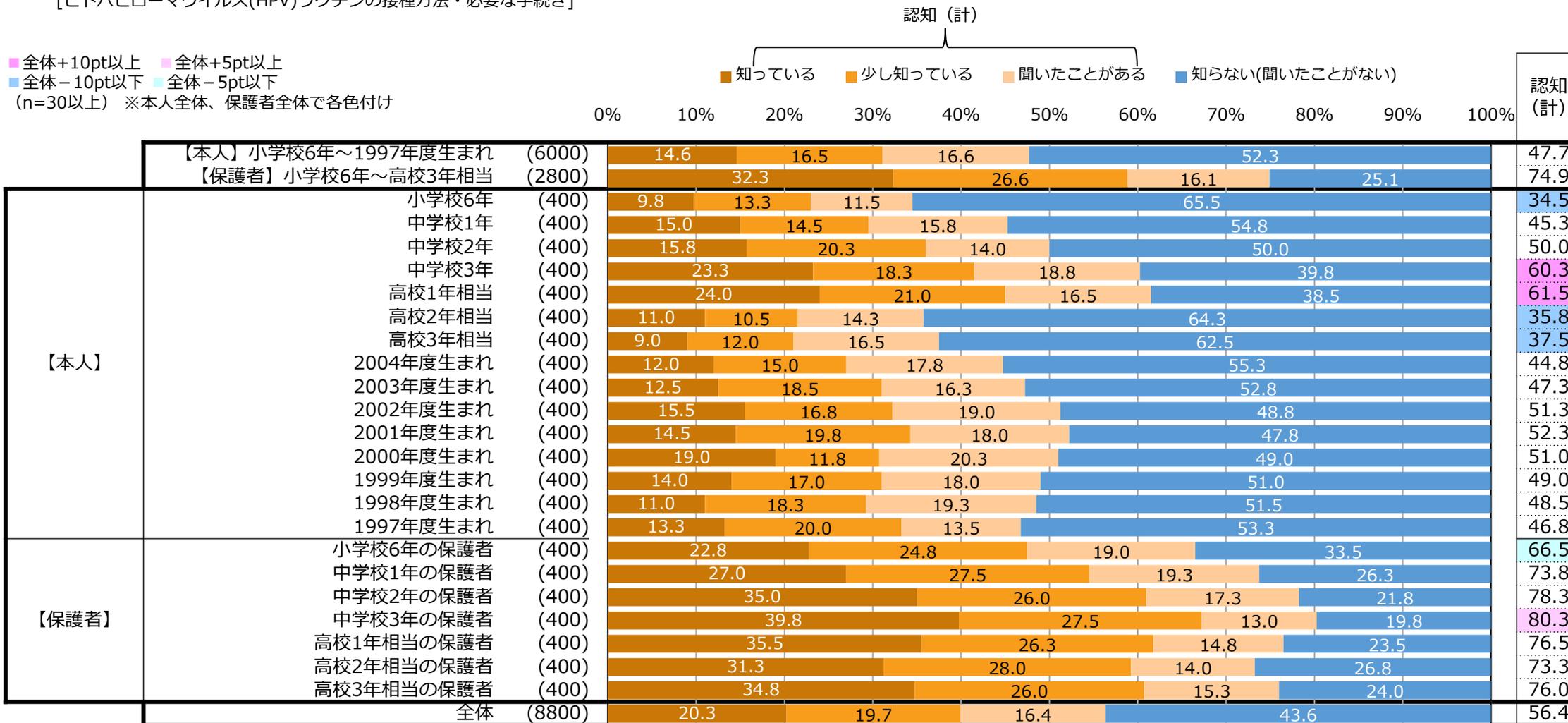
※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

2%未満の数値ラベルは非表示

# 子宮頸がんやHPVワクチンの知識【「HPVワクチンの接種方法・必要な手続き」の認知状況】

Q2S3 あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

【ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種方法・必要な手続き】



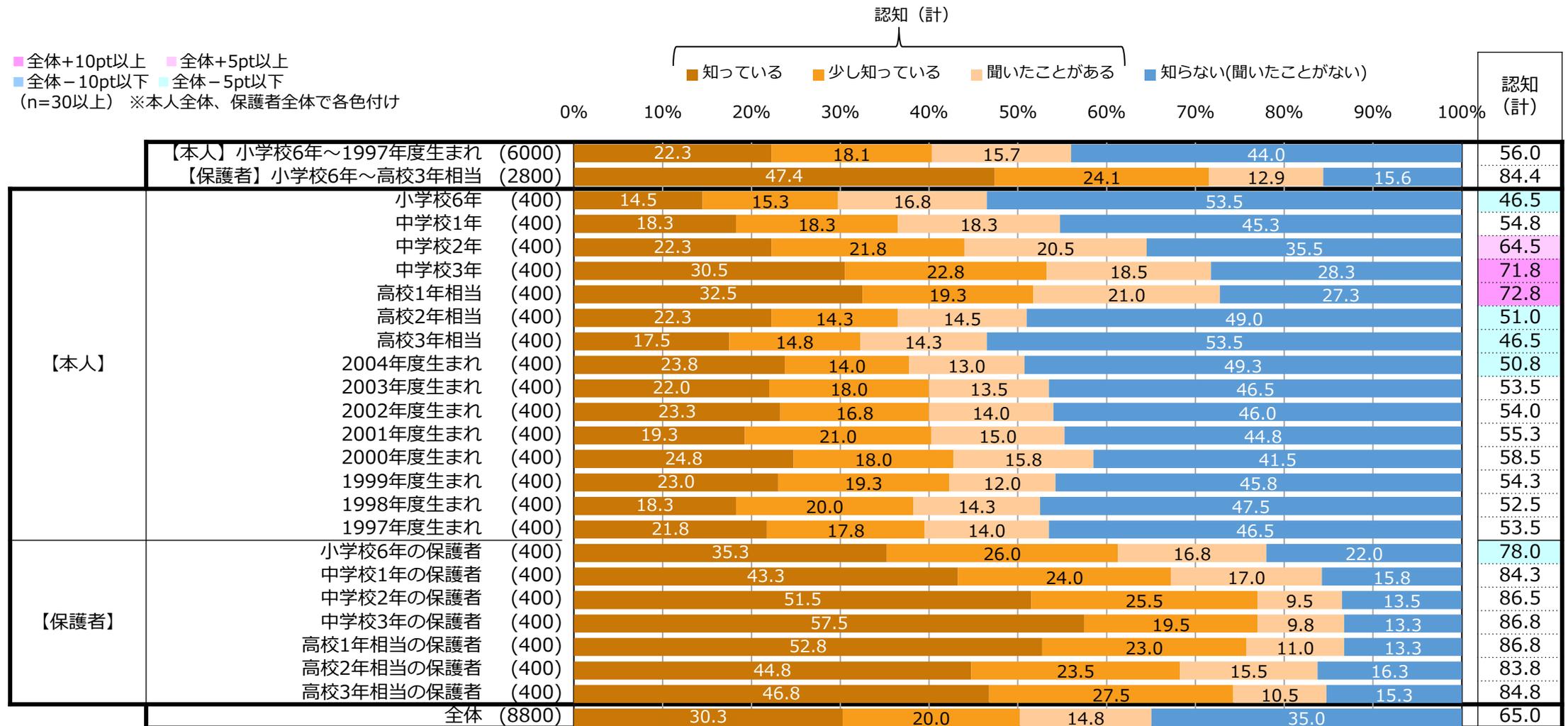
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンの知識【「政府が、小学校6年～高校1年相当に該当する女性に、HPVワクチンの接種を積極的にお勧めしていること」の認知状況】

Q2S4 あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

[政府が、小学校6年～高校1年相当に該当する女性に、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種を積極的にお勧めしていること]

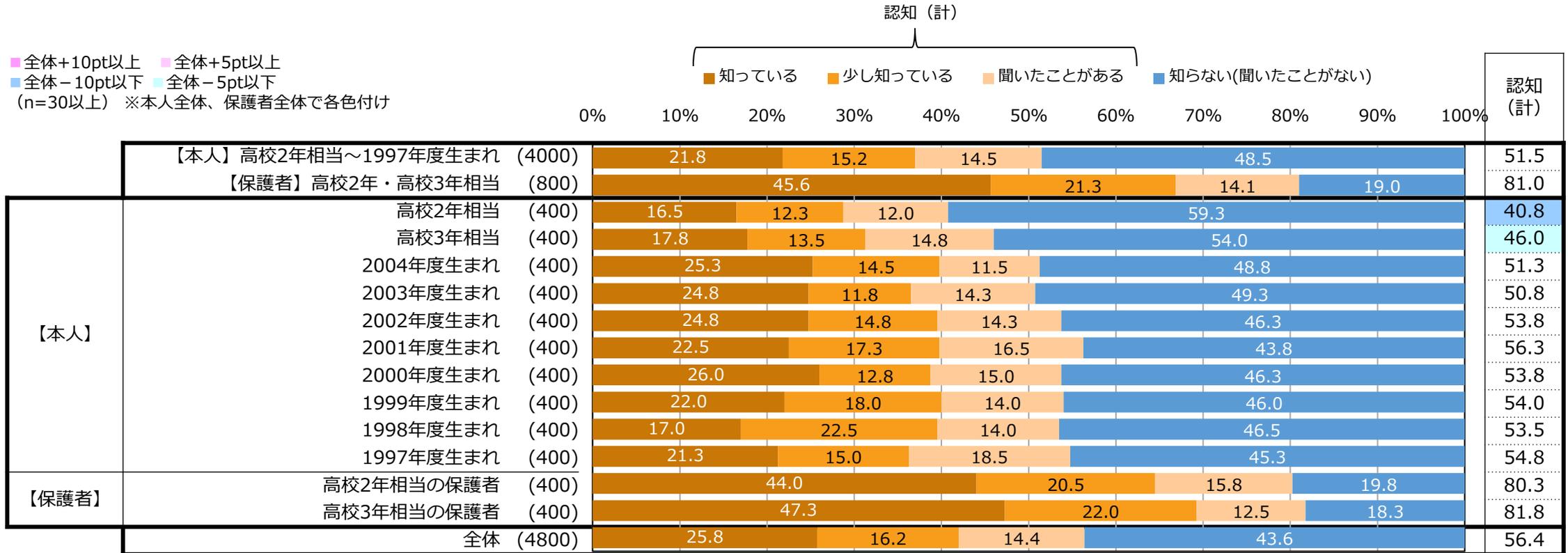


2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横において保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンの知識【「政府が、1997～2006年度生まれの女性に対しても、HPVワクチンを公費で接種できる機会を提供していること(キャッチアップ接種)」の認知状況】

Q2S5 あなたは以下について、どの程度知っていますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [政府が、1997～2006年度生まれの女性に対しても、HPVワクチンを公費で接種できる機会を提供していること(キャッチアップ接種)]



2%未満の数値ラベルは非表示

※本設問は、高校2年相当～1997年度生まれの女性本人、高校2年・高校3年相当の保護者のみに聴取

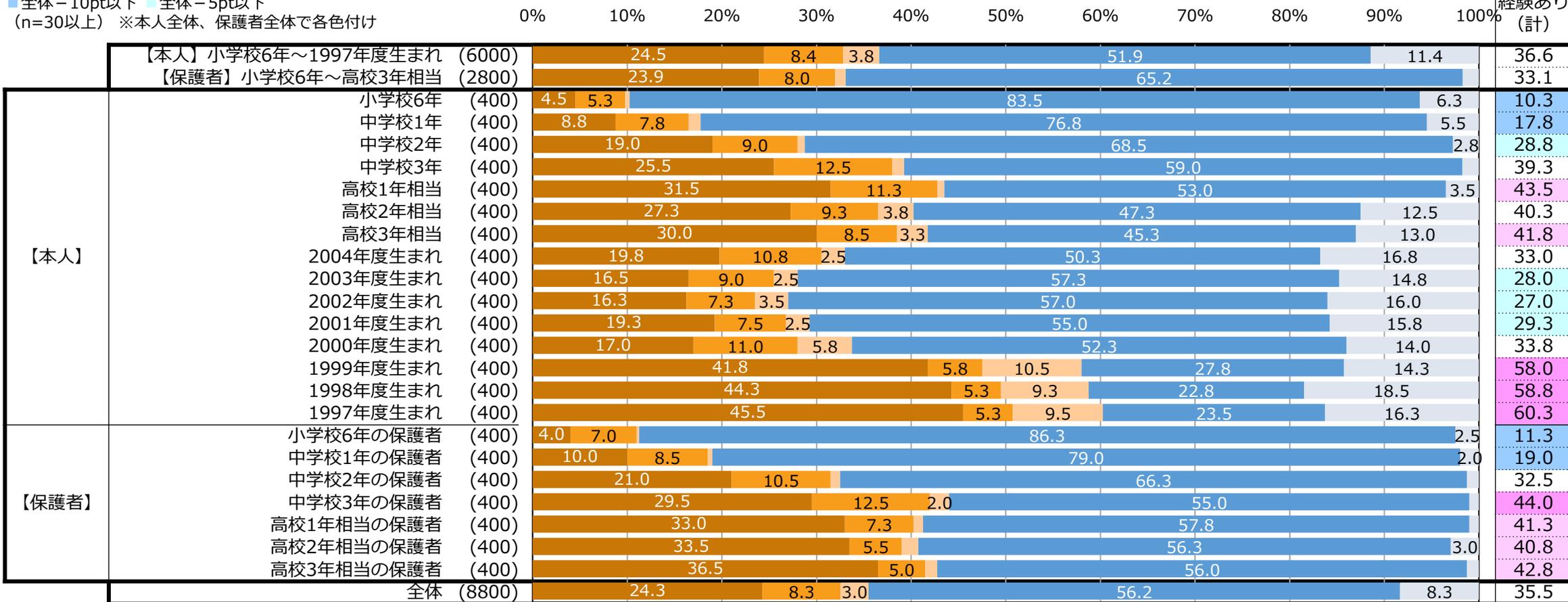
# HPVワクチン接種経験

Q3 【本人】あなたはHPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)を接種したことはありますか。  
 【保護者】あなたの娘はHPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)を接種したことはありますか。

接種経験あり(計)

- 接種したことがあり、決められた回数の接種が完了している
- 接種したことがあり、現在、接種を受けている途中
- 過去に接種したことがあるが、途中でやめた
- 一度も接種したことがない
- わからない(覚えていない)

■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上  
 ■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下  
 (n=30以上) ※本人全体、保護者全体で各色付け



2%未満の数値ラベルは非表示

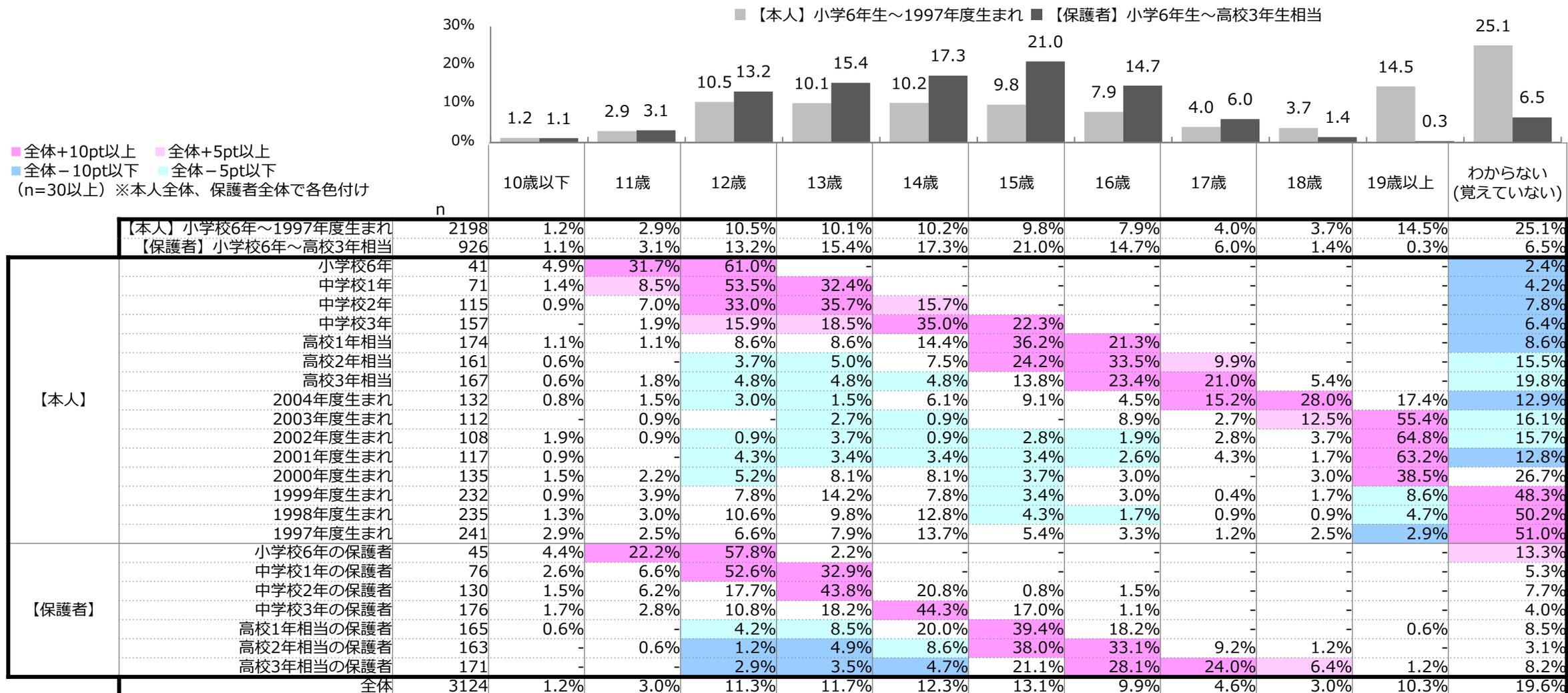
※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# HPVワクチンの1回目の接種年齢

Q4 (前問で、接種したことがある(「決められた回数の接種が完了している」「現在、接種を受けている途中」「過去に接種したことがあるが、途中でやめた」と回答した人のみ)

【本人】あなたが、HPVワクチンの1回目の接種を受けたのは何歳の時かお答えください。

【保護者】あなたの娘が、HPVワクチンの1回目の接種を受けたのは何歳の時かお答えください。



※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答



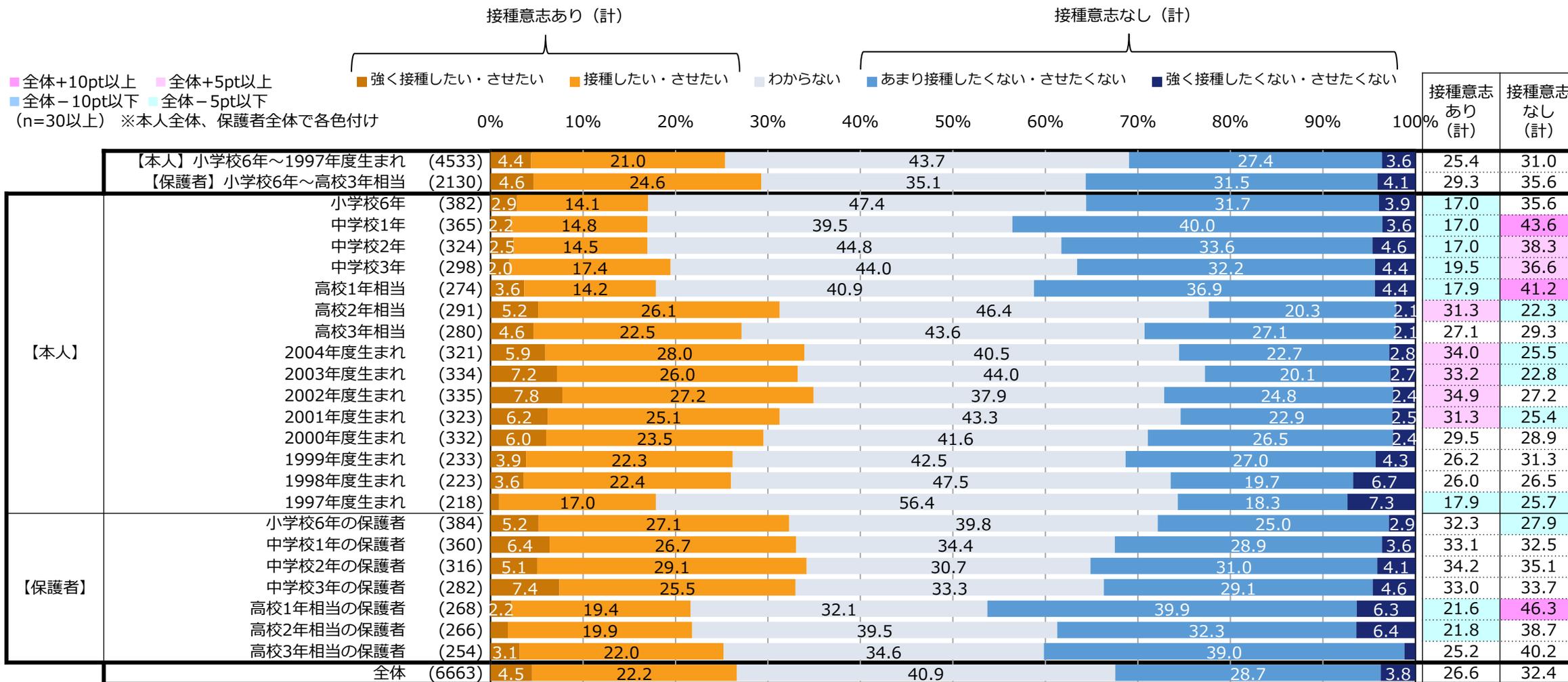


# HPVワクチンの接種に対する考え

Q6 (前問で、「決められた回数の接種が完了している」以外の回答をした人のみ)

【本人】今後、あなたはHPVワクチンを接種したいと思いますか。

【保護者】今後、あなたはあなたの娘にHPVワクチンを接種させたいと思いますか。



2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答

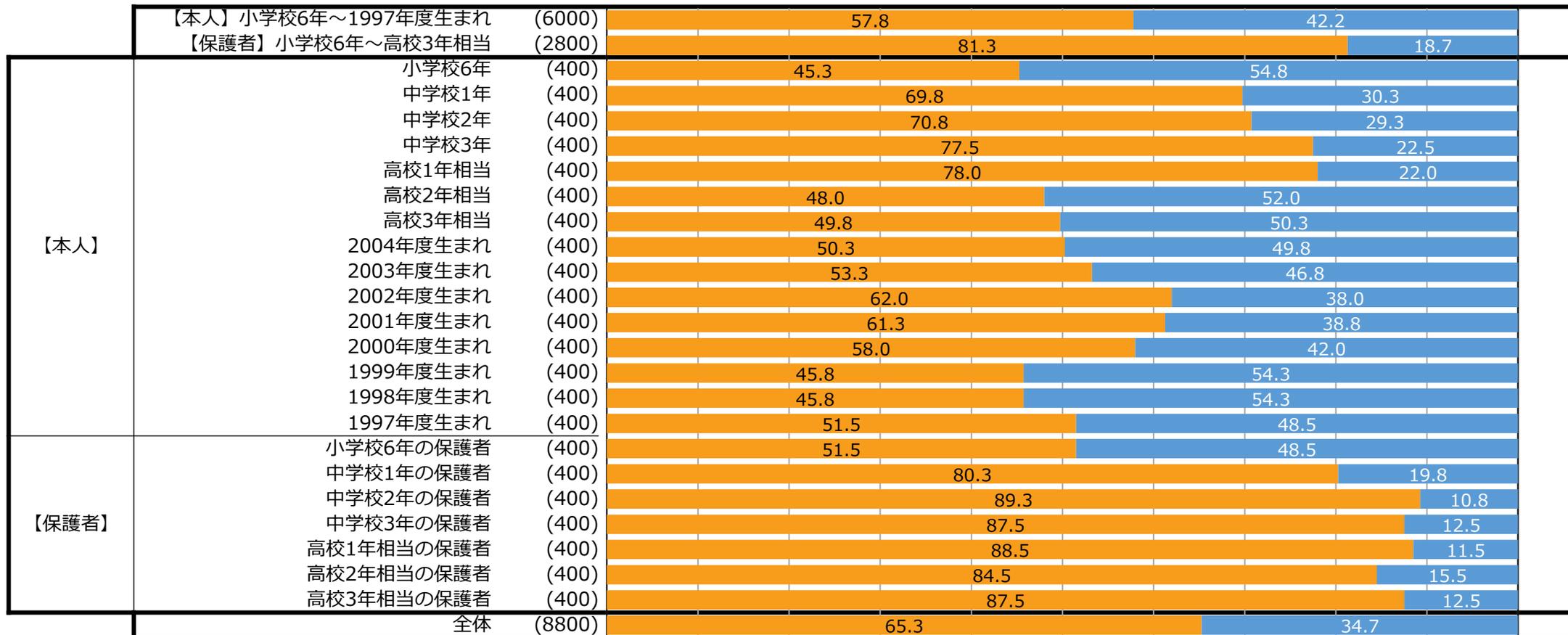


# HPVワクチン接種案内接触経験

Q8 自治体から送られてきた、HPVワクチンの接種についての案内(封書、はがきなど)を見たことはありますか。

■ はい ■ いいえ

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

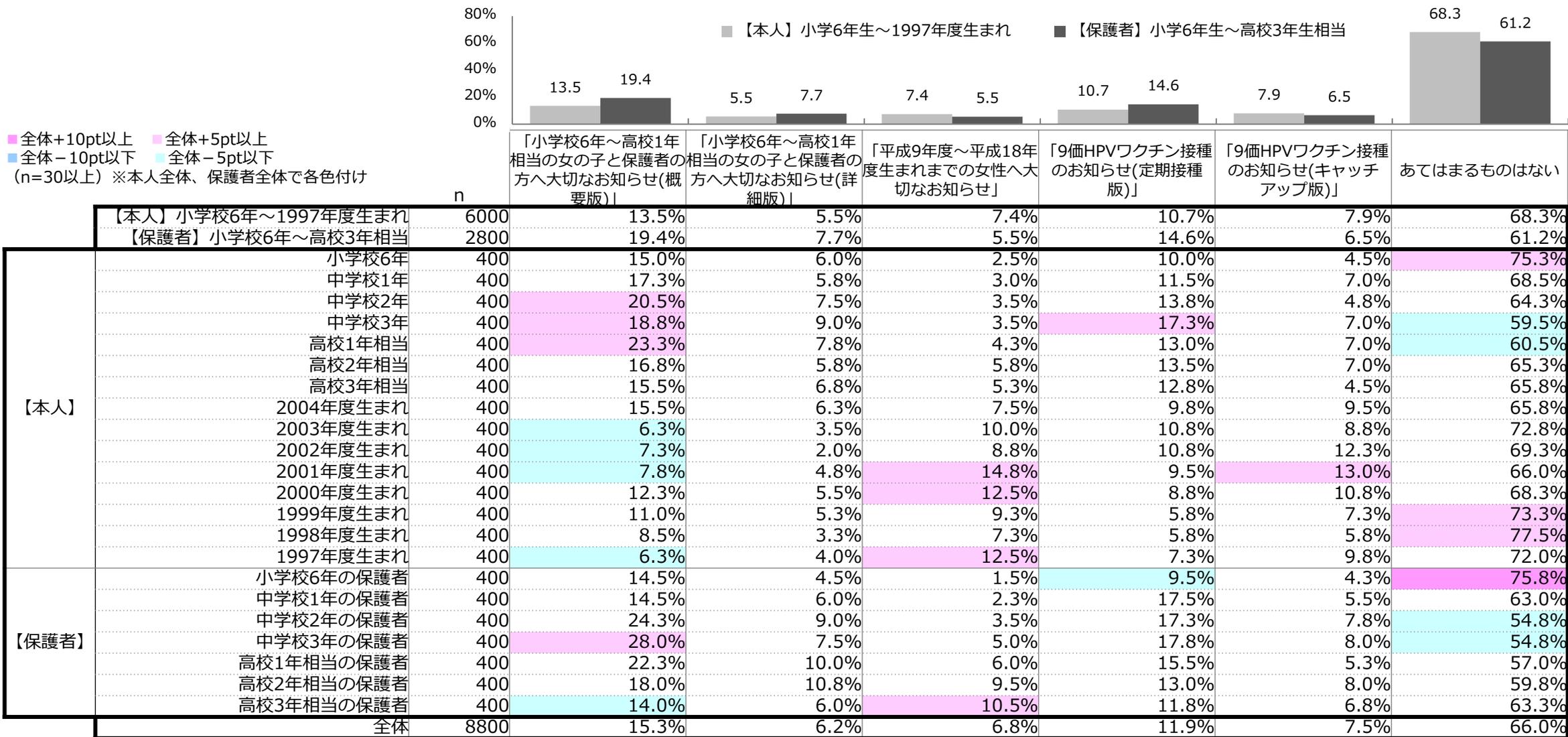


2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

# リーフレット(パンフレット)接触経験

Q9 これまでに、以下のリーフレット(パンフレット)を見たことはありますか。あてはまるものをすべてお答えください。



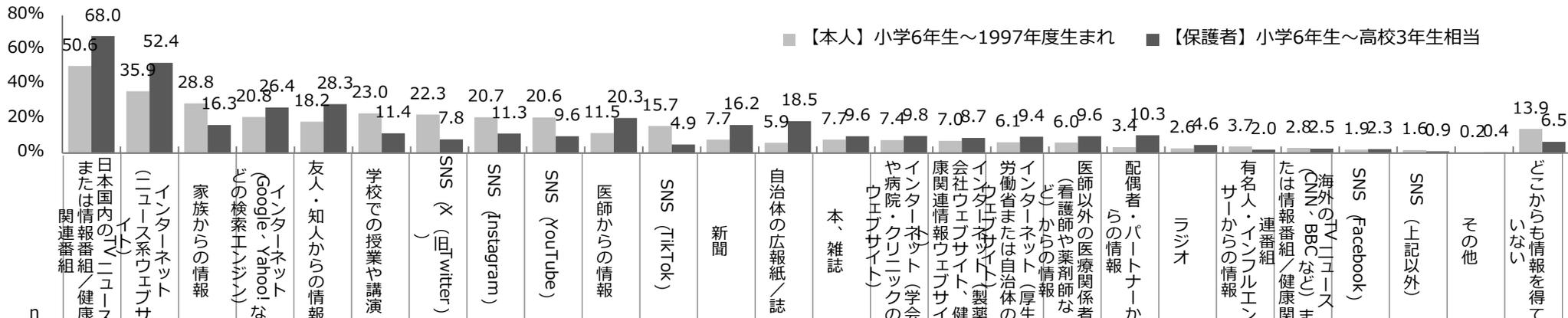
※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性 は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 一般的な健康についての情報源

Q10S1,S2 以下にあてはまる情報源および媒体について、すべてお答えください。

【本人】 [あなたが、一般的な健康についての情報を得る場合に使っている情報源]

【保護者】 [あなたの娘が、一般的な健康についての情報を得る場合に使っている情報源]



	n	または情報番組/健康関連番組	日本国内のテレビニュース系ウェブサイト	インターネット(ニュース系ウェブサイト)	家族からの情報	Google・Yahoo!などの検索エンジン	インターネット(YouTube)	友人・知人からの情報	学校での授業や講演	SNS (Twitter)	SNS (Instagram)	SNS (YouTube)	医師からの情報	SNS (TikTok)	新聞	自治体の広報紙/誌	本、雑誌	ウエブサイト(学会や病院・クリニックのウエブサイト)	インターネット(厚労省または自治体のウェブサイト)	インターネット(厚生労働省)	医師以外の医療関係者(看護師や薬剤師など)	配偶者・パートナーからの情報	ラジオ	有名人・インフルエンサーからの情報	たは情報番組/健康関連番組	海外のTVニュース(CNN、BBCなど)	SNS (Facebook)	SNS (上記以外)	その他	どこからも情報を得ていない
【本人】 小学6年生～1997年度生まれ	6000	50.6%	35.9%	28.8%	20.8%	18.2%	23.0%	22.3%	20.7%	20.6%	11.5%	15.7%	7.7%	5.9%	7.7%	7.4%	7.4%	7.0%	6.1%	6.0%	3.4%	2.6%	3.7%	2.8%	1.9%	1.6%	0.2%	13.9%		
【保護者】 小学6年生～高校3年生相当	2800	68.0%	52.4%	16.3%	26.4%	28.3%	11.4%	7.8%	11.3%	9.6%	20.3%	4.9%	16.2%	18.5%	9.6%	9.8%	8.7%	9.4%	9.6%	10.3%	4.6%	2.0%	2.5%	2.3%	0.9%	0.4%	6.5%			
【本人】	小学校6年	400	49.8%	29.0%	34.3%	14.3%	24.5%	35.0%	6.0%	11.0%	23.8%	12.0%	15.0%	8.8%	6.8%	8.5%	5.3%	3.8%	3.3%	5.0%	5.5%	2.5%	2.3%	2.3%	1.5%	0.5%	0.3%	13.8%		
	中学校1年	400	47.8%	35.3%	33.5%	18.3%	27.8%	34.3%	11.5%	16.8%	21.5%	11.8%	19.0%	5.3%	7.3%	4.8%	3.8%	3.5%	2.8%	3.5%	5.3%	0.3%	3.5%	2.8%	3.0%	0.5%	0.8%	11.0%		
	中学校2年	400	43.5%	36.0%	32.0%	17.8%	23.8%	38.8%	9.5%	20.3%	22.5%	8.0%	21.8%	8.8%	8.3%	6.3%	6.3%	4.3%	2.8%	7.8%	2.0%	3.0%	2.8%	1.8%	3.3%	1.8%	0.3%	8.5%		
	中学校3年	400	45.8%	34.8%	31.8%	19.3%	24.8%	30.5%	10.0%	19.3%	21.8%	8.8%	17.8%	6.0%	8.5%	5.8%	5.8%	3.8%	5.3%	4.5%	3.3%	1.0%	3.3%	2.8%	2.5%	1.3%	0.3%	9.8%		
	高校1年相当	400	45.8%	42.0%	31.5%	19.0%	25.5%	37.3%	13.0%	21.3%	21.3%	8.5%	17.5%	5.8%	8.8%	5.3%	3.3%	3.3%	2.3%	2.5%	1.0%	2.5%	1.3%	2.5%	1.0%	-	9.8%			
	高校2年相当	400	67.8%	47.8%	39.0%	23.0%	17.3%	37.3%	26.5%	22.5%	19.5%	13.0%	19.8%	12.3%	4.8%	11.3%	11.0%	9.5%	8.8%	6.3%	1.3%	3.0%	5.5%	2.0%	1.8%	2.5%	-	5.3%		
	高校3年相当	400	62.0%	39.8%	30.8%	25.3%	11.0%	23.5%	27.8%	23.3%	20.8%	10.0%	18.0%	10.5%	4.3%	9.3%	8.0%	8.5%	5.5%	5.5%	1.0%	2.8%	2.5%	1.8%	0.5%	1.8%	-	10.5%		
	2004年度生まれ	400	56.5%	38.0%	30.0%	20.3%	15.5%	23.5%	28.5%	22.0%	20.5%	14.0%	18.5%	9.0%	3.5%	9.3%	9.5%	11.0%	6.5%	7.5%	1.5%	3.8%	4.5%	3.5%	1.3%	0.8%	-	12.3%		
	2003年度生まれ	400	52.5%	35.5%	26.3%	23.3%	15.8%	23.5%	29.5%	23.0%	21.0%	12.3%	14.5%	6.8%	4.8%	7.3%	9.5%	8.3%	10.5%	3.3%	1.8%	2.3%	4.5%	2.5%	1.5%	3.0%	0.3%	14.8%		
	2002年度生まれ	400	47.3%	34.3%	28.5%	21.3%	13.5%	16.8%	27.3%	20.8%	18.5%	14.3%	14.0%	7.3%	5.8%	8.8%	9.3%	7.8%	8.0%	7.3%	3.0%	3.5%	4.0%	4.3%	1.3%	2.0%	-	16.3%		
【保護者】	2001年度生まれ	400	50.0%	35.8%	26.0%	26.3%	14.8%	13.3%	30.8%	24.3%	22.8%	13.8%	15.5%	8.5%	5.5%	10.5%	10.8%	9.5%	8.5%	7.3%	3.8%	3.0%	5.5%	4.3%	2.8%	1.5%	-	18.3%		
	2000年度生まれ	400	53.8%	37.5%	21.8%	27.0%	17.5%	10.8%	29.8%	27.5%	21.8%	10.5%	16.8%	8.3%	4.8%	7.5%	11.0%	10.0%	9.8%	5.3%	3.8%	3.5%	5.5%	4.3%	2.5%	4.0%	0.5%	15.3%		
	1999年度生まれ	400	46.5%	31.8%	23.5%	17.5%	15.0%	8.0%	28.5%	20.8%	19.8%	12.3%	11.5%	6.5%	5.5%	8.0%	8.0%	9.5%	7.8%	8.3%	4.5%	4.5%	3.8%	3.0%	1.5%	0.8%	-	19.8%		
	1998年度生まれ	400	45.3%	32.3%	21.8%	20.5%	13.3%	7.0%	26.8%	18.8%	17.3%	10.8%	8.5%	5.5%	5.3%	4.8%	5.8%	6.3%	5.0%	7.0%	5.3%	1.5%	2.5%	3.3%	1.5%	1.5%	-	22.8%		
	1997年度生まれ	400	44.5%	28.3%	22.0%	19.8%	13.8%	5.8%	29.5%	18.5%	16.5%	12.5%	7.0%	7.0%	5.3%	7.8%	4.5%	6.5%	5.0%	8.8%	6.3%	3.0%	2.8%	3.0%	1.5%	1.0%	0.3%	21.3%		
	小学校6年の保護者	400	68.0%	52.0%	16.5%	25.0%	18.3%	12.5%	7.8%	12.3%	8.8%	24.5%	3.8%	13.5%	19.3%	9.0%	9.8%	10.0%	8.8%	11.8%	11.8%	3.5%	1.5%	2.5%	1.8%	1.0%	0.3%	6.5%		
	中学校1年の保護者	400	69.5%	54.8%	18.0%	27.5%	31.0%	12.8%	9.0%	14.5%	10.5%	19.5%	5.5%	13.0%	15.3%	10.0%	8.3%	5.8%	7.3%	9.8%	14.5%	3.8%	2.3%	1.0%	1.5%	1.5%	-	6.3%		
	中学校2年の保護者	400	69.8%	52.8%	17.3%	26.8%	28.8%	12.5%	6.8%	11.8%	8.8%	22.3%	6.0%	15.8%	18.5%	13.3%	10.3%	9.5%	11.5%	8.5%	11.5%	4.8%	3.3%	2.8%	3.0%	1.0%	0.8%	7.0%		
中学校3年の保護者	400	69.5%	58.0%	17.0%	25.3%	30.0%	10.0%	9.5%	13.3%	13.0%	22.3%	6.8%	17.3%	17.3%	9.0%	10.5%	10.3%	10.3%	10.0%	9.3%	4.8%	2.3%	2.5%	3.8%	1.3%	0.3%	4.5%			
高校1年相当の保護者	400	70.5%	50.8%	15.5%	27.0%	28.0%	11.5%	9.0%	10.0%	10.3%	22.3%	5.5%	17.0%	18.0%	8.0%	10.8%	8.8%	9.3%	10.5%	10.0%	4.5%	1.5%	2.5%	1.0%	0.3%	1.0%	5.8%			
高校2年相当の保護者	400	63.8%	50.5%	14.0%	27.5%	26.8%	11.5%	6.8%	9.8%	9.5%	15.5%	4.3%	16.8%	20.3%	8.8%	10.0%	8.8%	10.3%	6.8%	7.5%	4.3%	1.5%	3.3%	3.3%	1.3%	-	9.3%			
高校3年相当の保護者	400	65.0%	48.0%	15.5%	25.5%	25.3%	9.3%	6.0%	7.5%	6.8%	15.5%	2.5%	20.3%	20.8%	9.5%	9.3%	8.0%	8.3%	10.3%	7.8%	6.8%	1.5%	3.0%	1.5%	0.3%	0.3%	6.3%			
全体	8800	56.1%	41.1%	24.8%	22.6%	21.4%	19.3%	17.7%	17.7%	17.1%	14.3%	12.2%	10.4%	9.9%	8.3%	8.2%	7.6%	7.1%	7.1%	5.6%	3.2%	3.1%	2.7%	2.0%	1.4%	0.2%	11.6%			

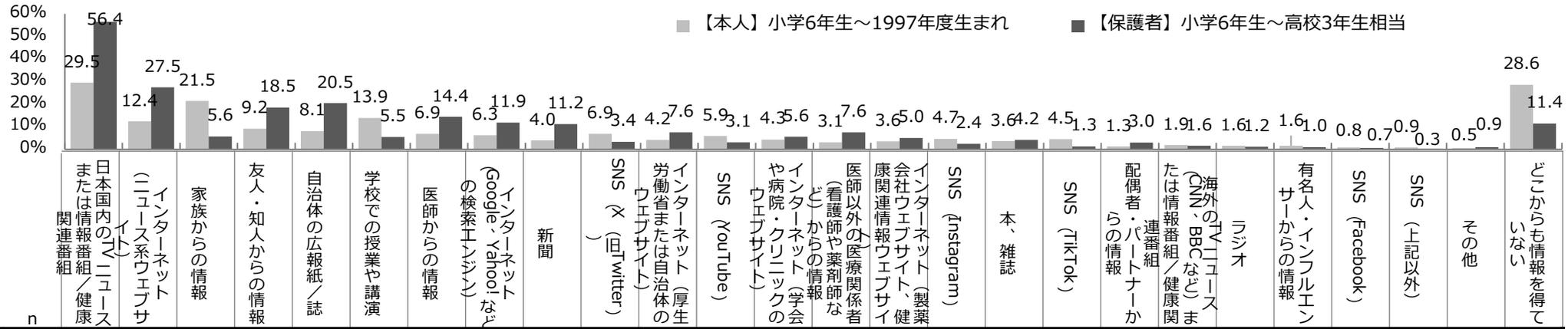
※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# HPVワクチンについて見聞きした情報源

Q10S3,S4 以下にあてはまる情報源および媒体について、すべてお答えください。

【本人】 [あなたが、HPVワクチンの情報についての情報を見聞きしたことのある媒体]

【保護者】 [あなたの娘が、HPVワクチンの情報についての情報を見聞きしたことのある媒体]



■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上  
 ■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下  
 (n=30以上)  
 ※本人全体、保護者全体で各色付け

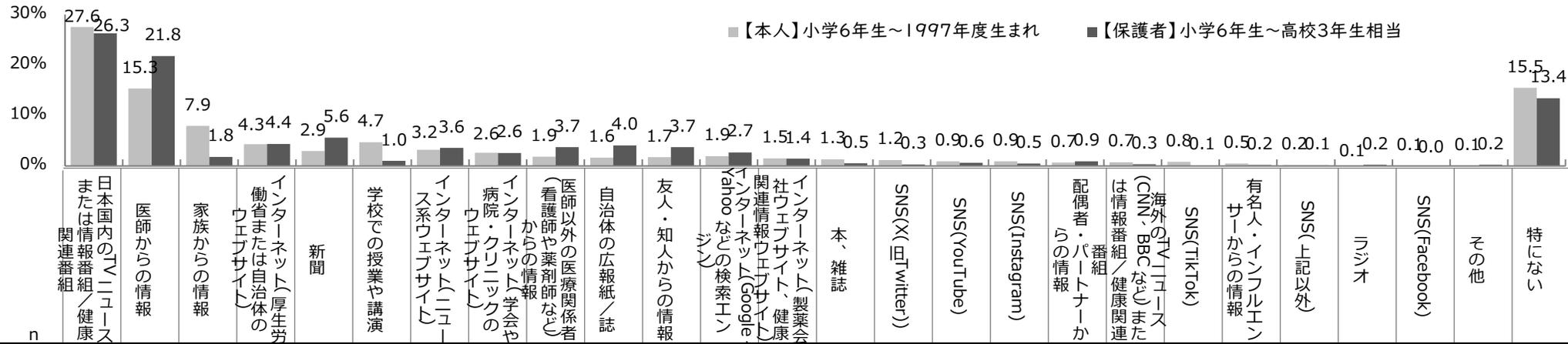
	n	【本人】 小学6年生~1997年度生まれ (%)	【保護者】 小学6年生~高校3年生相当 (%)	小学6年 (%)	中1 (%)	中2 (%)	中3 (%)	高1 (%)	高2 (%)	高3 (%)	2004 (%)	2003 (%)	2002 (%)	2001 (%)	2000 (%)	1999 (%)	1998 (%)	1997 (%)	小学6年 (%)	中1 (%)	中2 (%)	中3 (%)	高1 (%)	高2 (%)	高3 (%)	全体 (%)		
【本人】 小学6年生~1997年度生まれ	6000	29.5%	12.4%	21.5%	9.2%	8.1%	13.9%	6.9%	6.3%	4.0%	6.9%	4.2%	5.9%	4.3%	3.1%	3.6%	4.7%	3.6%	4.5%	1.3%	1.3%	1.9%	1.6%	1.6%	0.8%	0.9%	0.5%	28.6%
【保護者】 小学6年生~高校3年生相当	2800	56.4%	27.5%	5.6%	18.5%	20.5%	5.5%	14.4%	11.9%	11.2%	3.4%	7.6%	3.1%	5.6%	7.6%	5.0%	2.4%	4.2%	1.3%	3.0%	1.6%	1.2%	1.0%	0.7%	0.3%	0.9%	11.4%	
小学6年	400	27.3%	7.8%	17.5%	5.8%	4.5%	16.0%	6.8%	2.3%	2.3%	2.0%	2.8%	7.0%	2.3%	3.0%	2.0%	2.5%	3.5%	4.5%	2.0%	1.3%	1.0%	1.0%	1.3%	0.3%	0.8%	0.3%	39.8%
中1	400	27.3%	12.3%	20.3%	10.8%	7.5%	18.0%	8.0%	6.0%	2.0%	3.0%	1.8%	6.0%	1.5%	0.5%	1.8%	6.0%	2.8%	5.5%	1.5%	1.5%	0.5%	0.8%	1.3%	1.5%	1.0%	0.3%	32.0%
中2	400	27.5%	10.3%	29.3%	10.8%	8.3%	23.3%	6.3%	4.8%	4.0%	2.8%	1.8%	5.8%	4.0%	3.0%	2.3%	4.8%	2.8%	4.8%	1.3%	0.5%	0.3%	0.3%	1.0%	0.5%	1.0%	0.3%	21.8%
中3	400	27.5%	13.0%	23.8%	14.0%	10.0%	18.3%	7.5%	5.5%	4.8%	3.0%	2.0%	6.5%	1.8%	1.5%	2.0%	5.5%	3.3%	4.3%	1.8%	2.3%	1.5%	1.3%	1.0%	0.5%	0.3%	20.0%	
高1	400	31.3%	13.5%	28.5%	14.5%	13.5%	22.3%	6.8%	5.5%	5.5%	4.0%	2.0%	6.5%	1.3%	2.8%	2.0%	6.0%	1.5%	4.8%	0.3%	1.3%	0.5%	0.8%	1.0%	0.3%	0.3%	15.5%	
高2	400	34.0%	17.0%	28.5%	8.3%	6.0%	22.5%	6.0%	8.3%	5.3%	6.8%	5.0%	7.5%	5.8%	2.8%	4.0%	4.0%	4.0%	5.8%	0.5%	1.5%	1.5%	2.8%	1.0%	1.0%	0.5%	22.3%	
高3	400	33.3%	13.3%	28.5%	10.5%	6.8%	12.8%	5.8%	6.3%	5.0%	8.0%	4.0%	5.0%	3.8%	2.5%	2.8%	5.0%	3.5%	6.8%	1.0%	3.0%	2.3%	2.3%	0.3%	1.0%	0.3%	23.8%	
2004年度生まれ	400	28.8%	12.8%	23.5%	10.8%	7.0%	15.0%	5.5%	8.0%	3.5%	9.8%	5.3%	4.5%	5.0%	3.5%	5.8%	4.8%	5.0%	4.3%	0.5%	1.3%	1.3%	1.5%	-	0.3%	1.3%	0.3%	24.5%
2003年度生まれ	400	31.0%	12.5%	19.8%	7.3%	10.3%	14.0%	6.8%	6.5%	4.0%	8.8%	6.8%	6.5%	6.0%	2.8%	4.3%	3.8%	4.5%	5.5%	1.0%	2.3%	0.5%	2.0%	1.0%	0.8%	0.5%	0.5%	24.5%
2002年度生まれ	400	29.0%	12.3%	23.0%	7.8%	8.5%	10.0%	6.8%	6.8%	3.5%	8.3%	5.5%	6.5%	8.0%	3.8%	4.3%	4.8%	5.0%	5.0%	1.8%	3.0%	2.0%	2.5%	0.5%	0.8%	0.5%	0.5%	27.5%
2001年度生まれ	400	31.5%	15.5%	19.3%	10.0%	11.3%	9.5%	10.8%	10.8%	5.0%	10.0%	8.0%	7.0%	8.8%	6.0%	5.5%	7.5%	4.5%	4.8%	1.5%	2.8%	3.0%	3.3%	1.3%	2.3%	0.5%	0.5%	30.8%
2000年度生まれ	400	32.5%	13.3%	16.5%	10.0%	8.3%	6.3%	6.8%	9.5%	5.0%	10.5%	6.3%	6.8%	5.8%	4.3%	5.8%	5.0%	4.8%	4.3%	1.5%	1.8%	3.3%	2.8%	1.3%	1.0%	0.8%	0.8%	30.5%
1999年度生まれ	400	28.5%	11.3%	16.8%	7.8%	6.0%	6.8%	7.8%	3.5%	3.3%	10.5%	5.0%	5.8%	4.3%	2.0%	3.5%	3.8%	2.0%	3.8%	2.8%	2.0%	2.5%	2.3%	1.0%	1.0%	0.3%	0.3%	37.3%
1998年度生まれ	400	25.5%	11.5%	13.3%	5.3%	4.8%	8.8%	6.5%	6.3%	3.5%	7.8%	3.3%	4.3%	4.3%	4.5%	5.0%	2.8%	2.5%	1.5%	-	1.5%	2.3%	0.3%	-	1.0%	0.3%	0.3%	40.3%
1997年度生まれ	400	28.0%	9.5%	13.8%	4.0%	8.3%	5.5%	6.3%	4.5%	2.8%	7.8%	3.3%	3.3%	2.8%	3.8%	2.8%	3.8%	4.8%	2.0%	1.8%	2.8%	1.3%	0.5%	0.5%	0.8%	0.5%	0.5%	38.8%
小学6年の保護者	400	57.8%	26.0%	4.5%	15.3%	13.5%	2.0%	15.3%	8.5%	11.0%	3.0%	5.8%	2.3%	3.0%	6.8%	3.5%	2.8%	5.8%	1.0%	2.3%	1.5%	1.8%	0.8%	1.0%	0.3%	1.3%	1.0%	14.0%
中1年の保護者	400	56.0%	29.5%	6.0%	18.0%	19.3%	4.5%	15.0%	10.3%	7.0%	3.3%	5.8%	1.8%	3.3%	9.8%	2.5%	3.0%	3.5%	1.8%	6.3%	0.3%	1.0%	1.5%	-	0.8%	0.8%	11.8%	
中2年の保護者	400	57.0%	24.5%	5.5%	19.0%	19.5%	6.8%	18.3%	13.3%	10.8%	2.8%	8.5%	2.3%	7.8%	8.0%	5.8%	2.3%	7.3%	1.3%	2.3%	2.5%	1.8%	1.0%	0.5%	0.3%	1.8%	1.0%	10.5%
中3年の保護者	400	56.3%	30.5%	6.3%	19.0%	19.5%	8.3%	16.8%	13.8%	11.5%	4.8%	9.0%	4.5%	6.3%	8.8%	8.3%	2.5%	4.3%	2.0%	2.5%	2.5%	1.3%	0.8%	1.5%	0.5%	0.8%	1.0%	10.5%
高1相当の保護者	400	57.8%	30.8%	5.0%	19.0%	23.3%	5.5%	16.0%	13.8%	11.8%	4.8%	8.3%	5.5%	6.3%	7.3%	5.5%	2.5%	2.8%	2.0%	2.0%	1.8%	1.3%	1.0%	0.3%	-	0.5%	11.3%	
高2相当の保護者	400	56.5%	27.3%	7.0%	18.3%	25.0%	5.8%	10.3%	12.5%	10.8%	2.8%	9.5%	3.3%	6.8%	5.8%	6.3%	2.5%	2.8%	1.0%	3.8%	1.0%	0.3%	1.3%	1.3%	0.3%	0.5%	11.8%	
高3相当の保護者	400	53.8%	24.0%	5.3%	21.3%	23.3%	5.5%	9.3%	11.3%	15.5%	2.3%	6.3%	2.0%	5.8%	6.8%	3.5%	1.5%	3.3%	-	1.8%	1.5%	1.0%	0.5%	0.3%	0.3%	1.0%	1.0%	10.0%
全体	8800	38.1%	17.2%	16.4%	12.1%	12.0%	11.2%	9.3%	8.1%	6.3%	5.7%	5.3%	5.0%	4.7%	4.5%	4.0%	3.9%	3.8%	3.5%	1.8%	1.8%	1.5%	1.4%	0.8%	0.7%	0.6%	23.1%	

※【本人】 小学6年生~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 1番目にHPVワクチンの情報を得る場合に信頼できると思う情報源

Q11S1 【本人】 HPVワクチンに関する情報を得る場合に、あなたが信頼できると思う情報源についてお聞きます。以下のうち、あなたが最も信頼している情報源上位3つをお答えください。

【保護者】 HPVワクチンに関する情報を得る場合に、あなたの娘が信頼できると思う情報源についてお聞きます。以下のうち、あなたの娘が最も信頼している情報源上位3つをお答えください。  
[1位：最も信頼しているもの]



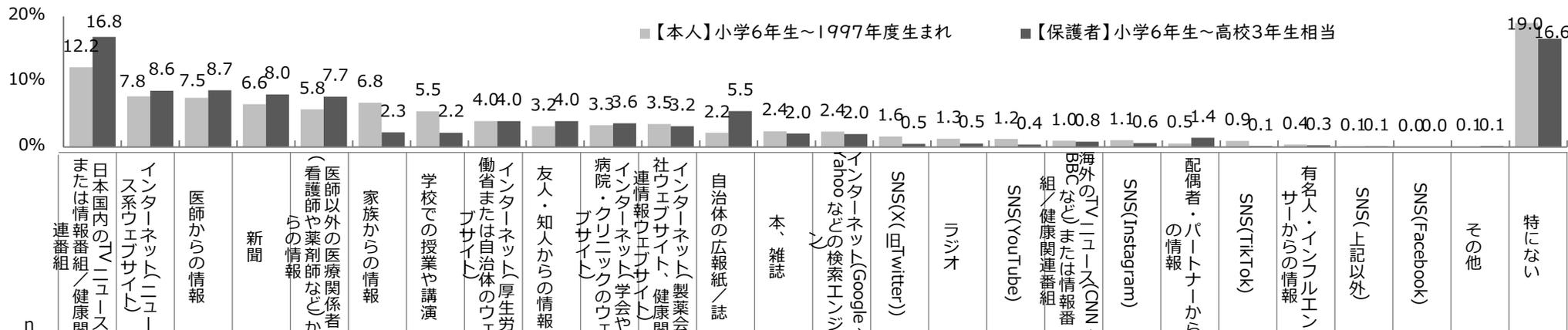
■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上  
■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下  
(n=30以上)  
※本人全体、保護者全体で各色付け

属性	年齢/学年	日本国内のTVニュースまたは情報番組/健康関連番組	医師からの情報	家族からの情報	インターネット(厚生労働省または自治体のウェブページ)	新聞	学校での授業や講演	インターネット(ニュース系ウェブサイト)	インターネット(学会や病院・クリニックのウェブページ)	医師以外の医療関係者(看護師や薬剤師など)からの情報	自治体の広報紙/誌	友人・知人からの情報	インターネット(製薬会社ウェブページ、健康関連情報ウェブサイト)	インターネット(Googleなど)の検索エンジン	本、雑誌	SNS(X(旧Twitter))	SNS(YouTube)	SNS(Instagram)	配偶者・パートナーからの情報	海外STV、EBC、CNN、BBCなど)または情報番組/健康関連番組	SNS(TikTok)	有名人・インフルエンサーからの情報	SNS(上記以外)	リンク	SNS(Facebook)	その他	特にない		
【本人】	小学校6年～1997年度生まれ	6000	27.6%	15.3%	7.9%	4.3%	2.9%	4.7%	3.2%	2.6%	1.9%	1.6%	1.7%	1.9%	1.5%	1.3%	1.2%	0.9%	0.9%	0.7%	0.7%	0.8%	0.5%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	15.5%	
【保護者】	小学校6年～高校3年相当	2800	26.3%	21.8%	1.8%	4.4%	5.6%	1.0%	3.6%	2.6%	3.7%	4.0%	3.7%	2.7%	1.4%	0.5%	0.3%	0.6%	0.5%	0.9%	0.3%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%	13.4%	
【本人】	小学校6年	400	27.0%	13.3%	12.8%	1.5%	4.0%	9.0%	4.0%	1.3%	1.8%	0.5%	1.5%	0.8%	1.3%	-	1.8%	1.3%	1.5%	0.5%	2.5%	0.5%	0.3%	-	-	-	-	13.3%	
	中学校1年	400	24.5%	14.0%	9.3%	2.8%	2.0%	9.8%	2.5%	2.3%	1.5%	2.0%	3.0%	2.3%	1.5%	1.0%	0.5%	1.0%	0.5%	0.8%	1.0%	1.8%	-	0.3%	-	0.3%	0.3%	15.5%	
	中学校2年	400	24.8%	17.5%	12.0%	2.0%	3.0%	8.8%	3.5%	2.3%	2.5%	1.8%	2.5%	1.0%	1.3%	0.3%	0.8%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	1.5%	0.5%	-	-	0.3%	-	12.8%	
	中学校3年	400	25.5%	12.8%	11.3%	2.3%	3.8%	7.5%	3.3%	2.3%	0.5%	3.5%	4.0%	2.0%	0.3%	0.8%	0.3%	1.8%	1.3%	0.8%	0.8%	0.8%	0.5%	0.3%	-	-	0.3%	14.0%	
	高校1年相当	400	24.3%	17.5%	10.8%	2.3%	2.5%	7.8%	5.0%	0.8%	1.8%	3.3%	3.5%	1.3%	0.5%	0.8%	1.3%	0.8%	1.8%	0.5%	-	1.3%	0.3%	-	0.3%	-	-	12.3%	
	高校2年相当	400	38.0%	15.0%	7.3%	5.8%	3.5%	4.5%	3.3%	1.8%	2.5%	1.0%	0.8%	2.3%	2.0%	1.3%	1.0%	0.5%	0.5%	-	0.5%	1.3%	0.8%	-	-	-	-	6.8%	
	高校3年相当	400	32.3%	16.3%	6.5%	3.5%	3.0%	3.8%	3.0%	1.3%	3.3%	1.0%	1.8%	2.8%	2.0%	1.0%	1.0%	0.3%	0.5%	0.3%	0.8%	0.3%	1.5%	0.3%	-	-	-	14.0%	
	2004年度生まれ	400	31.5%	14.8%	5.8%	6.0%	5.3%	3.5%	1.8%	2.3%	2.0%	1.5%	0.8%	2.3%	2.3%	3.0%	1.0%	0.8%	0.8%	1.5%	0.5%	1.0%	0.3%	0.3%	0.3%	-	-	-	12.0%
	2003年度生まれ	400	24.0%	16.3%	8.0%	6.0%	2.3%	5.3%	3.8%	4.8%	1.0%	1.0%	1.0%	1.8%	1.3%	2.8%	2.0%	1.5%	0.3%	-	0.3%	0.3%	0.5%	-	-	-	0.3%	16.0%	
	2002年度生まれ	400	27.5%	14.5%	6.8%	5.8%	2.5%	4.0%	1.8%	4.8%	1.5%	1.8%	1.3%	1.5%	1.0%	2.0%	1.8%	-	0.8%	0.5%	0.5%	0.3%	0.8%	0.3%	0.3%	0.3%	-	-	18.3%
	2001年度生まれ	400	27.0%	18.5%	5.5%	7.0%	3.0%	2.3%	1.8%	4.3%	2.0%	2.3%	0.5%	2.8%	1.5%	1.5%	1.8%	1.0%	1.8%	0.8%	0.8%	-	-	-	-	0.5%	-	-	13.8%
2000年度生まれ	400	32.0%	15.0%	5.0%	6.3%	3.3%	1.3%	3.0%	2.3%	2.0%	1.0%	1.5%	1.5%	2.5%	1.0%	1.8%	1.0%	0.5%	0.5%	1.3%	0.8%	0.5%	0.8%	-	-	-	-	15.5%	
1999年度生まれ	400	27.5%	15.5%	6.3%	4.0%	3.0%	1.5%	4.0%	3.8%	1.0%	1.0%	0.8%	2.0%	0.8%	1.8%	2.0%	1.5%	0.3%	1.5%	1.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.3%	-	-	-	19.5%	
1998年度生まれ	400	23.5%	15.3%	5.0%	3.5%	2.0%	0.8%	3.5%	2.8%	1.5%	1.5%	1.8%	2.3%	1.5%	0.8%	1.0%	0.8%	1.3%	1.0%	1.0%	0.3%	0.5%	-	-	-	-	28.8%		
1997年度生まれ	400	24.3%	14.0%	7.0%	6.3%	1.0%	1.0%	4.0%	2.3%	3.0%	1.3%	1.3%	2.8%	3.0%	2.0%	1.5%	1.0%	1.3%	1.0%	1.0%	1.0%	-	-	0.3%	-	-	20.0%		
【保護者】	小学校6年の保護者	400	22.5%	23.8%	1.8%	4.5%	6.8%	1.0%	3.5%	3.5%	1.8%	3.8%	1.3%	1.3%	0.8%	-	0.8%	0.8%	0.5%	0.8%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	-	-	0.3%	16.5%	
	中学校1年の保護者	400	27.5%	21.5%	0.8%	4.3%	4.0%	0.8%	4.5%	2.3%	4.3%	3.5%	4.5%	1.8%	2.3%	0.5%	0.3%	0.3%	0.5%	2.5%	-	-	0.5%	0.3%	0.3%	-	-	13.3%	
	中学校2年の保護者	400	26.5%	26.3%	2.3%	4.3%	4.3%	0.5%	3.3%	3.8%	4.8%	3.8%	3.0%	2.5%	0.8%	0.5%	0.3%	0.8%	0.5%	1.0%	0.3%	-	-	-	0.8%	-	-	10.3%	
	中学校3年の保護者	400	29.0%	18.3%	2.8%	4.8%	5.0%	1.3%	4.3%	2.0%	2.8%	4.5%	4.0%	3.3%	1.3%	0.3%	0.5%	1.3%	-	0.5%	0.5%	0.3%	-	-	-	-	0.5%	13.3%	
	高校1年相当の保護者	400	25.3%	24.5%	1.3%	3.8%	4.8%	1.3%	3.0%	1.5%	3.8%	4.5%	3.5%	3.5%	1.8%	1.0%	0.5%	1.0%	0.5%	-	0.5%	0.3%	0.5%	0.3%	-	-	0.3%	13.0%	
	高校2年相当の保護者	400	28.5%	21.3%	1.0%	4.3%	6.0%	0.5%	3.0%	2.5%	2.5%	4.5%	3.8%	2.8%	2.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	1.3%	0.3%	-	-	0.3%	0.3%	-	-	-	14.3%
高校3年相当の保護者	400	24.8%	17.0%	2.8%	4.8%	8.5%	1.8%	3.5%	2.5%	4.5%	5.8%	3.5%	3.8%	0.5%	0.5%	0.3%	-	0.8%	-	-	-	-	-	-	0.3%	0.5%	13.5%		
全体	8800	27.2%	17.4%	6.0%	4.3%	3.8%	3.5%	3.3%	2.6%	2.4%	2.4%	2.4%	2.2%	1.5%	1.1%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.6%	0.6%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	14.8%	

※【本人】小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 2番目にHPVワクチンの情報を得る場合に信頼できると思う情報源

Q11S2 【本人】 HPVワクチンに関する情報を得る場合に、あなたが信頼できると思う情報源についてお聞きます。以下のうち、あなたが最も信頼している情報源上位3つをお答えください。  
 【保護者】 HPVワクチンに関する情報を得る場合に、あなたの娘が信頼できると思う情報源についてお聞きます。以下のうち、あなたの娘が最も信頼している情報源上位3つをお答えください。  
 [2位：2番目に信頼しているもの]



■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上  
 ■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下  
 (n=30以上)  
 ※本人全体、保護者全体で各色付け

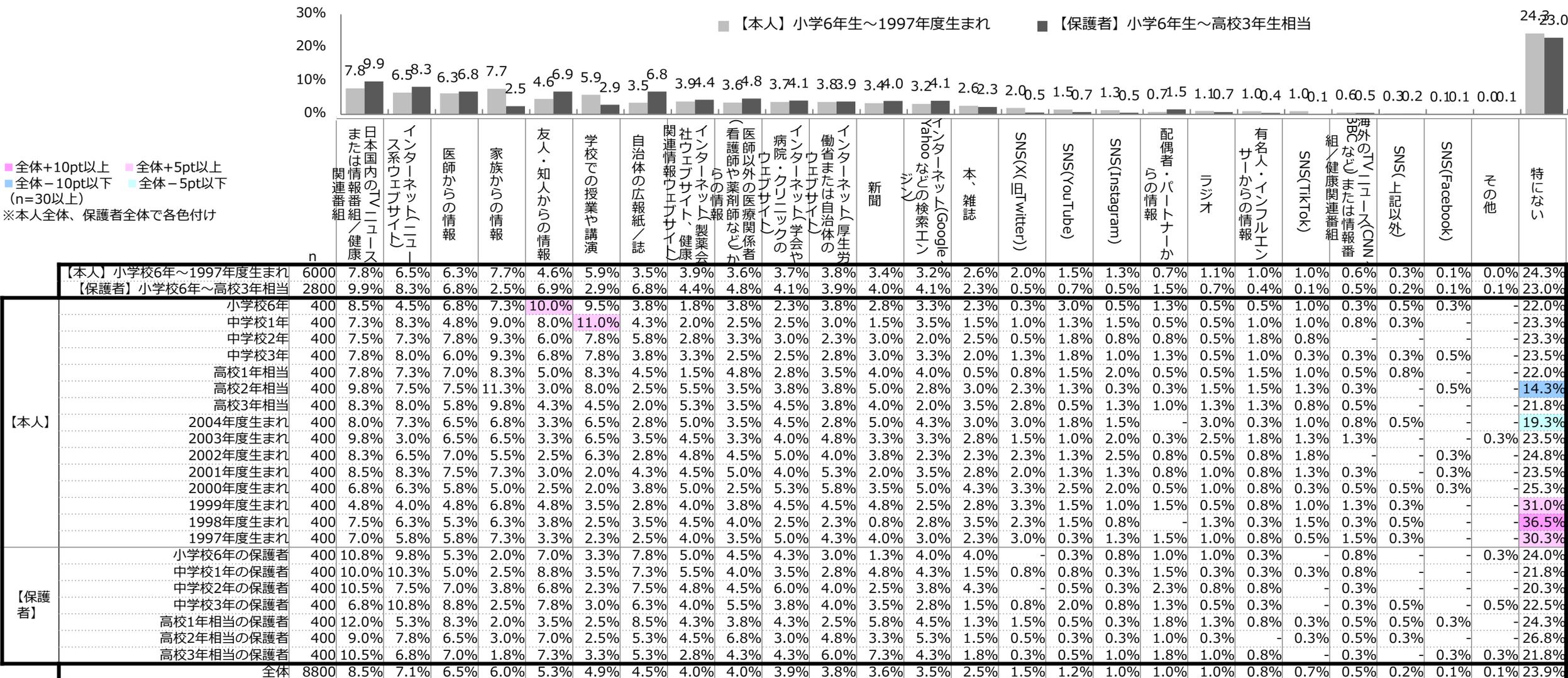
	日本国内のTVニュース または情報番組/健康 連番組	インターネット(ニユー ス系ウェブサイト)	医師からの情報	新聞	医師以外の医療関係者 (看護師や薬剤師など) からの情報	家族からの情報	学校での授業や講演	働省または自治体のウエ ブサイト	インターネット(厚生労 働省)	友人・知人からの情報	インターネット(厚生労 働省または自治体のウエ ブサイト)	社ウェブページ、健康関 連情報ウェブサイト	インターネット(学会や 病院・クリニックのウエ ブサイト)	自治体の広報紙/誌	本、雑誌	インターネット(Google Yahooなど)検索ハンミ ンク	SNS(X(旧Twitter))	ラジオ	SNS(YouTube)	海外のTVニュース(CNN BBCなど)または情報番 組/健康関連番組	SNS(Instagram)	配偶者・パートナーから の情報	SNS(TikTok)	有名人・インフルエン サーからの情報	SNS(上記以外)	SNS(Facebook)	その他	特記なし
【本人】 小学校6年~1997年度生まれ	6000	12.2%	7.8%	7.5%	6.6%	5.8%	6.8%	5.5%	4.0%	3.2%	3.3%	3.5%	2.2%	2.4%	2.4%	1.6%	1.3%	1.2%	1.0%	1.1%	0.5%	0.9%	0.4%	0.1%	0.0%	0.1%	19.0%	
【保護者】 小学校6年~高校3年相当	2800	16.8%	8.6%	8.7%	8.0%	7.7%	2.3%	2.2%	4.0%	4.0%	3.6%	3.2%	5.5%	2.0%	2.0%	0.5%	0.5%	0.4%	0.8%	0.6%	1.4%	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	16.6%	
【本人】	小学校6年	400	12.0%	7.5%	7.5%	7.0%	3.8%	9.5%	11.0%	2.5%	5.0%	1.8%	2.3%	1.8%	2.3%	2.8%	0.5%	0.5%	2.0%	-	0.5%	1.0%	2.0%	-	-	-	0.3%	16.8%
	中学校1年	400	15.8%	8.0%	7.8%	6.8%	3.3%	8.8%	7.8%	2.5%	3.8%	2.0%	2.5%	2.3%	0.8%	2.5%	0.5%	0.3%	2.8%	1.0%	0.5%	0.3%	1.0%	0.8%	0.5%	0.3%	-	18.0%
	中学校2年	400	13.0%	10.8%	7.8%	4.8%	4.8%	7.8%	10.5%	3.8%	4.8%	2.0%	2.3%	3.5%	1.5%	2.8%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	2.3%	0.5%	0.8%	0.3%	-	-	-	15.0%
	中学校3年	400	14.0%	7.3%	7.5%	5.3%	6.0%	7.0%	8.5%	2.8%	5.0%	1.5%	2.3%	2.3%	1.3%	2.8%	1.3%	0.8%	1.8%	1.5%	2.3%	0.3%	1.3%	-	0.3%	-	-	17.5%
	高校1年相当	400	12.0%	11.0%	7.0%	8.0%	5.5%	9.5%	8.0%	1.8%	5.0%	2.0%	1.5%	3.0%	2.0%	2.0%	0.8%	0.5%	0.8%	0.3%	1.3%	0.3%	1.8%	0.5%	-	-	-	15.8%
	高校2年相当	400	13.8%	8.3%	10.8%	10.3%	5.8%	6.3%	6.8%	4.8%	1.8%	4.5%	5.3%	1.0%	2.3%	2.0%	1.8%	1.5%	1.0%	1.3%	0.5%	0.3%	0.3%	0.5%	-	-	-	9.8%
	高校3年相当	400	14.0%	8.0%	7.0%	7.8%	5.8%	6.8%	5.8%	3.3%	2.3%	2.8%	4.3%	1.5%	3.8%	3.3%	1.3%	2.3%	0.8%	1.0%	0.5%	0.8%	0.5%	0.5%	-	0.3%	-	16.3%
	2004年度生まれ	400	14.3%	5.8%	8.0%	6.8%	5.8%	7.0%	4.5%	5.8%	1.5%	4.5%	3.5%	2.8%	4.5%	1.8%	2.3%	1.8%	0.5%	0.8%	0.3%	0.5%	1.0%	1.0%	-	-	-	15.8%
	2003年度生まれ	400	12.5%	8.3%	7.5%	6.0%	7.3%	5.0%	3.0%	4.0%	2.5%	4.5%	4.3%	2.3%	3.8%	2.5%	2.5%	0.8%	1.0%	0.3%	1.3%	0.3%	1.0%	0.3%	0.3%	-	0.3%	19.0%
	2002年度生まれ	400	9.3%	7.3%	9.8%	6.3%	4.0%	7.3%	4.0%	5.3%	2.0%	4.0%	5.3%	2.3%	3.5%	2.0%	1.8%	0.8%	1.8%	1.3%	0.3%	0.3%	1.0%	-	-	-	0.3%	20.8%
	2001年度生まれ	400	11.8%	7.5%	6.5%	6.3%	8.8%	5.5%	4.8%	3.5%	2.8%	3.0%	5.5%	3.3%	2.3%	2.5%	1.5%	1.5%	1.0%	1.3%	1.3%	-	0.5%	0.8%	-	0.3%	-	18.3%
	2000年度生まれ	400	10.8%	7.0%	5.5%	5.8%	6.3%	6.5%	3.3%	5.0%	2.8%	5.0%	4.8%	2.0%	2.5%	1.8%	3.0%	2.5%	1.3%	1.8%	1.3%	0.3%	1.3%	0.3%	0.3%	0.3%	-	19.3%
	1999年度生まれ	400	9.8%	9.8%	7.3%	5.3%	6.0%	5.5%	2.0%	5.5%	3.3%	3.5%	3.0%	1.3%	1.3%	1.5%	2.3%	1.5%	1.3%	1.5%	1.3%	0.5%	0.8%	0.5%	-	-	-	25.8%
1998年度生まれ	400	9.5%	5.8%	4.5%	6.0%	6.5%	4.5%	1.8%	4.0%	2.3%	5.0%	2.0%	1.5%	2.3%	2.5%	2.8%	1.5%	1.0%	1.3%	1.3%	1.0%	0.3%	0.3%	0.3%	-	-	32.5%	
1997年度生まれ	400	10.8%	4.3%	8.5%	6.3%	7.3%	4.8%	0.3%	5.3%	3.0%	3.8%	4.0%	2.0%	2.3%	2.8%	1.8%	2.8%	1.0%	1.3%	1.3%	2.0%	0.5%	0.3%	-	-	-	24.3%	
【保護者】	小学校6年の保護者	400	16.0%	7.0%	9.0%	7.0%	9.8%	1.0%	2.8%	4.3%	5.5%	3.3%	3.0%	5.0%	3.0%	0.8%	1.0%	0.3%	-	0.5%	0.5%	1.5%	0.3%	-	-	-	0.5%	17.8%
	中学校1年の保護者	400	15.8%	8.8%	9.3%	8.3%	10.0%	4.0%	2.5%	3.0%	3.0%	4.3%	2.5%	3.8%	1.0%	2.0%	0.5%	0.3%	0.3%	1.0%	1.0%	2.5%	-	-	0.3%	-	-	16.3%
	中学校2年の保護者	400	18.5%	7.0%	9.3%	9.8%	8.0%	2.0%	2.5%	4.0%	4.3%	4.3%	2.3%	5.5%	2.8%	1.3%	0.5%	0.5%	0.3%	0.8%	0.5%	1.8%	-	0.8%	0.3%	-	-	13.5%
	中学校3年の保護者	400	18.5%	9.5%	8.3%	6.8%	5.5%	1.5%	2.5%	3.8%	3.8%	4.5%	3.8%	5.5%	1.8%	2.5%	1.0%	1.0%	0.5%	0.5%	1.0%	1.3%	0.3%	-	-	-	0.3%	16.3%
	高校1年相当の保護者	400	15.0%	9.3%	10.5%	7.3%	9.3%	2.3%	1.3%	3.8%	2.5%	3.0%	2.8%	6.3%	1.5%	3.8%	0.3%	0.5%	0.8%	1.5%	0.8%	1.0%	-	0.8%	-	-	0.3%	16.0%
	高校2年相当の保護者	400	16.3%	8.5%	6.8%	8.3%	7.5%	3.3%	1.8%	4.3%	3.5%	3.5%	4.0%	5.8%	1.5%	1.8%	0.3%	0.3%	0.5%	1.0%	0.3%	1.3%	0.3%	-	0.3%	0.3%	-	19.5%
高校3年相当の保護者	400	17.8%	10.3%	7.8%	9.0%	4.0%	1.8%	2.0%	4.8%	5.5%	2.5%	4.0%	6.3%	2.8%	1.8%	-	1.0%	0.3%	0.5%	0.3%	0.8%	0.3%	0.3%	-	-	-	16.8%	
全体	8800	13.7%	8.0%	7.9%	7.0%	6.4%	5.3%	4.4%	4.0%	3.4%	3.4%	3.4%	3.2%	2.3%	2.2%	1.3%	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%	0.7%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	18.2%	

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答

# 3番目にHPVワクチンの情報を得る場合に信頼できると思う情報源

Q11S3 【本人】 HPVワクチンに関する情報を得る場合に、あなたが信頼できると思う情報源についてお聞きます。以下のうち、あなたが最も信頼している情報源上位3つをお答えください。

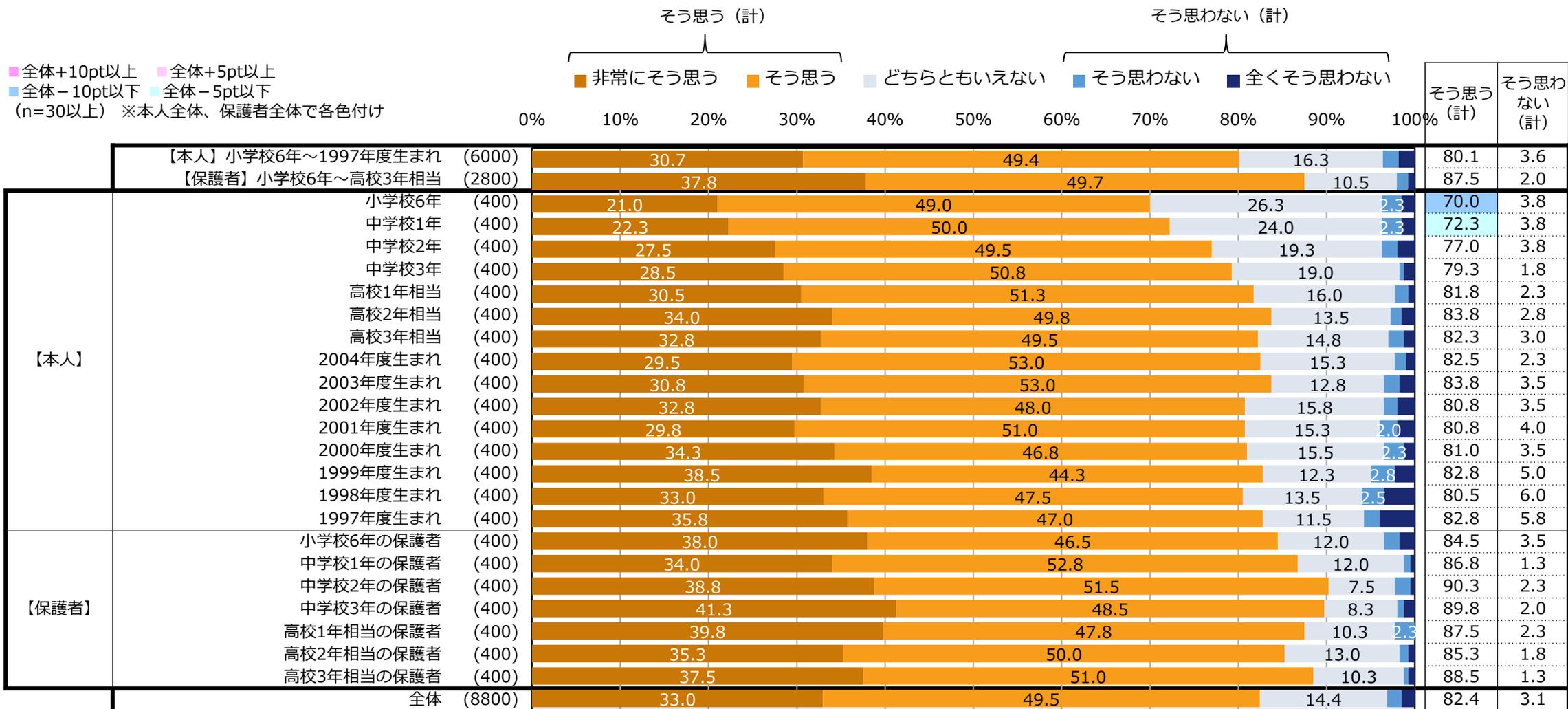
【保護者】 HPVワクチンに関する情報を得る場合に、あなたの娘が信頼できると思う情報源についてお聞きます。以下のうち、あなたの娘が最も信頼している情報源上位3つをお答えください。  
[3位：3番目に信頼しているもの]



※【本人】 小学校6年～高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識【子宮頸がんは深刻な病気だと思う】

Q12S1 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [子宮頸がんは深刻な病気だと思う]



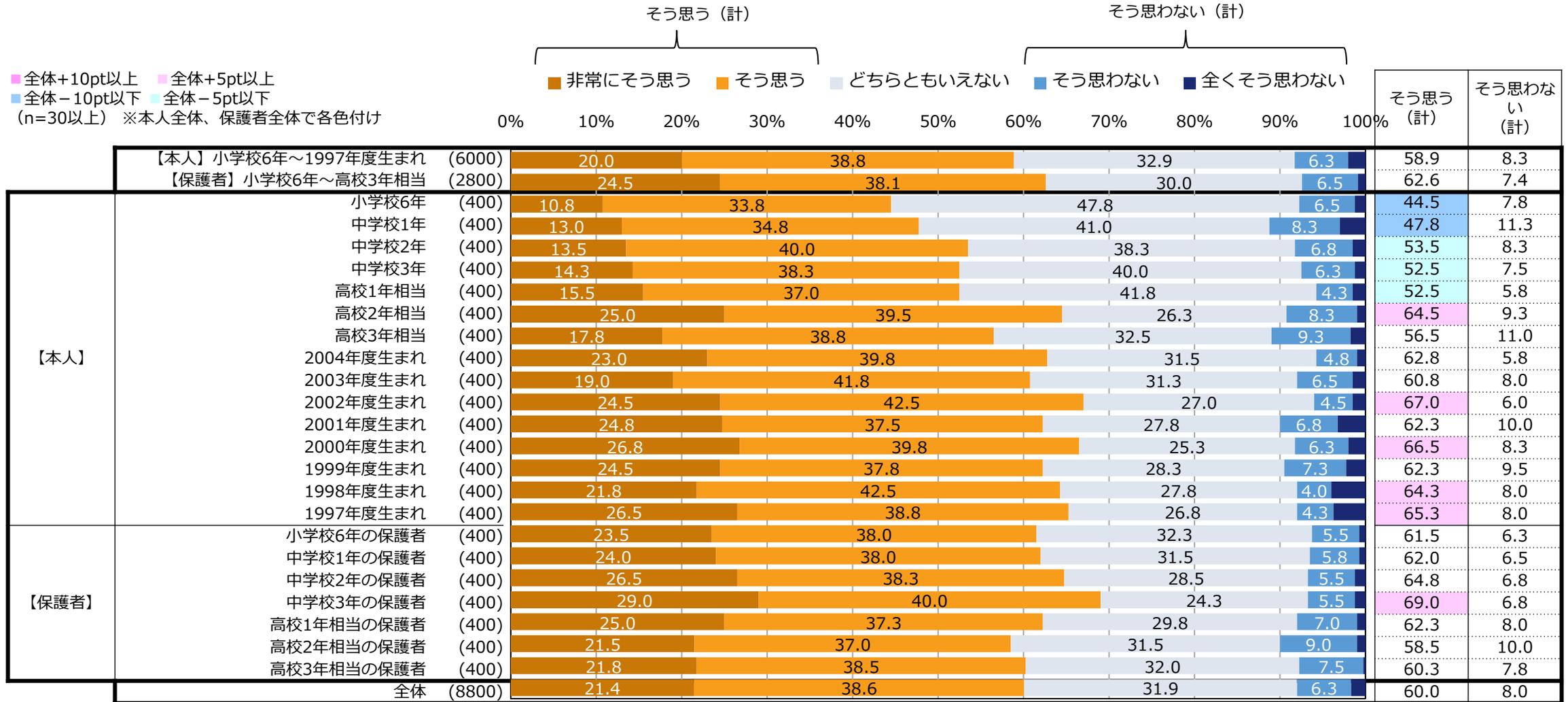
※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

2%未満の数値ラベルは非表示

# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識

【HPVは、性交渉の経験のある女性であれば、誰でも一生に一度は感染する可能性がある】

Q12S2 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [HPVは、性交渉の経験のある女性であれば、誰でも一生に一度は感染する可能性がある]



2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識

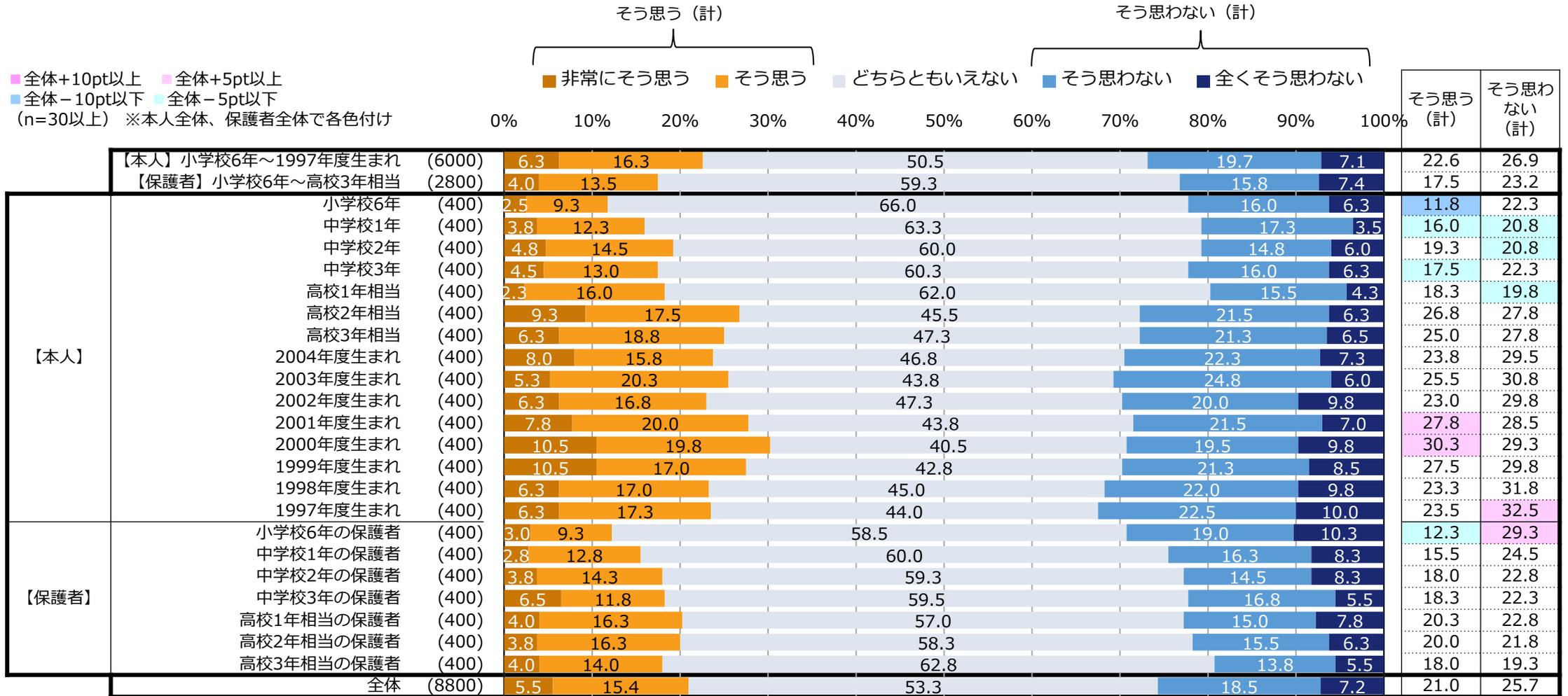
【私は、子宮頸がんになる可能性は高くないと思う/娘は、子宮頸がんになる可能性は高くないと思う】

Q12S3 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

[私は、子宮頸がんになる可能性は高くないと思う]

Q12S4 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

[娘は、子宮頸がんになる可能性は高くないと思う]

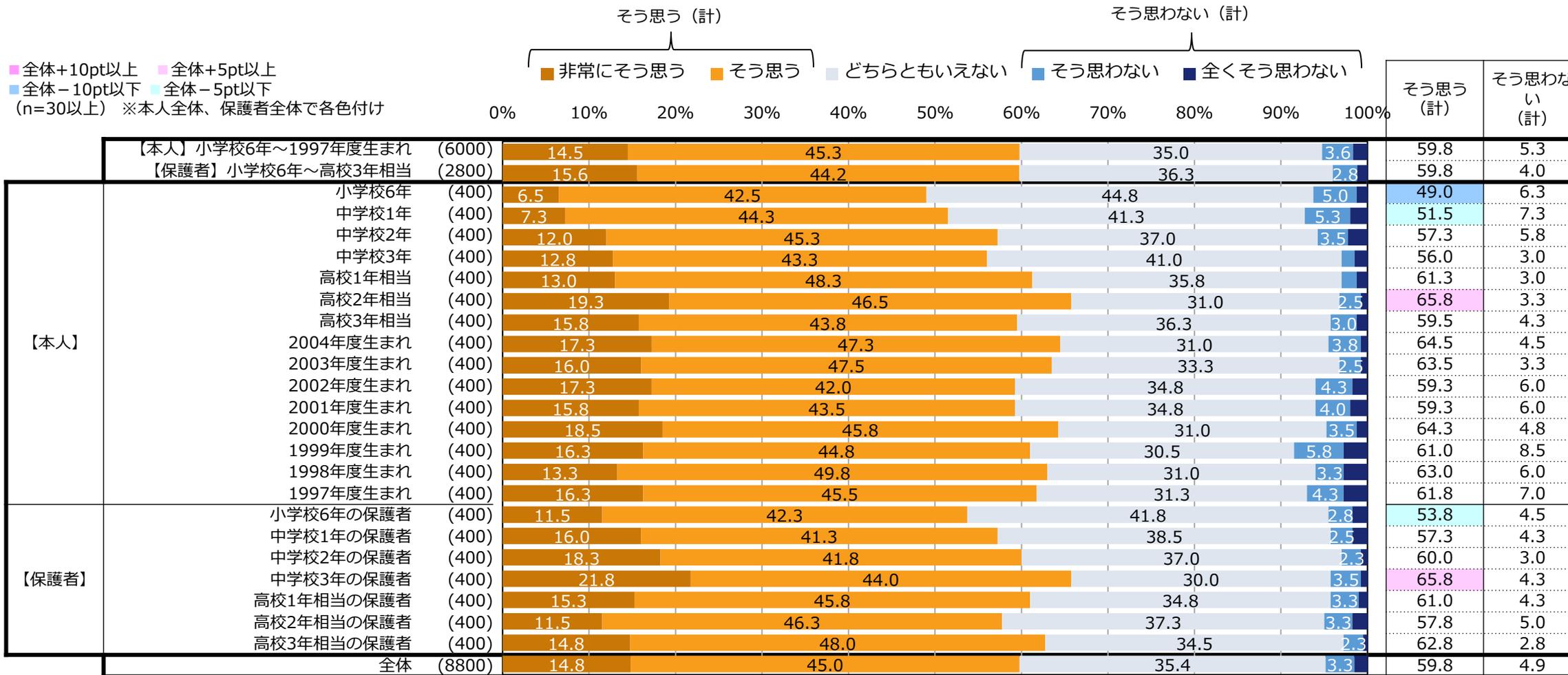


2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答。  
また、小学校6年~高校1年相当の女性に対しても、「娘は、子宮頸がんになる可能性は高くないと思う」として聴取されていた

# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識【HPVワクチンは、子宮頸がんを予防するのに有効である】

Q12S5 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [HPVワクチンは、子宮頸がんを予防するのに有効である]



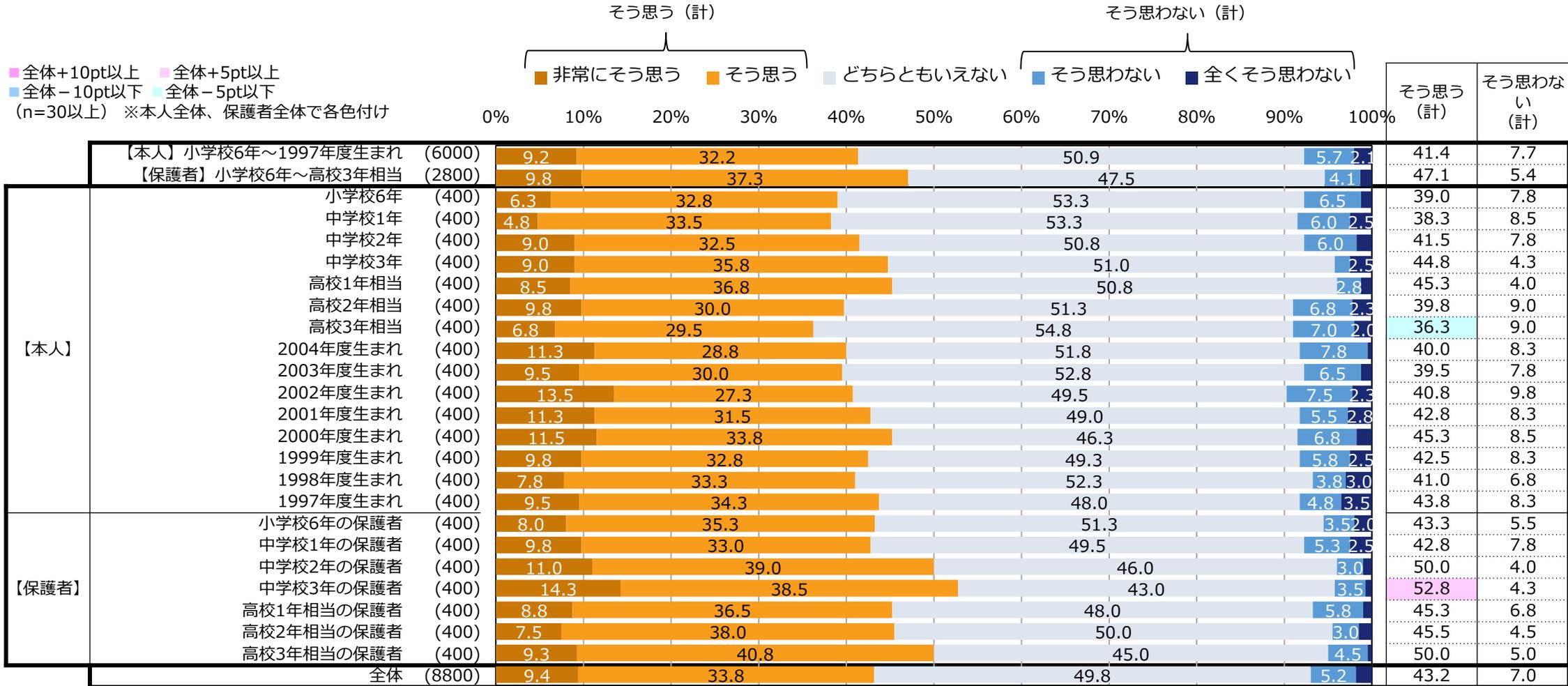
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識

## 【公費で接種できるHPVワクチンで、子宮頸がんの原因となるHPVの90%までが予防できる】

Q12S6 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [公費で接種できるHPVワクチンで、子宮頸がんの原因となるHPVの90%までが予防できる]



2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識

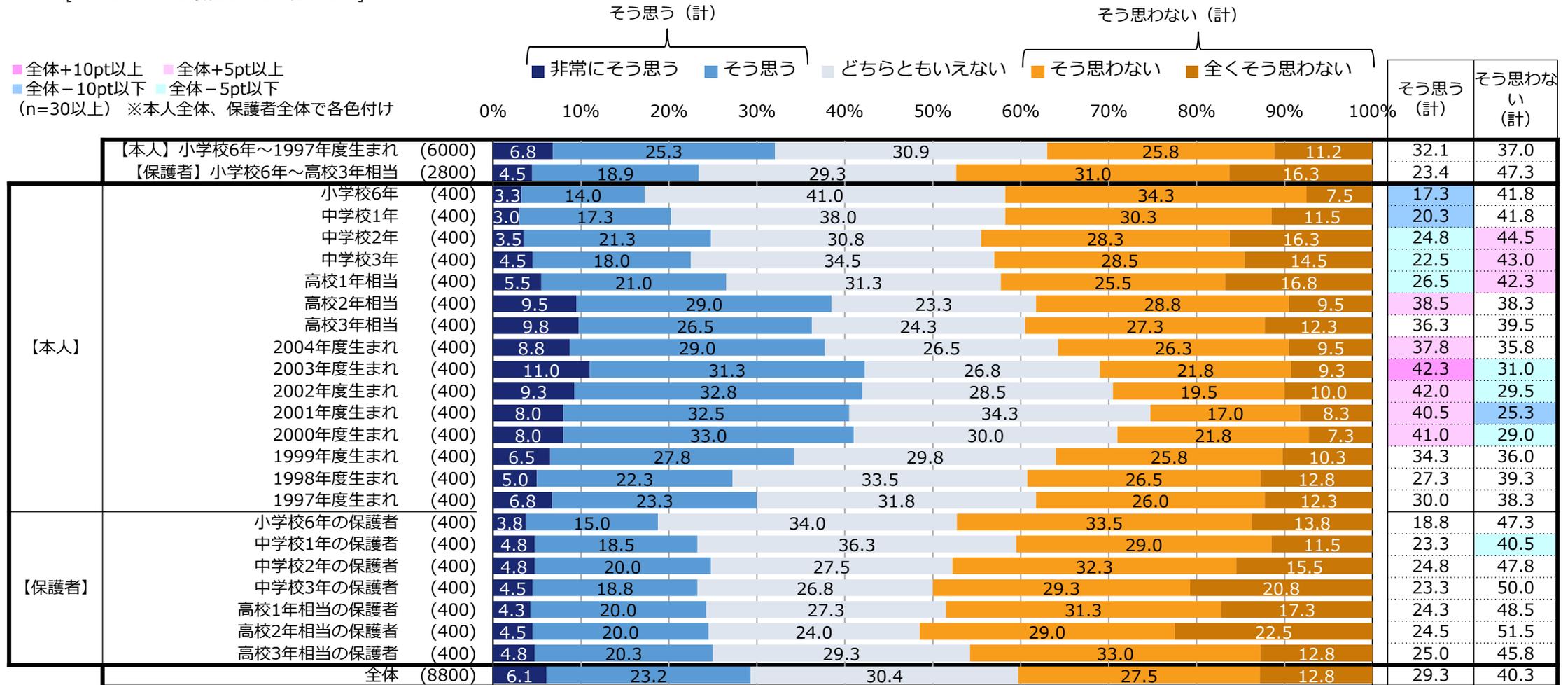
## 【HPVワクチンを接種する時間がない/HPVワクチンを接種させる時間がない】

Q12S7 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

【HPVワクチンを接種する時間がない】

Q12S8 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

【HPVワクチンを接種させる時間がない】



2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

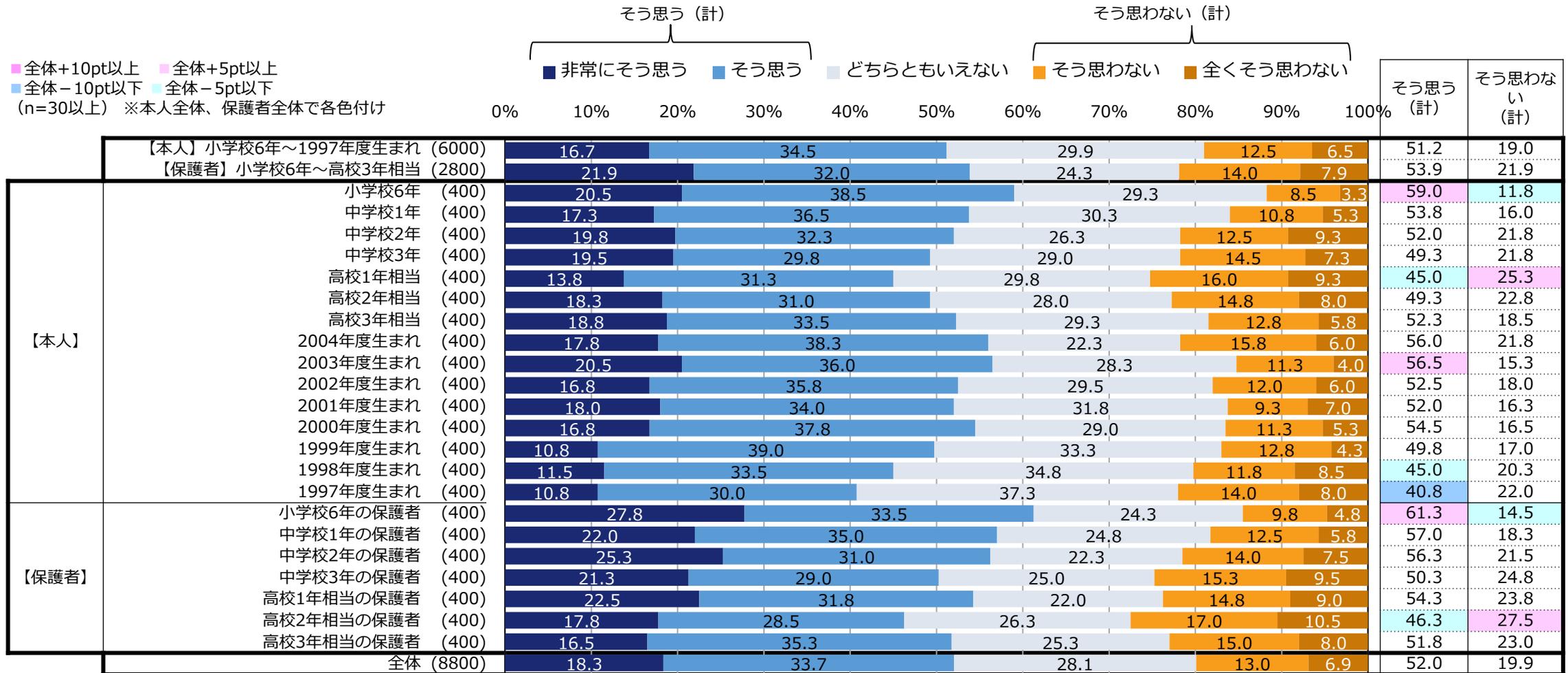
# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識【HPVワクチンのリスクについて十分な情報がなく、接種するかどうか決められない/ HPVワクチンのリスクについて十分な情報がなく、接種させるかどうか決められない】

Q12S9 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

[HPVワクチンのリスクについて十分な情報がなく、接種するかどうか決められない]

Q12S10 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

[HPVワクチンのリスクについて十分な情報がなく、接種させるかどうか決められない]



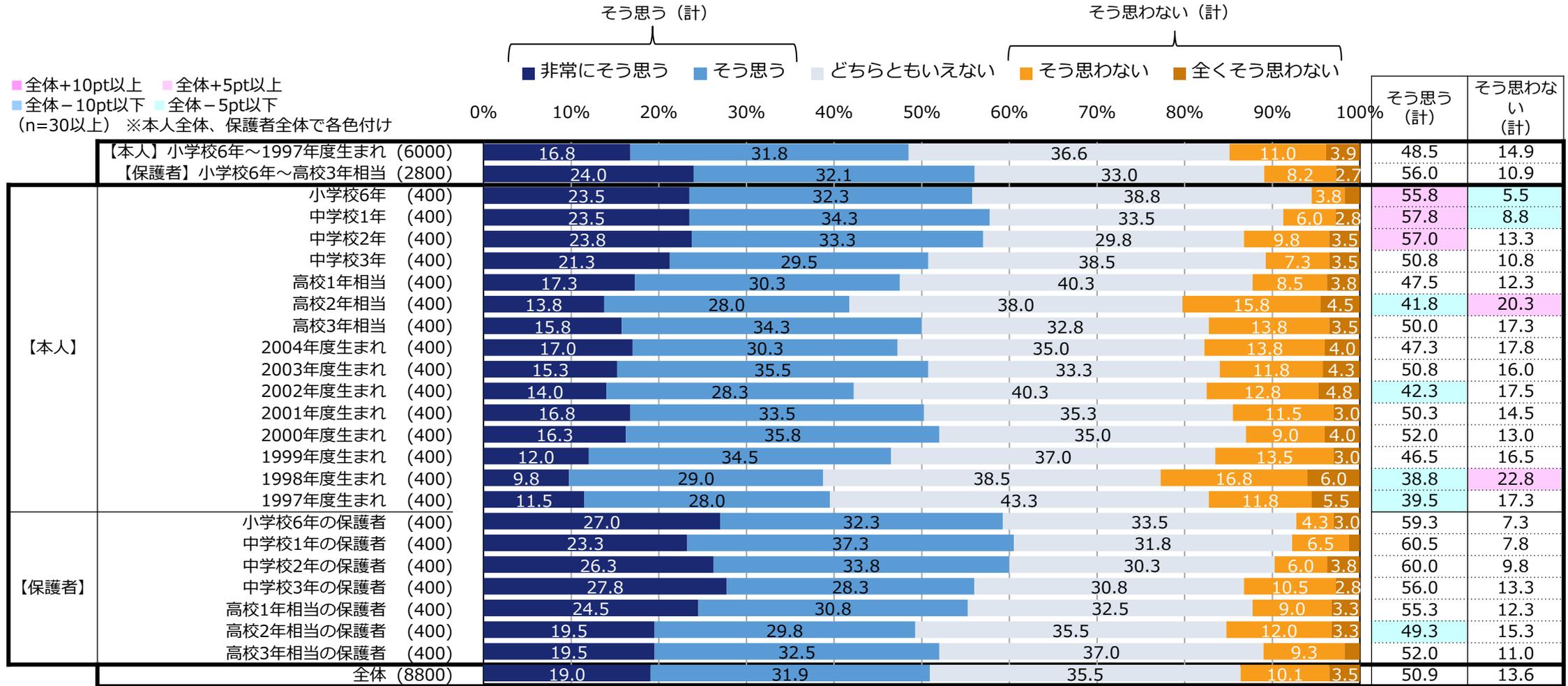
2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# 子宮頸がんやHPVワクチンに対する認識

## 【HPVワクチンを接種すると、以前報道で見たような健康被害が起きるのではないかと考えている】

Q12S11 【本人】あなたは以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は以下の内容について、どの程度同意されますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [HPVワクチンを接種すると、以前報道で見たような健康被害が起きるのではないかと考えている]

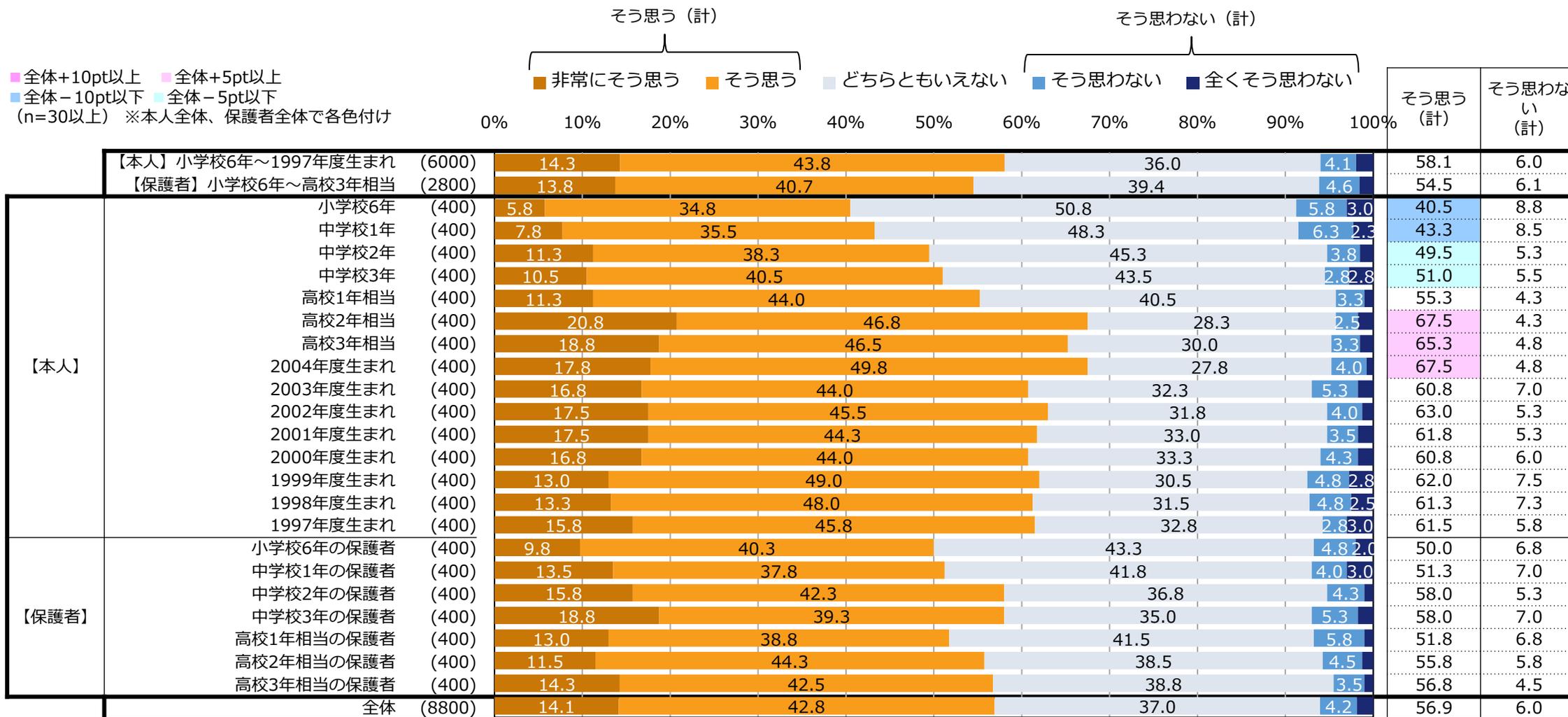


2%未満の数値レベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# HPVワクチンへの信頼【HPVワクチンは重要である】

Q13S1 【本人】あなたは、以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は、以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [HPVワクチンは重要である]

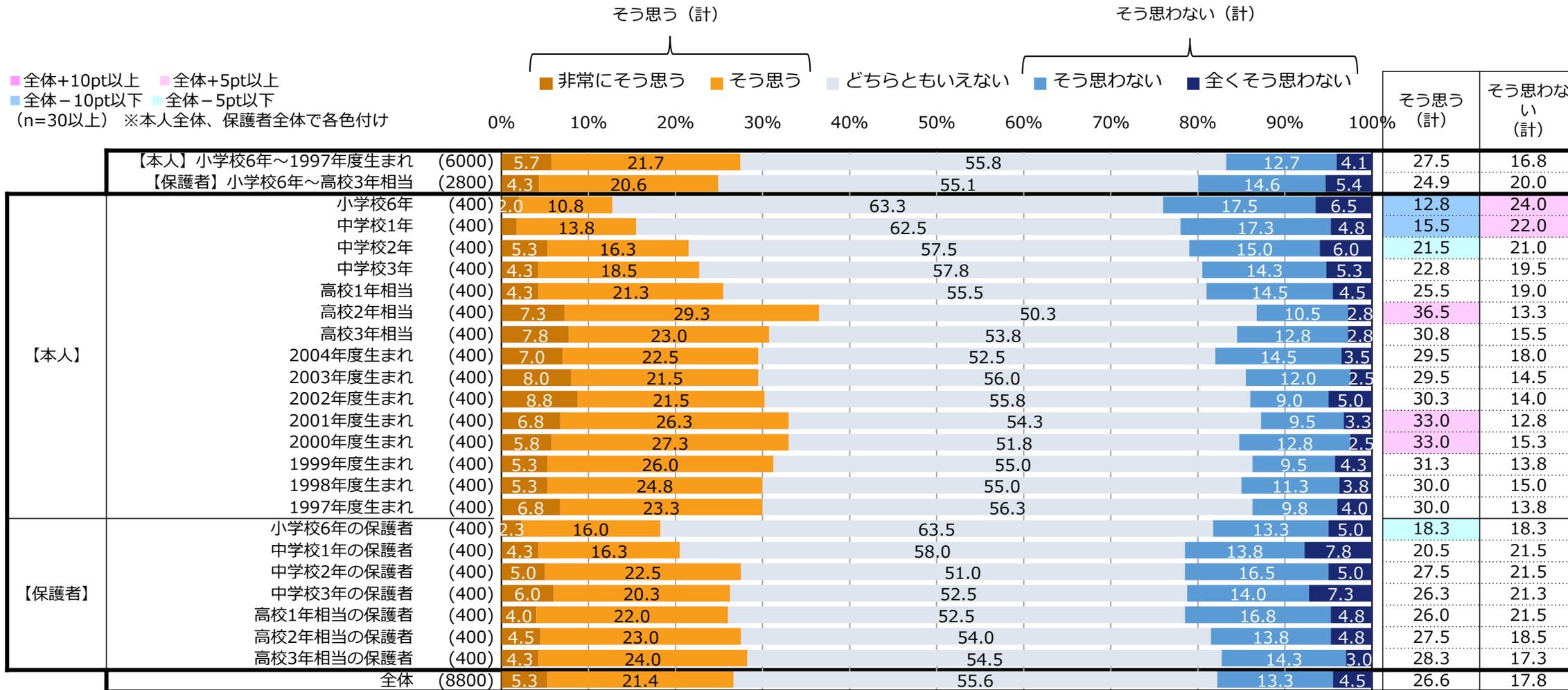


2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# HPVワクチンへの信頼【HPVワクチンは安全である】

Q13S2 【本人】あなたは、以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は、以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [HPVワクチンは安全である]

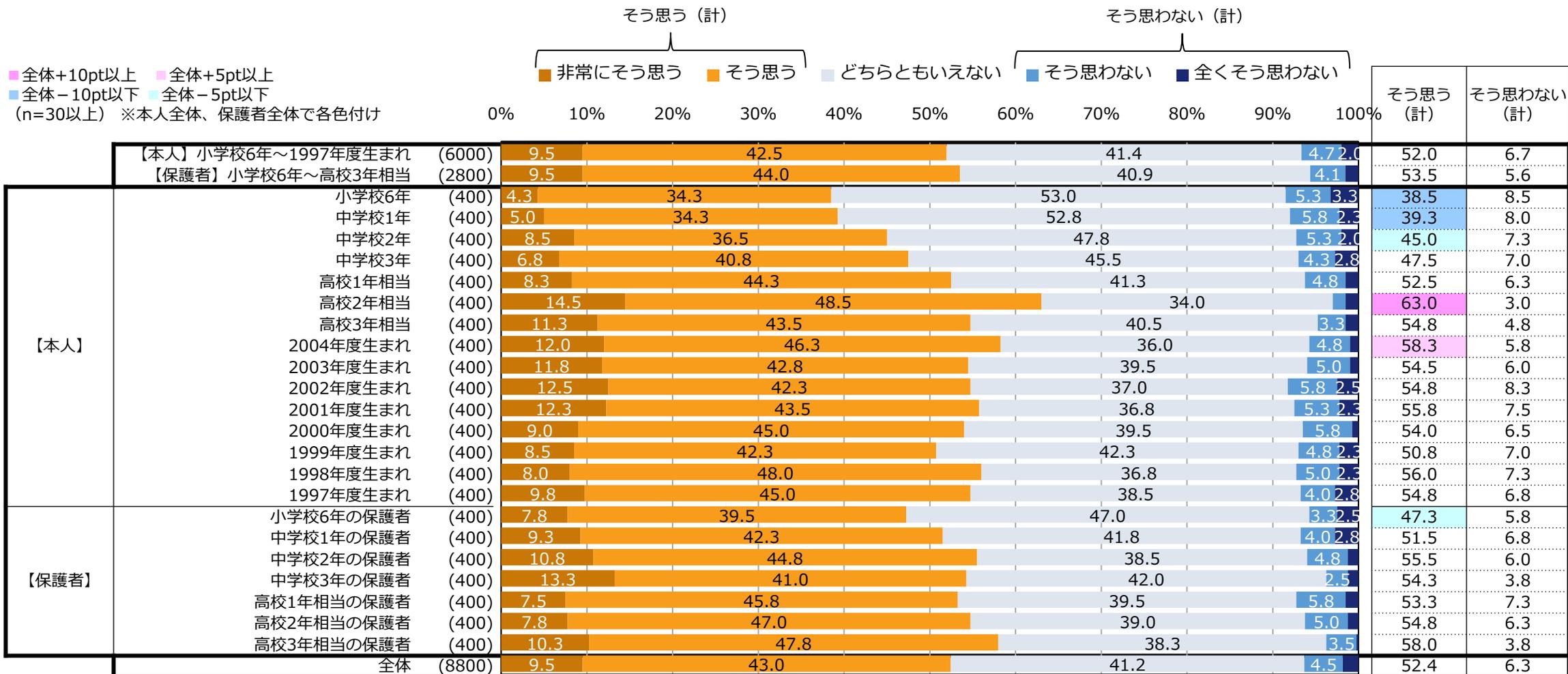


2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横において保護者が代理回答

# HPVワクチンへの信頼【HPVワクチンは有効である】

Q13S3 【本人】あなたは、以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 【保護者】あなたの娘は、以下のHPVワクチンに対する考えについて、どう思いますか。以下より、あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。  
 [HPVワクチンは有効である]



2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

# HPVワクチンに関する周りの状況

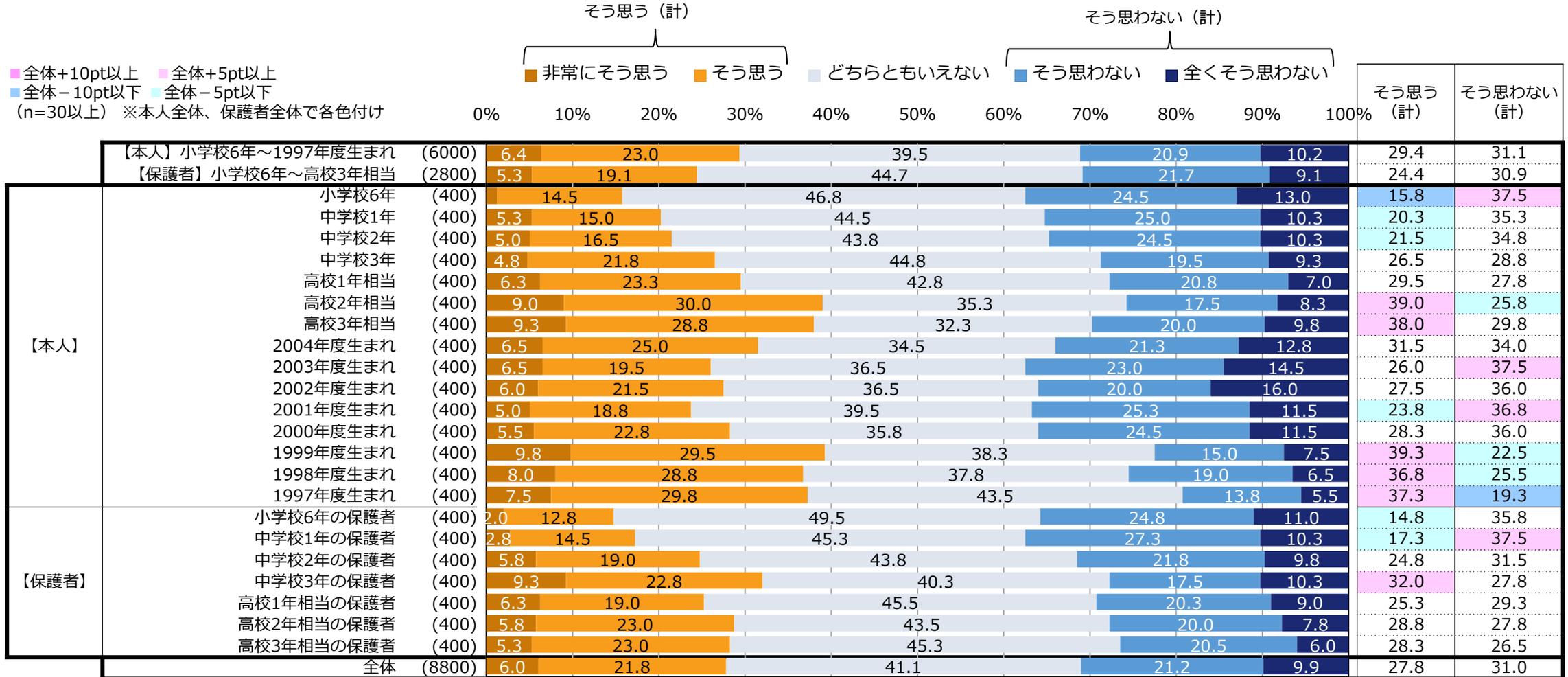
【私の周りの人たちは、HPVワクチンを接種している/私の周りの保護者は、娘にHPVワクチンを接種させている】

Q14S1 【本人】 あなたは、以下のHPVワクチンに関する周りの状況について、それぞれどう思いますか。あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

【私の周りの人たちは、HPVワクチンを接種している】

Q14S3 【保護者】 あなたは、以下のHPVワクチンに関する周りの状況について、それぞれどう思いますか。あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

【私の周りの保護者は、娘にHPVワクチンを接種させている】



2%未満の数値ラベルは非表示

※ 【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答。  
また、小学校6年~高校1年相当の女性に対しても、「私の周りの保護者は、娘にHPVワクチンを接種させている」として聴取されていた

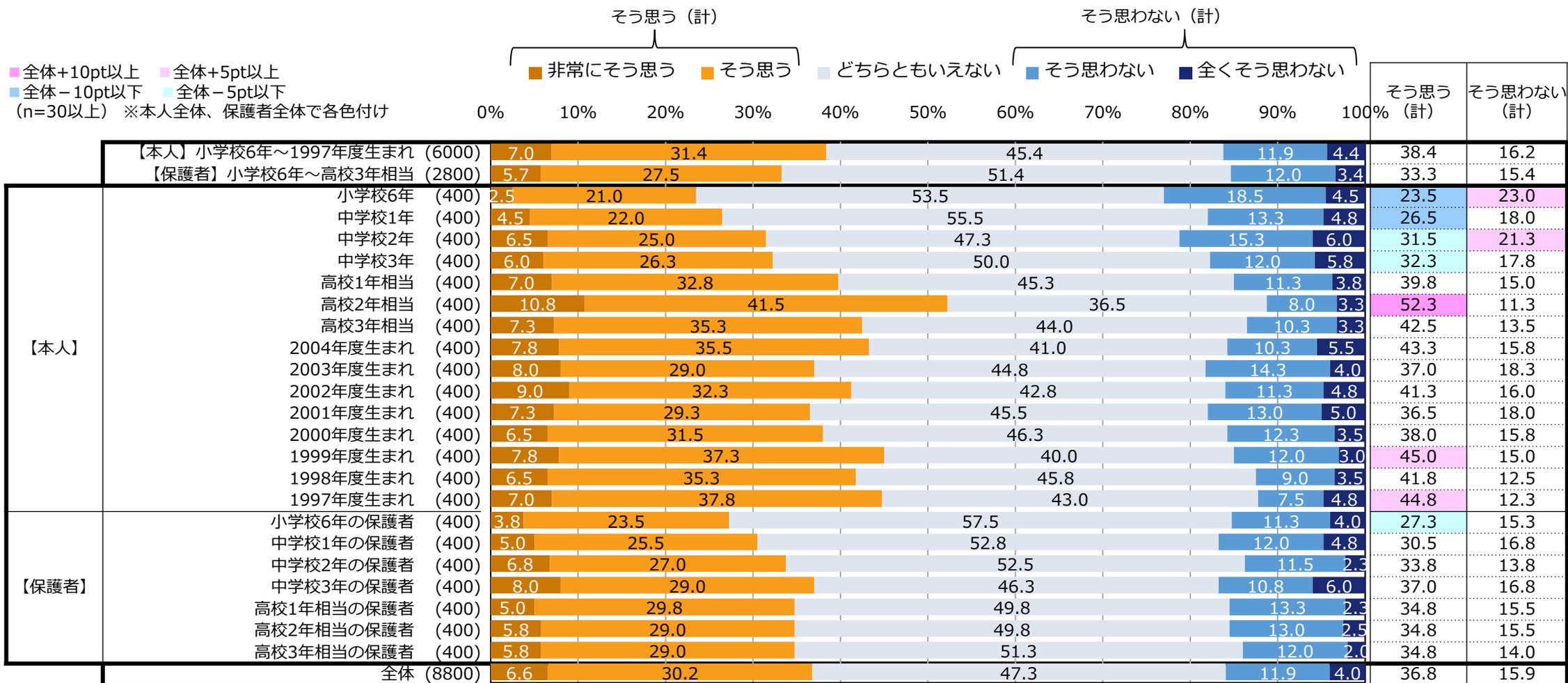
# HPVワクチンに関する周りの状況【私にとって大切な人の多くは、HPVワクチンを接種することに賛成と思う/私にとって大切な人の多くは、娘にHPVワクチンを接種させることに賛成と思う】

Q14S2 【本人】あなたは、以下のHPVワクチンに関する周りの状況について、それぞれどう思いますか。あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

[私にとって大切な人の多くは、HPVワクチンを接種することに賛成と思う]

Q14S4 【保護者】あなたは、以下のHPVワクチンに関する周りの状況について、それぞれどう思いますか。あてはまるものをそれぞれひとつお答えください。

[私にとって大切な人の多くは、娘にHPVワクチンを接種させることに賛成と思う]



2%未満の数値ラベルは非表示

※【本人】 小学校6年~高校1年相当の女性は、本人が横にいて保護者が代理回答

## 調査2 「HPVワクチンに関するインタビュー調査」

---

## ■ 調査概要

目的	納得・安心して接種を判断できるような情報提供のあり方について検討するための示唆を得る
形式	オンラインインタビュー ・ 調査機関保有モニターより候補者抽出のうえ、リクルーティングを実施 ・ 厚生労働省が作成したリーフレットを事前に送付（概要版および詳細版。キャッチアップ接種対象者にはキャッチアップ版も同送）
調査期間	2024年2月22日（木）～27日（火）



## ■ インタビュー方法および対象者の詳細

インタビュー方法	親子ペアインタビュー	個別インタビュー
対象者・人数	2005年度～2011年度生まれの女性*1 とその母親 8組（計16人） *1：2023年度に小学校6年～高校3年相当になった女性	1997年度～2004年度生まれの女性*2 8人 *2：2023年度に19歳～26歳になった女性
内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>規定回数の接種が完了している — 2組（計4人）</li> <li>規定回数の接種は未完了（次回接種予約済） — 1組（計2人）</li> <li>接種経験なし（接種を受けようと思っている） — 1組（計2人）</li> <li>接種経験なし（接種を受けるか迷っている） — 4組（計8人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規定回数の接種が完了している — 3人</li> <li>規定回数の接種は未完了（次回接種予約済） — 1人</li> <li>接種経験あり（接種を受けるか迷っている） — 1人</li> <li>接種経験なし（接種を受けるか迷っている） — 3人</li> </ul>
スクリーニング条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンについて「知っている」または「名前は聞いたことがある」</li> <li>HPVワクチンの接種について、以下のいずれかにあてはまる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>規定回数の接種が完了している</li> <li>規定回数の接種は未完了であるうち、                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の接種予定：あり（予約済）</li> <li>今後の接種予定：なし（接種を受けようと思っている）</li> <li>今後の接種予定：なし（接種を受けるか迷っている）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>親子間で接種に対する考えは「一致している」または「やや一致している」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンについて「知っている」または「名前は聞いたことがある」</li> <li>HPVワクチンの接種について、以下のいずれかにあてはまる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>規定回数の接種が完了している</li> <li>規定回数の接種は未完了であるうち、                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の接種予定：あり（予約済）</li> <li>今後の接種予定：なし（接種を受けようと思っている）</li> <li>今後の接種予定：なし（接種を受けるか迷っている）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
調査時間	1件あたり90分	1件あたり60分

- 2005年度～2011年度生まれの女性（2023年度に小学校6年～高校3年相当になった女性）
- 上記女性の母親

No.	居住地	母 職業	娘 学年	同居家族	接種経験	接種時期	今後の接種予定	周囲の接種状況
1	関東	会社員	高校1年	父 母 弟	あり（1回）	1回目：2024年1月	あり（予約済）	学校の友達は半分くらい接種済
2	関東	事務職	中学3年	父 母 姉（高2）	なし	—	なし（接種しようと思っている）	姉：接種経験あり（規定回数完了） 周囲：1人接種経験あり
3	中国・四国	公務員	高校2年	母	あり（3回）	1回目：2022年3月 2回目：2022年5月 3回目：2022年10月	—	学校の友達はちらほら接種済
4	関東	専業主婦	中学3年	父 母 兄（高2） 妹（小6） 弟（小3）	あり（3回）	1回目：2022年4月 2回目：2022年7月 3回目：2023年7月	—	不明
5	関東	専業主婦	小学校6年	父 母 妹（未就学）	なし	—	なし（接種を迷っている）	周囲：未接種
6	関東	専業主婦	小学校6年	父 母 姉（中2）	なし	—	なし（接種を迷っている）	周囲：未接種
7	関東	専業主婦	高校2年	父 母	なし	—	なし（接種を迷っている）	学校の友達3人くらい
8	近畿	専業主婦	高校3年	父 母	なし	—	なし（接種を迷っている）	周囲：片手で数えられるくらい的人数

- 1997年度～2004年度生まれの女性（2023年度に19歳～26歳になった女性）

No.	居住地	学年・職業	同居家族	接種経験	接種時期	今後の接種予定	周囲の接種状況
1	近畿	大学4年（23歳）	母 妹（2人）	あり（1回）	1回目：中学生	なし（接種を迷っている）	妹：2人とも未接種 周囲：不明
2	関東	大学4年（22歳）	父 母	なし	—	なし（接種を迷っている）	周囲：1人（高校時代の友人）
3	関東	会社員（25歳）	母	なし	—	なし（接種を迷っている）	周囲：1人（高校時代の友人）
4	北陸	大学1年（19歳）	1人暮らし	なし	1回目：2024年4月予定	あり（予約済）	不明
5	北陸	大学1年（19歳）	1人暮らし	あり（3回）	1回目：2023年8月 2回目：2023年9月 3回目：2024年2月	—	妹（中学3年）：1回接種済
6	関東	大学4年（22歳）	1人暮らし	あり（3回）	1回目：2022年9月 2回目：2022年11月 3回目：2023年5月	—	妹（大学1年）：未接種 周囲：数人（大学の友人）
7	関東	大学2年（20歳）	父 母	なし	—	なし（接種を迷っている）	周囲：不明
8	関東	新大学1年（20歳）	父 母 妹（2人）	あり（3回）	1回目：2023年夏 2回目：1回目の2か月後 3回目：2023年12月	—	妹（中学生、高校生）：接種する予定



No.1



娘 学年 高校1年	同居家族 父、母、弟	接種経験 あり(1回)	接種時期 1回目:2024年1月
母 職業 会社員	居住地 関東	今後の接種予定 あり(予約済)	家族・周囲の接種状況 周囲:学校の友達半分くらい接種済

黒:母発言      ピンク:娘発言

普通の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビは常についていて、ジャンル不問で見ると。私は新聞も時々読む。</li> <li>PCでは子どもの通っている学校のHPを見たり、受験についてのブログを見たりする。子どもに関する事で調べることが多い。SNSはやっていない。</li> <li>スマホで情報収集することが多い。中学生から使っている。LINEはよく見る。YouTubeはたまに見る。ミュージックビデオをよく見る。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>独身時代に健康被害についてのニュースを見て、HPVワクチンというものを知った。安全性の分からないものを受けさせるのは怖いと思った。</li> <li>娘が中学生になった時には案内が来ていた。市から接種案内が来て選択を突き付けられた。娘には「こんなの来てたけど、危ないからやめときな」と言った記憶がある。</li> </ul>
ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高一貫女子校で中3くらいのときに学校で産婦人科医の講演があり、そこで知った。</li> <li>ワクチンのリスクを考えて接種しないより、がんになる方が嫌だと思った。</li> </ul>
接種した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>娘が高1になり「案内が来てたよね。あれどこに行ったの？みんな受けているけど私は受けていない」と言われたのが決め手。副反応は気になっていたが、それは稀なことだし、期限が高1までと書かれていた。がんになったら困るし、自分が若い時代と今では食生活も生活習慣も違うので、娘がかかる可能性はあると思い、受けさせるのが正しいかなと思った。</li> <li>以前、若くして子宮頸がんで亡くなる女性のニュースも見ていたので、「早期発見が大事だけど恐ろしい病気なんだな」と思い始めたことはある。</li> <li>講演を聞いた時は「受けた方がいいのかな」とあまり気にしていなかったが、周りに接種した人が増え、友達と話しているうちに、受けた方がいいと思うようになった。みんなも打っているし、自分の体も大事だから。</li> <li>もし母が強く反対したら諦めていたと思うが、講演のレジュメを見せて反論や説得はしたかもしれない。みんなが打っているということよりも有力になったと思う。</li> </ul>
接種時期決定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>娘から打ちたいと言われて、当日の朝予約をした。土曜日の午前中に枠を作っている病院で、すぐに接種できた。</li> <li>機会をうかがっていた。部活とかでなんだかんだ忙しいので、この日なら空くかな、というので送り出した感じ。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>全然調べていない。本当に大丈夫なのか、再開されるまでに何があったのかとは思いますが、聞いても…。半分不安だが大丈夫だろうと思った。</li> <li>学校の講演以外、特に授業などで知る機会はなかった。</li> <li>自分で調べようと思って調べたことはない。友達には「痛かった？」くらいは聞いた。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の頃、A4封書で接種可能病院、ワクチンの説明、接種券が入っていた。</li> <li>その後も未接種の方向けの案内が来た気がするが、ちょうどコロナの接種もあり、HPVについては考えなくなかった。でも案内を捨ててしまったら、子どもが「受けたい」と言った時に困るので、すみの方に置いていた。</li> <li>中学生の頃、「こんなのが届いたよ」くらいに見た気がする。講演を聞いた後だったが、その時は「今すぐ打たなければ」という気持ちではなかった。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「●クラスに▲人」という表現が分かりやすいと思う。結構多いんだなと思った。</li> <li>接種した後でも2年に1回検診を受けることが大事、というのは、子どもに「このうちのちゃんとしておいてね」と言えるので重要。</li> <li>高校1年「相当」の意味がよくわからなかった。</li> <li>子宮頸がんが亡くなる人がいないわけではないので対策が必要だと思った。</li> <li>副反応は他のワクチンでもあることだが、自分が重い症状になったら嫌だな。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「一生に1度は感染する」は、「感染はするけど発症はしない」というのが怖いと思った。何かをきっかけに発症すると聞いて、ちゃんと受けた方がいいのかなと思った。</li> <li>ワクチンの種類が3つあるが、何が違うのか分からないので選べない。</li> <li>概要版と合わせて読むと、打つという選択肢の方がいい、という方向にもっていかれる感じ。読むうちに考えや意思が変化した。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小6ではまだピンとこないのでは。子どもと一緒に判断するなら、中3くらいになると体の成長もあるので、自分でも考えられるようになると思う。</li> <li>やはり接種して良かったんだと思った。子宮頸がんが苦しまないためにできること、他国での同世代の人が接種していると知ると、自分も予防した方がいいと思った。</li> <li>友達に伝えるなら「子宮頸がんの現状」を見せる。インパクトがあるし100%ならいいわけではないと知ってもらうには現状を見せるといいと思う。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットが学校や職場に置いてあるといいかも。職場は、年頃の子どもの持つ人もいるので。</li> <li>家に届いたら目にするので紙で良い。スマホとかの広告だとみる可能性は低いですが、安全な機関が出しているなら見る可能性がゼロではないと思った。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>「6」。接種前は「2」か「3」。評価が変わったのは1回目の接種で何事もなかったから。たまたまこのリーフレットを読んで、接種させて良かったと思った。</li> <li>接種しなくても何事も無いのなら接種しなくてもいいと思うが、時代が違うので接種した方がいいのだろうと思っている。</li> <li>「6」。接種前は「5」くらいだった。接種後もそれほどの変化はなかったが、リーフレットを読んで安心できた部分があり、次も打とうと思った。</li> </ul> <p>(1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)</p>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門知識がないので、「子宮頸がんとは?」「子宮頸がんにかかるとうなるか?」は、自分の思うことしか話せない。専門家ではないので、ただ怖がらせても良くないし、「副反応が怖いから受けさせない」とも言えなくて、説明しにくい部分があった。医師が学校で正しい情報について説明してくれたのは良かった。</li> <li>「注射は痛くないか」は知っておきたかった。</li> <li>なぜ今接種が必要かはちゃんと知っておけばみんなが予防する方向に行けると思う。無料で接種できる期間だけでなく、手遅れになる前に接種した方が良さそうな、きっかけや後押しになる情報があると良いなと思った。</li> </ul>



No.2

娘 学年 中学3年	同居家族 父、母、姉（高2）	接種経験 なし	接種時期 —
母 職業 事務職	居住地 関東	今後の接種予定 なし（接種しようと思っている）	家族・周囲の接種状況 姉：中3～高2の期間で3回接種完了



黒：母発言      ピンク：娘発言

普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビがメインでバラエティやニュースを見る。新聞、雑誌は読まない。</li> <li>ネットはほぼ検索で利用。たまにニュースをチェックする。YouTubeで音楽を聞く。</li> <li>朝はテレビでニュースを見る。帰宅後はスマホでTikTok、YouTube、Instagramを見ている。ダンスや料理動画が多い。スマホのアプリを入れるのは親の承認が必要。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>長女が生まれた頃、17年くらい前に知った。「この子も対象になるんだな」と思った。</li> <li>その後、重篤な症状についてワイドショーなどで報道されたのを見て「これは未知のワクチンで、副反応が人によって違う」という恐怖感を覚えた。</li> <li>それから数年後に、「重篤な症状は稀なもので、ワクチンが影響していない可能性がある」という情報が出てきて、「安心して受けられるもの」に認識が変わった。それでも、家族でがんになっている人が少ないので「うちには関係ないかな」という認識。</li> <li>中1の保健体育の授業で、こういうウイルスがある、というのを体育の先生から聞いた。</li> <li>中3のときには助産師さんが学校に来て、体育館で男女一緒に子宮頸がんワクチンについて詳しく教わった。助産師さんから、子宮頸がんが尿が出なくなった女子高生の話聞いて怖くなった。</li> <li>初めてワクチンについて聞いたときは、痛いのは怖いし副反応が起きやすいので、リスクが怖かった。「みんなが打っていれば打とうかなー」と思っていた。</li> </ul>
ワクチンの印象	
接種を決めた理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>元は打たない派だったが、ママ友達は「打った方がいい」という人が多かった。長女が中2～3の頃にみんなが接種するようになって心が揺れた。</li> <li>ちょうど長女が1回目の接種をした頃、自分が子宮体がん、自分の妹は子宮頸がんの検査に引っ掛かった。さらに、周りの友達ががんで再検査になったことも重なり、「このワクチンは絶対に必要」と思うようになった。今は家族総出で次女を説得している。</li> <li>保健の授業で助産師さんに聞いた話の影響は大きかった。実際の話も聞いたので。</li> <li>中1から中3の間に接種した友達が増えてきて、友達の話の影響も大きかった。先日接種した友達との会話で、「(友達)腕が痛い」「(自分)どうしたの?」「(友達)子宮頸がんのワクチンを打った! 3回より2回の方がいいし、15歳までに打たないと次の接種はめっちゃお金がかかる」と聞いた。公費の方がいいし、(15歳の)誕生日が3月31日なので「打たないとやばい」と思った。</li> </ul>
接種時期決定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えで、コロナやインフルエンザのワクチンは効果が続く期間が限られていると思うが、HPVワクチンもあまり早い時期に打つと、効いている期間が短くなってしまふ気がする。それと、体がきちんとできてからの方が副反応が少ないと思うので、中3あたりで接種するのが一番良いと思っている。</li> <li>学校がある時に副反応が出ると困るので、卒業式の3月15日の後で、かつ誕生日の3月31日より前、高校入学前に接種できればと思っている。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で調べるといよりは、学校からの資料や、市からの案内を読む、という感じ。</li> <li>ワクチンについては自分では調べていない。友達と話をする機会もあまりなかった。</li> </ul>

公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6の卒業あたりに、封書でワクチンの説明と予診票が届いた。</li> <li>封書が届いたことは知っているが、あまり興味はなく、物自体は見えていない。</li> </ul>
厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に理解することができわかりやすい。情報量もちょうどよく簡単に読める。</li> <li>病気やワクチンの効果に興味はわいた。</li> <li>クラスに何人くらいが子宮頸がんになるか、というのは数値が分かりやすい。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすくてとても良かった。子宮頸がんについてもわかるし、それに対してHPVワクチンがあり効果的だとわかる。リスクも載っていて、100%安全でないのだとも思った。</li> <li>世界の状況を見て、より打とうかなと思った。海外では12歳でも接種している子が多い。世界で接種している子が多いなら、自分も接種した方がいいなと思った。</li> <li>副反応の表は、文章をたくさん読むよりも読み解きやすい。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙で欲しい。ネットは自分が興味のあるものしか見ない。</li> <li>学校からの配布物だと、これは子どもに必要なものだと思って読む。郵便で送られてきても読むと思う。病院の待ち時間、先生から渡されたら読むと思う。</li> <li>HPVワクチンの接種を考えるのは、小6とか中1とかでは早いかなと。個人的には中3あたりが一番いいかなと思っている。上の娘に対してもそんな考え方だった。</li> <li>紙の方がいい。時間がある時、見たい時に見られる。</li> <li>学校で配布さえたらお母さんにこれ読んでおいてと言われると思う。郵便だったら大事なものだからより見なくてはと思う。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>「7」。最初は「1」だった。怖かったので絶対に接種させないと思っていたが、今は安全性・必要性を感じて「7」。がんを身近に感じたことが一番だが、最初に考えるようになったきっかけは市からのお知らせ。それで打った方がいいのかと思うようになった。</li> <li>「6」。打っておいた方がいいと思うし、周りも打っている人が多いので。「7」にしたいところだが、痛みや副反応が気になるので「6」。中1の頃だったら「3」。その時よりは、周りの人が打っているし、(対象年齢を過ぎたら)公費で打てなくなると考えるようになった。痛みも、友達が「腕が痛い」という程度と分かったから。</li> <li>「私は絶対打たない」と言ってる人は、周りの友達にもいない。次の日に「腕が上がらない」「着替えが大変」とかは聞く。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小6だとこれくらい」のように、どの学年で何人くらいが接種しているか知りたかった。もし小6が多かったらなぜなのか調べて、納得できたら1回目を接種する年齢が変わったかもしれない。</li> <li>娘からは「2回で終わるほうがいい」と言われている。ワクチンによっては2回で済むようだが、「どこで受けたら2回で終わるのか」は聞かれても分からない。</li> <li>どの程度痛いのか、副反応がどれくらいなのか。動画ならわかりやすいし見てみようと思う。</li> </ul>



No.3



娘 学年 高校2年	同居家族 母	接種経験 あり (3回)	接種時期 2022年3月、2022年5月、2022年10月
母 職業 公務員	居住地 中国・四国	今後の接種予定 —	家族・周囲の接種状況 周囲：学校の友達はこちらほら接種済

黒：母発言      ピンク：娘発言

<p>普段の接触媒体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べ物はすべてスマホ。Googleでも検索するが時短のためTikTok、Instagramも使う。10秒くらいになっていて使いやすい。料理検索が多い。ニュースはスマホで必要なものだけを見ていく。主要な知識はLINEニュースで入れている。</li> <li>新聞は見ない。テレビは、録画したドラマをCMを飛ばしながら見る程度。</li> <li>情報はネットがほとんど。TikTokで検索することも多い。Instagram、LINEも使う。</li> <li>テレビはスマホのTVerを見る。ドラマを見ることが多い。</li> </ul>	<p>公的機関からの案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校からカラーのチラシを持ち帰ってきた。</li> <li>市からはコロナワクチンの案内と一緒にHPVワクチンの案内が来ていたと思う。</li> <li>学校の授業もあったし、チラシももらった。</li> </ul>
<p>HPVワクチンについて知ったきっかけ</p> <p>ワクチンの印象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンについて知ったきっかけとして、娘が学校から持って帰ってきた手紙があった。接種スケジュールと、この年齢の間なら公費で受けられる、という案内があったような気がする。</li> <li>(インタビュー時点から)5年以内に自分が子宮頸がんになって、その後手術を受けたが、子宮頸がんの発症と案内が来たのとどちらが先だったかは覚えていない。</li> <li>同じくらいの時期に娘が体調を崩して、赤ちゃんの頃からのかかりつけの小児科にかかったときに、看護師さんから「年齢的にこういうワクチンが受けられる」ということを教えてもらった。複数回接種が必要なのはその時に初めて知った。</li> <li>中学校の保健体育の授業で知った。教科書に載っていて、子宮頸がんとHPVワクチンのセットで教わった。</li> <li>学校でHPVワクチンのチラシが配られて、読んでみて、打とうと思った。市とか県とかで作られたもので、結構詳しく書かれていた。</li> <li>母が子宮頸がんにかかったこともあったので、すんなりと入ってきた。</li> </ul>	<p>厚生労働省作成リーフレット感想</p> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これを見てワクチンが3種類あることを初めて知った。病院に行ったらあるものを打ってくれたので、コロナワクチンのように、いくつかあってその中から選べるのを初めて知った。</li> <li>小学校6年の子どもに「自分に必要なもの」と思ってもらえるのか、本人に響くのか、は気になった。</li> <li>それほどたくさん文字があるわけではなく、文も簡潔で見やすい。</li> <li>2価、4価、9価のワクチンというのはよく分からない。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字がたくさん。概要版よりは読む気にならない。副反応の症状の名前の意味やワクチンの名前はよく分からない。調べようとも思わなかった。</li> <li>ボリュームがあって威圧感はあるかも。後にしようかな、とか思ってしまう。私自身はSNSでの情報収集も、短時間でどれくらい集められるか、という考え方。</li> </ul> <p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象になる前に接種していたので、読もうと思わなかった。詳細版よりは見やすい。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰が対象で何を一番伝えたいのかが分かりにくい。「今のあなたが対象」ということを、もっと前面に出したほうが良いと思う。</li> <li>情報元が厚生労働省で信頼できるデータだと思う。</li> </ul>
<p>接種した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>娘は公費の対象だったが、自費であってもぜひ受けさせたいと思った。若いほど進行が速いことは経験していた。ワクチンで防げるなら接種して当然という感じだった。</li> <li>ワクチン打った方ががんを予防できるので打ちたいと思った。</li> <li>デメリットについても知っていたが、得られるメリットの方が多いという気持ちだった。母が病気になっているので自分もなる可能性があると思っていた。</li> </ul>	<p>望ましい情報の受け取り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本やリーフレットを読むのは好きでないから、あまり読まない。</li> <li>動画ならわかりやすいし、見やすいと思う。私も動画が好きなので。アニメーションを使って、キャラクターを使って説明してくれたら、見る気になるかも。</li> <li>学校の授業で子宮頸がんの話をして、みんなで動画を見ようって流れにしたら、見ようと思う。</li> <li>リーフレットは、学校で配られたらちらっとは見ると思うが、詳しくは見ないと思う。</li> </ul>
<p>接種時期決定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学生のときに、母とは「そろそろ受けないと」という話をしていた。接種を受けることが前提で、スケジュールをどうするかの話。</li> <li>すぐにでも打たせたいと思っていたが、学校行事や受験があったので、副反応が出ても余裕が持てる、受験が終わったタイミング(中3の3月)にしたのだと思う。</li> </ul>	<p>ワクチンについて知りたかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前もって知っていたら良かったことは特にはない。情報がなくても接種方針が変わりはなかった。</li> <li>娘の同級生のお母さんは「私は打たせない。周りの状況を見てから」という人もいたので、私みたいな考えの人ばかりではないんだなとは思った。</li> <li>接種して亡くなった、という話も聞いたことがあるので、ちょっと怖いと思っていた。でも皆がそうなるわけではないので、気になるけど気にしていないという感じ。</li> <li>(リーフレットに載っている)リスクの表を知っていたら安心して打てたかもしれない。</li> <li>接種したことがある人に、痛かったかどうか聞いてみたかった。</li> </ul>
<p>ワクチンについての情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に調べたことはない。調べると悪い情報も出てくるので、色々な情報にまみれずぎると思った。すべてを受け入れるつもりで、あえて調べずに接種しようと思った。</li> <li>かかりつけ医でも案内を受けた。説明文ももらった。接種は1回だけだと思ったら3回あり、時間を空けて接種することも教えてもらいありがたかった。</li> <li>自分から何か調べたことはない。</li> <li>接種した友人はいる。「今日打ってきたよ」という話にはなるが、ワクチンそのものの話題にまではならない。「腕が痛い」とか言っていて、そこから話題になる。</li> <li>中学校ではあまりワクチンは話題にならなかったが、高校に入ってからは何故かは分からないが、話題になった。中学生の時は、「打とうか迷っている」「副作用とか聞いているんじゃないかなー」という話はあった。</li> </ul>	



No.4

娘 学年 中学3年	同居家族 父、母、兄(高2)、妹(小6)、弟(小3)	接種経験 あり(3回)	接種時期 2022年4月、2022年7月、2023年7月
母 職業 専業主婦	居住地 関東	今後の接種予定 —	家族・周囲の接種状況 周囲：不明



黒：母発言      ピンク：娘発言

普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビはあまり見ない。新聞は取っていない。Yahoo!ニュースで気になったら詳細を見る。知りたいことがあればYahoo!で検索。情報源はほとんどスマホ。</li> <li>SNSはLINE、TikTok Liteはたまに猫の動画を見ている。</li> <li>自分のスマホはない。PCの検索画面に出るニュースや、通学で乗る電車のドア上のニュースは見る。PCで調べて受け取れる情報だけで十分。SNSは興味がない。</li> <li>テレビはドラマくらいしか見ない。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>かなり前にテレビでHPVワクチンのニュースを見て知った。いつ頃かは覚えていない。</li> <li>その時は、リスクの大きい予防接種なのかなと思った。他のワクチンでそういうニュースになったのは見たことがなかったので。</li> <li>当時、娘は対象年齢でなかったのであまり深くは受け止めていなかった。</li> <li>でも、自分だったら接種するだろう、という根拠のない自信はあった。国が認証したものは安心して受けるタイプ。</li> <li>市からの案内を見て知った。母から「接種した方がいいんじゃない?」と言われた。それまでワクチンの存在も名前も知らなかった。学校では聞いたことがない。</li> <li>知ったときは、いろいろな女性がかかりやすいがんを予防してくれる注射だと認識した。自分で案内を読んだわけではなく、母に教えてもらった。</li> <li>注射を受けたくはないけど、将来的に予防できるなら受けたほうがいいんじゃないですか。</li> </ul>
ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>かなり前にテレビでHPVワクチンのニュースを見て知った。いつ頃かは覚えていない。</li> <li>その時は、リスクの大きい予防接種なのかなと思った。他のワクチンでそういうニュースになったのは見たことがなかったので。</li> <li>当時、娘は対象年齢でなかったのであまり深くは受け止めていなかった。</li> <li>でも、自分だったら接種するだろう、という根拠のない自信はあった。国が認証したものは安心して受けるタイプ。</li> <li>市からの案内を見て知った。母から「接種した方がいいんじゃない?」と言われた。それまでワクチンの存在も名前も知らなかった。学校では聞いたことがない。</li> <li>知ったときは、いろいろな女性がかかりやすいがんを予防してくれる注射だと認識した。自分で案内を読んだわけではなく、母に教えてもらった。</li> <li>注射を受けたくはないけど、将来的に予防できるなら受けたほうがいいんじゃないですか。</li> </ul>
接種した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>副反応やリスクも考えて夫にも相談したが、夫も私と同じ考え方で、確率の問題では予防できるメリットの方が大きいと判断し、接種することにした。</li> <li>何%という基準はないが、自分たちの親もその親も元気なので、子どもに副反応が起こる確率は少ないのではないかと、根拠のない自信があった。</li> <li>うちは「打ちましようか?」ではなく「打ちましよう」。娘が強く嫌がったなら、その時は打たせないとと思うが、また時間を置いて「接種しようね」と言っていたと思う。</li> <li>赤ちゃんの頃のワクチンと同じで、「(案内が)来たから接種する」という考え。</li> <li>母から「接種した方がいいんじゃない?」と言われたので受けることにした。ワクチンを打った方ががんを予防できるので打ちたいと思った。</li> <li>親が「打ちましよう」というなら拒否権はない。(ワクチンに限らず)強く何かを嫌がったような経験はない。</li> </ul>
接種時期決定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目は、市から接種券が送られてきて、しばらくどうしようか悩んでいた。気持ちが決まったのがこの時期だった。4月は春休みで余裕があったので。2回目の7月も、夏休みに入ったころだった。学校が休みじゃないと時間が合わないから。</li> <li>2回目の接種が終わった後にコロナのワクチンを打ったりして、なんとなく延びてしまった。学校もあるし、接種に行ける時間があまりなかった。</li> <li>(定期接種の対象学年を過ぎるまで)まだ時間の猶予があることは全く知らなかった。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的に何か特に調べた記憶はない。</li> <li>ママ友達や周りの人との話題には全くあがらない。夫としか話をしていない。</li> <li>ワクチンに関する説明は何も読んでいない。お母さんから聞いた。</li> <li>接種前に医師や看護師からの細かい説明はなかったと思う。</li> </ul>

公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内が来たのは接種を受けた半年前くらい? 具体的には覚えてはいない。</li> <li>市から封書が届いた。中身は、簡単なリーフレットと接種と接種の間をどれくらい開けるという説明だった。</li> <li>子宮頸がんになる仕組みまで書かれていたかは覚えていない。リスクは書いてあったと思うが詳しく覚えていない。</li> <li>接種するかどうかの判断材料にするか、そこまで深く考えなかった。</li> <li>案内の内容は特に見ていない。</li> </ul>
厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市からのお知らせにもこういうことが書いてあった。2クラスに1人くらい、というのは結構な率だと思う。</li> <li>何も考えずに読んで特に分からないことはない。</li> <li>概要版はやさしい。こうやって1つにまとまっていると、そこが重要だとわかるのが良い。打った後のリスクのところが目に残った。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の状況」は興味深かった。</li> <li>生物の授業で細胞分裂とか体内のDNAがどうやってがんになるのかは知っていたので、子宮頸がんの場合はこうなるのか、という感じ。内容は問題なく理解できた。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公的な機関が勧めているものなので、一般的には必要なものなのだと思う。将来的な安心材料にはなる。</li> </ul>
リーフレットの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>一生のうちに子宮頸がんになる人となくなる人が2クラスに1人なのは結構な率なので、予防できるものなら受けさせたいと思った。</li> <li>もし妹が迷っているなら、子宮頸がんのワクチンを打ったことで自分の体をがんから防ぐことができると教えてあげたい。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え(小6の妹について)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「6」。今急いで無理強いしなくても、本人が接種したくなってからでもいいので。</li> <li>まだ案内が来ていない。案内が来たら、上の娘と同じように「(案内が)来てるよー」って渡すと思う。「小6だけどまだ来てないな」とは特に思わなかった。</li> <li>市から案内が来たら、細かい説明が書いてあると思うので、それをもとに判断すると思う。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の接種状況など数値があったらいい。その割合を見て少なければ打たなくていいと思うかもしれないし、多ければ打たなければと考えると思う。周りが打っているからという理由で接種する人もいると思う。</li> <li>あれこれ調べたりしなかったのは、市や国から案内が来たことが大きい。それは他のワクチンでも同じだった。</li> <li>注射が痛いのかは気になっていた。それほど痛くないと言われていたら、そういう先入観を持って接種できたと思う。</li> </ul>



No.5

娘 学年 小学校6年	同居家族 父、母、妹（未就学）	接種経験 なし	接種時期 —
母 職業 専業主婦	居住地 関東	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 周囲：不明

黒：母発言      ピンク：娘発言

普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>起床後はテレビを見る。バラエティ、ドラマをよく見る。ニュースはそんなには見ない。下の子がEテレを見るので。新聞は取っておらず、雑誌も最近は見ない。</li> <li>情報収集はネットのニュースが中心。気になったものを見ていく。Instagramでは気になる芸能人の話題、Xはリアルタイムのニュースをよく見る。</li> <li>テレビではバラエティやドラマを見る。TVerでよく見る。スマホは持っていないのでネットはあまり見ない。SNSも使わない。学校の調べ物は学校支給のタブレットを使う。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>10年くらい前に、推奨されるのがなしになったのが印象に残っているので、それ以前には知っていたと思う。</li> <li>最初に知った時の印象は「若い人向けのワクチン」というイメージ。自分ではなく子どもには必要なものかもしれない。ポジティブでもネガティブでもないイメージだった。</li> </ul>
ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちゃんと知ったのは今回のインタビューがきっかけ。それまで関心もなくワクチンの名前も聞いたことがなかった。授業でも出てこなかった。</li> <li>障害が出るかもしれない、というのは母から聞いて知った。まだちょっと安心できない。</li> </ul>
接種を迷っている理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>（積極的勧奨が）中止になったときは「まだよくわからないワクチンなんだな。怖いな」というイメージを持った。テレビのニュースで、後遺症に苦しむ人の話を娘も一緒に見ていた。テレビやネットのニュースを見て、イメージが右肩下がりになっていった。</li> <li>市からの案内を見て子宮頸がん検診を定期的に受けるようになり、子宮頸がんにかかる人の多さを知った。それを知ると「ワクチンを接種させた方がいいのかな」と悩む。</li> <li>一般的には必要で、子どもにも必要なものなのだと思うが、デメリットが気になる。もう少し調べてから決めたい。確信が持てないのに不安なまま打たせるのも、と思う。</li> <li>正直どちらでもいい。母が「打とう」と言えば打つし、「やめよう」と言えばやめる。友達が続々と打ったとしても打つ気にはならない。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて後遺症のニュースを見たときは気になって調べた。コロナのワクチンもあり、ワクチンというものが身近になったので、接種の案内のはがきを市からいただいたりすると、気になって何回かは調べた。</li> <li>具体的には、ワクチンごとの効果の出方や打った後の症状がどれくらい出るのかの違い。コロナワクチンのように、ある程度の軽い副反応が出るのは仕方ないと思っているが、ずっと残る後遺症がどれくらいの頻度で出てくるのが気になった。</li> <li>ワクチンの情報はお母さんからの話がほぼ全て。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が学校から、ワクチンについて書いてある紙をもらった。（接種を受けるのは）早いほうがいい、という印象はあるが、どの年齢までが対象、というのは覚えていない。</li> <li>6年が対象であることは、何らかの手紙で知ってはいる。案内が届いたのが、娘が12歳になったばかりの時で、年末年始や学期末で立て込んでいたので、「後でいいや」と思い、娘には見せていなかった。「年齢的に早すぎる」ではなく、「夏休みとか中学校に入って落ち着いてから、ちゃんと調べて判断しないと」という考え。</li> <li>市からのお知らせは、「接種について考える時期が来ましたよ」というきっかけだった。</li> <li>お知らせが来たかどうかを知らせてくれても、くれなくても、どちらでもいい。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単にまとめられているように見えたが、知りたい情報はそんなになかった。</li> <li>1人で読んで大体理解できた。難しかったのはワクチンの種類の所。第一印象は「子宮頸がんになって妊娠ができなくなったら怖いな」と思った。</li> <li>子宮のことは学校で習ったが、子宮頸がんについては習っていない。子宮頸がんという言葉は知っていても、なんとなくしか知らなかったで、この資料でちゃんと知った。「何人くらいが子宮頸がんになるか」が印象的だった。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がんとは何か、どこにできるなどがちゃんと書いてあり、病気の怖さや誰でもなるものだということが分かる。それを踏まえてワクチンについても知ることができるので、詳細版の方が分かりやすかった。</li> <li>詳細版の方が分かりやすい。子宮や頸部の場所がイラストになっているところとか。</li> <li>リスクの表はちょっと難しかった。（症状名の）漢字はだいたいわかる。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分に関係あるのかな、という感じ。同じワクチンでもコロナと比べると遠い。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこかに置かれているより、配られたり送られてくる方が目に留まる。検診の時など待ち時間に渡されると読みやすい。</li> <li>子宮頸がん自体は学校に医師が来て説明してくれたらいいと思う。</li> <li>珍しい病気にかかった人の話をテレビで見ると、子どもが真剣に見たりする。子どもが食いつくような映像とかで説明してもらえると、入ってきやすいかも。でも、動画だとわざわざ止まってみることはしないと思うので、冊子のほうがいいのかな。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え <small>(1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「5」。リーフレットを読む前は「3」か「4」だったが、接種のメリットを真剣に読めたので今は「5」。</li> <li>「4」。メリットもデメリットもあるから様子見したほうがいいかな。周りの人が打って、後遺症がなければ打ってもいいかなって思う。後遺症が多かったらやめておく。腕が痛いくらいならいいけれど。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなが打っているから打とう」とはすぐにはならないと思うが、周りの人がどう考えているのかは知りたい。周りの人の話を聞いて、多少は変わる可能性はある。</li> <li>予防だから難しいかもしれないが、接種しておいて良かったという話があると良い。ネットで調べるとネガティブな意見は出てくるが、ポジティブなものもあろう少し気持ちが動くと思う。</li> <li>子宮頸がんになった人の話はあったほうが、子宮頸がんを身近には感じられるかもしれない。乳がんと違って、子宮は目に見えないからイメージしづらい。</li> <li>今打った方がいいと書いてあった気がするが、もう少し詳しく書いてあっていい。</li> <li>接種後の症状は聞いてみたい。</li> </ul>



No.6

娘 学年 小学校6年	同居家族 父、母、姉（中2）	接種経験 なし	接種時期 —
母 職業 専業主婦	居住地 関東	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 姉：未接種

黒：母発言      ピンク：娘発言

普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝はテレビでニュースや天気を見る。街歩き系やドラマが好き。新聞は取っておらず、雑誌はたまに買って読むくらい。</li> <li>スマホでYahoo!ニュースやSmartNewsアプリも見る。SNSは使わない。YouTubeは旅行系のチャンネルを見る。</li> <li>テレビは笑点が好き。朝は天気予報を見ている。自分のスマホは持っていないので、母のスマホを借りてYouTubeのゲーム実況を見る。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ  ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>20年くらい前からテレビのニュースで知っていた。子宮頸がんを予防できると言っていたが、自分が成人してからは、区から子宮がん検診の案内が来たら必ず受けているので、ワクチンは受けなくてもいいと思った。</li> <li>接種について意識するようになったのは、長女が小6のときに区から接種券が届いたとき。そのとき高校生までは無料で受けられると知った。いま長女は中2なので、まずは長女から受けさせた方がいいのではと考えている。</li> <li>3か月くらい前に、区から「子宮頸がん予防接種のお知らせ」というものが届いたのがきっかけで知った。</li> <li>お知らせには、（子宮頸がんについて）年間約1.1万人が発症、約2,800人が亡くなっていると書いてあって、「そんなに身近にあるの？」と驚いた。</li> </ul>
接種を迷っている理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>（中2の姉について）長女は注射が嫌い。一度説明書を見せて「接種を受けてみたら？」と声をかけてみたが、2~3回接種するという話をしたら嫌がっていたので、接種はしなかった。もう中2なのでそろそろ受けさせてもいいと思っている。本人がどうしても嫌だと言ったらやめるが、最終的には受けさせようとは思っている。できれば費用を負担いただけるうちに受けたい。コロナのワクチンは3回受けさせている。</li> <li>姉妹一緒でもいいが、副反応も気になる。2人同時よりは長女からの方がいいかなと思う。次女は早生まれなので、4月生まれの子と比べると約1年違う。小6から受けられるが、もう少し後でもいいかなと思っている。</li> <li>注射は痛そうだし、小6~高1まで受けられるなら、今はまだ早いかなと思っている。でも高校だとちょっと遅いから、中学生のどこかで受ければいいのかと思っていた。</li> <li>周りの人が「打ったよ」とか言っていたら、考えは変わるかもしれない。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に調べたりはしていない。区からの案内で内容は十分だった。</li> <li>姉や周りの友達とワクチンの話をしたことはない。自分で調べたこともない。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>長女が中1の時くらいに、学校から保護者宛の手紙と一緒にチラシをもらった気がする。</li> <li>区からの情報が表裏しっかり書かれていたので、判断材料としては十分と思った。追加で何か調べようとは思わなかった。公共の機関から来ているものなので信頼できる。</li> <li>（小6の次女について）接種の案内が届いた。この子ももうこんな時期なんだ、と思った。案内はばらばらと見て、接種券が3枚あり、期限が「2028年3月31日まで」と書いてあるのを確認した。この日までに受けなければいけないことは認識した。</li> <li>母から「こういうのがあるよ」と言われたが、そのときは「ふーん」と受け流した。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもには概要版の方が分かりやすいし読みやすそう。</li> <li>イラストがありカラーで分かりやすい。クラスの何人が子宮頸がんになるかは分かりやすい。分からないところはなかった。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私は詳細版のほうをじっくり読んだ。詳細版はちょっと文字が多く、子どもが読むにはリスクや救済制度がセンセーショナル。少し恐怖心が出てきてしまうのではと思う。</li> <li>もっと知りたいことや、分からないことがあれば最後の相談先一覧を見れば相談窓口もあるので、このリーフレットで不明点はない。</li> <li>漢字が多くて読むのが大変そう、と思った。</li> <li>ワクチンのリスクや健康被害救済制度について読んで、副反応が怖そうと感じた。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改めて早く接種した方がいいと思った。子宮頸がんの現状、一生のうちで子宮頸がんになる人、なくなる人の情報が衝撃だったので。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙の方がいい。読みたいと思ったら読める安心感がある。ネットはわざわざその情報を探さないとけない。</li> <li>区から送られてきたら必ず見て、保管もする。</li> <li>紙でだったらそのまま母に渡せる。学校の授業で渡されたら読むと思う。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え  <small>（1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「6」。詳細版を読み、受けた方が良いという気持ちは高まったかもしれない。区からの手紙では、クラスに何人くらいの割合で、ということまでは詳しく書かれていなかった。</li> <li>「5」。ワクチンを知った時から変化はない。姉がまだ受けていないし、副反応もわからない。まだ小6だし高校1年まで猶予があるし、中学生のときに受けたいかなと思っている。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細版の、子宮を失うと妊娠できなくなる説明は中学くらいにならないとわからないのではないかと思った。書くべきことだが年齢によっては説明が難しい。</li> <li>厚生労働省のHPに、子ども向けのわかりやすい動画や、AIではなくオペレーターがいるチャットサービスで質問できたらよい。互いの顔が見えると話しくいのでチャットとかの方が聞きやすそう。</li> <li>ワクチンの種類の違いやそれぞれのメリットデメリット、痛くないのかは気になる。</li> <li>もし友達が受けたら、副反応とか痛みとか、受けたときの感覚は聞いてみたい。</li> <li>お医者さんからも聞きたい。副反応とか、病院で直接聞いてみたい。</li> </ul>



No.7



娘 学年 高校2年	同居家族 父、母	接種経験 なし	接種時期 —
母 職業 専業主婦	居住地 関東	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 周囲：学校の友達3人くらい

黒：母発言      ピンク：娘発言

<p>普段の接触媒体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝は家事をしながら情報番組や録画したドラマを見る。</li> <li>ニュースはYahoo!、Google、LINEニュース、TikTokなどで見る。流れてきた情報を見ている感じ。TikTokは情報が早い。YouTubeは趣味のガーデニングについて見る。</li> <li>朝は好きなドラマの録画を見る。日によってはニュースがついているのを見ている。</li> <li>通学電車ではLINEニュースでエンタメ系の情報を見る。</li> <li>SNSはXとYouTube。Xのトレンドに入っているものを見ている。YouTubeは勉強法や筋トレなど。ショート動画がメイン。</li> </ul>
<p>HPVワクチンについて知ったきっかけ</p> <p>ワクチンの印象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>娘が中3の時に、市からの案内が届いたのがきっかけ。私の母（娘の祖母）に聞いたら「私も（子宮頸がん）にかかったんだから、絶対に打たないとダメ」と言われた。</li> <li>娘にも「案内が来てるよ」と言った。娘はワクチン打ちたがる人だから「打つ」と言っていた。その後ネットで調べると、車いすに乗って動かない人の話が出てきた。「絶対だめだよ」って言って、動画を娘にも見せた。</li> <li>高1の夏になる前あたりのときに月経不順で、（母と一緒に）産婦人科に行った。そこでHPVワクチンのチラシをもらって読んだのがきっかけで知った。</li> <li>産婦人科では「高校生くらいまでに打った方がいい、自分の娘も打って何の問題もなかったよ」とおすすりされた。そのときは副反応について知らなかったので、インフルやコロナのワクチンみたいに絶対に受けた方がいいものと思っていた。</li> <li>最初の案内が来た中3の時は全然興味がなかった。</li> </ul>
<p>接種を迷っている理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私の母が子宮頸がんになった。娘に隔世遺伝することがあるかもしれないと聞いたから、ワクチンで防げるならそうしたいが、副反応がひどかったらすべて台無し。</li> <li>コロナワクチンを接種して、部活（陸上）の大会で良いタイムが出なかったことがあり、娘と相談し今はやめるとなったが、部活を引退したので最近では接種させるか、ちょっと悩んでいるところ。</li> <li>母からは「やめた方がいい」と言われ、接種していない。</li> <li>副反応が怖い、祖母が子宮頸がんになったので打った方がいいとも思う。友達が接種し始めたのも影響している。</li> <li>自分としては接種したい。祖母のがんもあるし、友達のお母さんが子宮頸がんで亡くなった。がんになるのは2~3人に1人といわれているので打った方がいいと思う。コロナの時も大丈夫だったし、後遺症が残る可能性は低いと思うから受けてみたい。</li> </ul>
<p>ワクチンについての情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が通っている全体の先生がワクチン全般反対している。その影響で、どのワクチンも必ず調べるようにしている。</li> <li>国や自治体の情報ではなく、副反応とか怖いものから見てしまう。でも子宮頸がんは10代からでもなるし、考えすぎて疲れた。</li> <li>ママ友達や産婦人科のカウンセリングの先生に相談したが、みんな「がんを防げるなら打った方がいい」と言う。</li> <li>怖いことしか調べないので、嫌な情報しか出てこないし、調べようとは思わない。</li> <li>友達とは「今日ワクチン打ってきたから腕にボールが当たったら怖い」というような感じで話に拳がる。全員何ともなくて、コロナワクチンほど痛くないと言っていた。</li> </ul>

<p>公的機関からの案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市からの案内には「子宮頸がんを防げる」とは書いてあったが、副反応のことは書かれていなかった。ネットで「国はいつもいい事しか書かない」と読んだが、市の案内はその通りだと思ってしまった。</li> <li>最初の案内は捨ててしまったが、2回目、3回目と案内が来たときは「またか」と思いながらも読んだ。何回も来るということは、それだけ大事なことなのかなと思って。</li> </ul>
<p>厚生労働省作成リーフレット感想</p> <p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の調査で送られてきたこのリーフレットを見て、娘がまだ対象なのだを知った。</li> <li>題名を見て自分のことだと思った。高2でもまだ間に合うと思った。自分のことだからちゃんと読もうと思った。子宮頸がんになるリスクは結構高いとわかった。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自費の場合の金額に驚いた。公費で受けられるのはありがたい反面、救済制度があるということは副反応の心配もある。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概要版よりは詳しくはあったが、難しかったり聞きなれない言葉が多く大変だった。普通にもらったら概要版だけしか読まない。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重篤な症状の情報も、厚生労働省はちゃんと出しているんだなと思った。</li> <li>YouTubeやネット検索では悪い情報ばかりだったが、みんなに重篤な副反応が出るわけではない、と少し信じてもいいのかなと思った。接種を検討するきっかけになった。</li> <li>メリットだけでなくデメリットも書いてあり信用できると思った。</li> </ul>
<p>望ましい情報の受け取り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙で提供されたほうがいい。ネットだと興味のある悪い情報の方に行ってしまうし、厚生労働省が情報を発信していてもネットではたどり着けないから。</li> <li>みんなが行くようなスーパーやコンビニ、ドラッグストアの生理用品のコーナーとかにあると、女性しか来なくていいかもしれない。</li> <li>学校でスマホの使い方について講演があり、その後みんな気を付けるようになった。講演とかがあれば、知る機会になると思う。</li> </ul>
<p>ワクチン接種に対する考え (1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「5」か「6」。以前は「1」に近かったが、今回のインタビューやリーフレットを見て考えが変わった。まだ間に合うし、接種させると思う。娘を「洗脳」してしまった反省もある。</li> <li>「6」。副反応が出る確率より、子宮頸がんになる確率の方が高い。</li> </ul>
<p>ワクチンについて知りたかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>婦人科での説明で、高1を過ぎたら接種できない、効果がないと思っていた。まだ大丈夫だという案内はなかった。</li> <li>もっと早くワクチンを知っていたら心の準備ができたかもしれない。学校で習うべきだと思う。</li> <li>YouTuberやインフルエンサーの方から、接種して良かったことや悪かったこと、接種した後の経過を聞いてみたい。</li> </ul>



No.8



娘 学年 高校3年	同居家族 父、母	接種経験 なし	接種時期 —
母 職業 専業主婦	居住地 近畿	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 周囲：片手で数えられるくらい的人数

黒：母発言      ピンク：娘発言

<p>普段の接触媒体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PCでYahoo!ニュースのトップを見る。興味があったらクリックして読む。前は新聞を取っていたが、ネットのニュースの方が瞬時にアクセスできるので読まなくなった。</li> <li>SNSはLINEの連絡とニュースを見る程度。テレビも今は全然見ない。</li> <li>Yahoo!とXをよく見る。調べたいことがあればGoogle検索をする。</li> <li>SNSはXのトレンドが見やすい。友達との連絡手段としてInstagramのDMやLINEを使う。YouTubeはヘアアレンジなどの動画を見る。ニュースはYahoo!が多い。</li> </ul>
<p>HPVワクチンについて知ったきっかけ</p> <p>ワクチンの印象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内科かどこかの病院の壁に「予防のために受けましょう」みたいな内容が貼られてあるのを目にしていた。最近ではなく、ずっと前のこと。</li> <li>娘が中3か高1の頃、市から案内が届いた。その前に、ワクチンを受けた後の症状について聞いていたので、なんとなく怖い感じがして、後でじっくり読もうと思ってそのままにしていた。案内が来たことは娘には伝えていなかった。</li> <li>高1の頃、友達から聞いて知った。「予防接種みたいなもの」だと聞いた。</li> <li>周りに受けている人が多くなかったので、コロナワクチンのように「みんなが受けるもの」ではないんじゃないかな、と思っていた。</li> </ul>
<p>接種を迷っている理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ママ友達の知り合いの子どもが副反応で困っている話や、ネットの情報を見て、なんとなく不安を感じている。祖母は予防接種を受けて亡くなった。</li> <li>接種の案内が届いたときも、急ぎで受けるようなものではないと思っていた。「どうする？」と友達と話していたら、副反応の話が入ってきて、娘に伝えるタイミングを逃してしまった。</li> <li>基本的に予防接種自体が不安。赤ちゃんの頃はタイミングが決まっていた、副反応や自分の考えは関係なく受けさせてきた。</li> <li>インフルエンザワクチンも基本的には受けていない。受けてはいなくても、かからなかった。コロナワクチンはすごく悩んだが、学校で誰か受けた・受けないという話になり、受けていないのがあと数人、みたいなタイミングで2回は受けた。</li> <li>自分だけの人生でなく子どもは先が長いので、何かあったとき責任が取れない。受ける安心感もあるが、万が一もある。何かあったら悔やみきれない。本人が納得がいくならどうぞ、という感じ。もし何かあったら私はどうしたらいいのか分からない。</li> <li>今回の調査でリーフレットを読むまでワクチンについて考えたことがなかった。読んでみて、受けていると安心だとは思ったが、副反応が出たらと思うと受けたくはない。</li> <li>もし受けたいと思っても、反対されたなら、受けなくてもいいかな、となると思う。</li> </ul>
<p>ワクチンについての情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何か調べたことはない。友人の子どもが受けていないので、話題にもならない。</li> <li>自分で調べたことはない。授業でも聞いたことはない。</li> <li>友達とは、「今日ワクチン打ちに行くねん」みたいな感じで話題になる。「痛かった？」みたいなことは聞いたが、「どんなワクチン？」とまでは聞けなかった。</li> </ul>
<p>公的機関からの案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中3か高1で案内が届いたあと、1~2年経ってから、接種できる年齢が延長になった、というお知らせが届いたと思う。</li> <li>市からの案内は見たことがない。</li> </ul>

<p>厚生労働省作成リーフレット感想</p> <p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙を見て、娘のような年齢の方を対象に書かれているな、と思った。</li> <li>初めて子宮頸がんについて知った。結構な数の人が子宮頸がんになり、なくなる人もいると分かった。</li> <li>無料で接種できる期間が延びた話はお母さんから聞いたので、そのことか、と思った。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大まかにでも接種の効果やリスクなどが書かれていて、クラスで何人くらいががんになるのか大きく書かれているので、子どもに説明はしやすい。</li> <li>クラスでどれくらいががんになるか書かれていてわかりやすい。キャッチアップ版よりもまとまっていて理解しやすい。</li> <li>6年の時はがんとか考えたことがなかった。読んでも深く考えていないと思う。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ページは多いが一番わかりやすい。子宮のイラスト、がんの進行、リスクが表形式になっているので、一生懸命調べなくてもイメージがわかりやすい。</li> <li>詳細版はリスクが細かく表にまとめて書かれていて、接種する人にとっては良いと思う。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読んだ前後で、方針や考えに変化はないが、悩むことが増えた。</li> <li>がんになってからだと遅いので、前もって予防したら安心だと思った。もし副反応が少なくて安心して受けられるなら受けたいと思う。</li> <li>接種後に生じた症状の報告を読んだが、周りに副反応が出た人がいるのだから、本当はもっといいのではないかなと思ってしまう。</li> </ul>
<p>望ましい情報の受け取り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙だと何度も見返すことができるし、紙の方が好き。</li> <li>紙の方が好き。学校で配られるほうがいい。授業で詳しく教えてもらった後なら印象には残ると思う。</li> </ul>
<p>ワクチン接種に対する考え (1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「4」。受けておいた方がいいという思いもあるが、リスクもあるので決めがたい。</li> <li>「5」。リスクを考えなければ接種したいと思うが、リスクを考えるとちょっと迷う。現状では少しメリットの方が上。</li> <li>受けたいと思ったときに受けられる状況であってほしい。高校生までではなく、20歳までとか、もう少しだけ猶予が欲しいという感覚。</li> </ul>
<p>ワクチンについて知りたかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このワクチンに関して自分自身がよくわかっていないので、説明はできない。学校とかで対象年齢の生徒に、受けるメリットと万が一の時のデメリット、受けることの重要性をお医者さんから直接説明してもらおう方が、間違いのない情報が入っていると思う。</li> <li>接種した人の話を聞きたいとは別に思わないが、学校の保健体育の授業で聞けたらよかったのに、とは思った。</li> </ul>



No.1

職業（年齢） 大学4年（23歳）	同居家族 母、妹（2人）	接種経験 あり（1回）	接種時期 1回目：中学生
	居住地 近畿	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 妹：未接種 周囲：不明



普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ、LINEニュース、YouTubeを見る。テレビはバラエティ、ドラマ、映画、YouTubeはミュージックビデオを見る。</li> <li>何かを調べる時はGoogle検索。</li> <li>SNSはアカウントを持っていないので見ない。新聞、雑誌などの紙媒体は見ない。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校高学年か中学生の頃、母から接種するかどうか、という感じで聞かれたと思う。母から詳しい説明はなかったと思うが、病気の予防ができるということは聞いた記憶がある。</li> <li>他の注射と比べてすごく痛いと言ったので、痛かったら嫌だと思った。</li> </ul>
接種した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>当時は受けないといけないうのみみたいに思っていて、受けるのが当たり前なのかな、と思って普通に受けに行った記憶がある。</li> <li>接種を受けたとき、医師や看護師からどんな説明があったかは覚えていない。そんなにたくさん聞いた記憶はない。</li> </ul>
接種を中断した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目の接種後、接種後の症状に関するニュースが出るようになり、母から「2回目以降はやめておいたほうがいいんじゃないの」と言われた。</li> <li>自分自身もテレビでニュースを見た。接種後に体が動かなくなった、生活に支障をきたしたという内容だった。</li> </ul>
接種を迷っている理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>接種後に副反応で生活に支障をきたすようなことが起きたら怖い。</li> <li>今なら無料で接種できる。後々お金がかかるなら無料のうちに受けておいた方が良くのかもしれない。</li> <li>病気が予防できるなら受けておきたい。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで母と会話するタイミングがなかった。母からの情報は信頼している。</li> <li>誰かから接種を勧められたこともないし、友達との間で話題にもならない。</li> <li>学校では授業や説明はなかったと思う。</li> <li>テレビのニュースで見た以外に、自分から検索したり調べたことはない。接種を中断してからインタビュー当日まで新たな情報も入っていない。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>妹宛に届いたチラシを見た記憶があるが、読んでいないので内容は分からない。</li> <li>自分宛に送られてきた記憶はぼんやりとしている。</li> </ul>
キャッチアップ接種の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>いまでも無料で接種できるということは、大学からの案内メールを見て知った。メールを受け取ったのは大学4年になってから。</li> <li>それ以外の情報は覚えていない。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今なら無料で接種できることを改めて知った。がんの進行について詳しく知らなかったことが理解できた。</li> <li>理解できないところ、難しいところ、疑問はなかった。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「何人くらいが子宮頸がんになるの？」はクラスで表現されておりわかりやすい。副反応が出た割合が具体的な数値で書かれているのが良い。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不明点はなかった。わかりやすいと思った。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットで受け取れるほうがよい。ネットで検索しようとは思わないので。</li> <li>高校生なら学校で配布されると家で読むと思う。大学生の場合、学校に置いてあっても手に取って見ることはしないので、家に届いてほしい。</li> <li>自分と同年代の人がワクチンの話をしていたら、ちょっと気になるかもしれない。</li> <li>テレビ、YouTubeの広告なら見るかもしれない。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え <small>（1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「4」くらい。今のところ必要性は感じない。</li> <li>あまり自分ごとと思えない。自分ががんになって子宮を失うイメージがわからないので、わざわざ受けたいとは思わない。でも、全く受けたくないとも思わない。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのくらい痛いのかは当時知りたかった。今は気にしないが。</li> <li>どの程度の人が接種しているのかはちょっと気になる。接種している人がこんなにいるということが分かったら、接種する・しないに影響する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の頃に接種のメリットやデメリットを聞いて、しっかり判断できるのかは疑問。それよりは母からの話が最も影響していたと思う。</li> </ul>



No.2

職業（年齢） 大学4年（22歳）	同居家族 父、母	接種経験 なし	接種時期 —
	居住地 関東	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 周囲：1人（高校時代の友人）



普通の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビは全く見ない。X、Instagram、LINEなどのSNSを見ている。美容系の情報がよく流れてくる。YouTubeは、おすすりに出てきたショート動画を見る。</li> <li>何かを調べる時はGoogle検索。</li> <li>雑誌は美容院で2〜3か月に1度、ファッション誌を見るくらい。</li> <li>情報源は100%は信じているわけではない。古い情報、フェイクもあるかもしれない。違うなら違うでいいや、という気持ちで収集している。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校5〜6年の頃、接種の案内が自治体から届いて、こういうものがあるのだと知った。ワクチンの存在については理解したが、内容までは理解していなかった。</li> <li>この時点でもう少し先の期間まで無料で接種できることは知っていたが、具体的な年数までは知らなかった。公費＝無料、と理解はしていた。</li> </ul>
接種しなかった理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内が来た当時、ワクチンの安全性が確立されていないというニュースがあり、母から「まだ接種しない方がいいのでは？」という意見をもらった。</li> <li>自分自身もそのニュースをテレビで見た。「安全性が確立されていないので怖い」という印象が強く、まだ接種しなくてもいいかなと思った。</li> <li>小学生だった当時は「（決めるのは）自分で判断ができる高校生くらいでいいかな」と思っていた。大人になったら忙しくなるだろうし、無料で受けられる期間が高校生くらいまでという記憶があったので。でも実際には、高校生の時は忙しくて接種に行く時間がなく、タイミングを逃してしまった。</li> </ul>
接種を迷っている理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナやインフルエンザのワクチンでも副反応が強く出る。ワクチン接種の時期が、試験勉強や入社前研修のタイミングと重なっているので、体調を崩すと困る。</li> <li>接種のメリットデメリット両方あるので迷っている。</li> <li>SNSのおすすめ欄や病院でも「受けましょう」という情報を見るが、「（効果については）わかっているけど怖いから受けられないんだよ」という気持ち。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全性が確立されていなかった時代から、情報のアップデートができていない。</li> <li>高校時代の友人が1人、HPVワクチンを接種していた。今年2月に会ったその日に接種していたらしい。「腕が痛い」と言っていた。</li> <li>接種した友人から、「早く受けたほうがいい。無料で受けられるのは2025年までだから」と言われた。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校5〜6年の頃に自治体から封書が届いた。その後、めくれるタイプのはがきが来た記憶もある。</li> </ul>
キャッチアップ接種の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年になってすぐ、「安全性がある程度確保されたから個別案内を再開する」ということで、自治体から案内の手紙が来た。</li> <li>申込書や予約方法については読んだが、それ以上は読まなかった。半分くらい見て、HPVだということ以上は見なかったの、必要な情報が書いてあったのかも分からない。「またHPVか」という感じで、ポイッと捨ててしまった。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パッと見、空欄が少なく文字がぎっしりな印象。読むのに時間がかかる印象。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3つのリーフレットの中で、最も読もうと思った。</li> <li>詳細版にあるリスクは概要版にも書いてほしかった。概要版にはひどいほうのリスクが書かれているが、腕の痛みとか、みんなが起こる確率の高いリスクを書いてほしい。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分厚かったのを読む気にならなかったが、ちゃんと読むと最も分かりやすい。</li> <li>「HPVワクチン接種について」と「HPVワクチンのリスク」を読んで、このリスクなら受けてもいいかなと思った。割合が高い副反応は、日常生活にそこまで影響しないものだったので。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の調査でリーフレットを読んで、「1年前に受けていればよかった」と思った。大学2〜3年の時のほうが時間があつたから。</li> <li>「子宮頸がんにかかるのはなぜ？」の図は、持続感染と自然に消える感染の違いが良くわからなかった。</li> <li>リスクについては「ほとんど」という表現よりも、90%など数字で書いてくれた方が、すっと理解できる。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの手段で情報提供されても、HPVワクチンに興味がなかったら目に留めないと思う。</li> <li>学校で配られるとか保健関連の授業とか、強制的な情報提供がないと興味を持たない。</li> <li>自分だったら、小中高なら学校からもらうのが一番読む確率が高い。休み時間に「暇だし読んでみよう」と思うかも。</li> <li>大学生だと自分で判断してしまうので、どこでもらっても本当に読まないと思う。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え (1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「5」。インタビューの前は「2」か「3」くらい。</li> <li>詳細版に書かれていた接種のリスクを読み、最も苦しかったコロナワクチンよりは苦しくなさそうなので、接種する方向に気持ちが動いた。</li> <li>でも接種のための時間が取れないし、研修の途中で体調を崩したくないので「5」。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>副反応が出た人はどれくらい出たのか聞いてみたい。1週間寝込んだとか、自分と同じくらいの中程度の人について。起こりうるリスクを想定して接種できる。</li> <li>周りの人が受けた、という情報は興味がない。友達が3日で副反応がおさまったとしても、自分は1週間かかるかもしれないので。</li> <li>接種した人の情報については、リーフレットなどに簡潔に書いてあればいい。「1週間熱が出ました」とか短い情報でいい。わざわざネットで調べるのは面倒。同じ場所にまとめて書いてもらった方がいい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がんより乳がんのほうが情報接触が多い。乳房とは違い、子宮は内臓なので自分からは見えない。その分、普及の速度も違うのではないかと考えている。</li> </ul>



No.3

職業（年齢） 会社員（25歳）	同居家族 母	接種経験 なし	接種時期 —
	居住地 関東	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 母：接種経験あり（時期などは不明）

普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビは朝食時にニュースを見る程度。SNSの利用頻度は高くないが、ダイエットや美容、グルメ情報はInstagramから入ってくるものを眺めている。</li> <li>何かを調べる時はGoogle検索。公式が出しているものや専門家が出版しているものは信ぴょう性が高いと思う。</li> <li>新聞や雑誌、本はほとんど見ない。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生くらいの時に知った。保健の授業や市からの案内、CMも見た気がする。</li> <li>当時は「子宮頸がんワクチン」という名称で認識していた。がんのリスクをワクチンで防げるということが衝撃だった。</li> <li>でも、周りの人が実際に受けたという話を聞いたことがないので身近に感じられないし、副反応とか怖いのかな、とも思った。受けたことで何が変わるのか、というイメージでできなかった。</li> </ul>
ワクチンについて学校での説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健の授業で、ワクチンがあること、案内が届いていると思う、という話はあった。接種を受ける・受けないは自由、という話だった。</li> <li>詳しい仕組みについての説明はなかったが、がんになると妊娠のときのリスクに繋がる、という話はあった。</li> <li>授業での説明を聞いて、友達と何か話をするようなことはなかった。友達が接種するか否かは個人の判断だし、それを深く話すのも違うなと思うので、話しにくい話題ではあったと思う。</li> </ul>
接種を迷っている理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>デメリットを考えて迷っているというより、「接種しなくてもいいのではないかな」と思っている。子どもが欲しいという願望もないので、将来的な不安を感じていない。病気もなったらなただで仕方がない。</li> <li>自分の価値観や人生設計と照らし合わせて、「これは本当に必要なものなのか」という考えが大きい。祖父ががんで延命せず自然になくなった姿を見て、自分もこれでいい、無理に長生きしなくていい、と思っている。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内が来たときに、母からは「前向きに検討してもいいと思うよ」と言われた。</li> <li>母は「安全性も高いから、気持ちがあるなら受けてもいいんじゃない」という考えで一貫している。母が接種したときに「どうだった？」とは聞いた気がする。そのあと重い症状が出た話は聞いていないので、個人差があるのだろうとは思っている。</li> <li>CMだったと思うが、「安全性も高くて、案内が皆さんのところに届きます」というのを見た気がする。その時に「検討してもいいかな」という気持ちになった。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生くらいのときに、自治体から接種券と一緒に冊子が届いたのを記憶している。冊子にデータとしてワクチンの効果が書かれていた。副反応のこと、その割合なども書かれており、安心できるものだった。</li> <li>今までに3回くらい案内をもらっている。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「接種を逃した方」という言葉から、もう一回考えようかなと感じた。</li> <li>「HPVワクチンの効果とリスク」は専門用語が多く、初見では「うわっ」と思ったが、数字や効果が書いてあると、効果や安全性が期待できる。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病気やワクチンへの理解がない段階でもわかりやすい。</li> <li>「一生に一度は感染する」というのが大きく書かれているので、そこで当事者意識が生まれるのかな、とは思う。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しっかり理解できる冊子だった。特にリスクの記載がしっかりしていた。文字より表で数字が分かりやすく書いてある方がいい。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワクチンの種類とスケジュールはよく分からないので参考にならなかった。</li> <li>実際接種するとなったら、ワクチンの種類や接種期間は、リーフレットだけではイメージしにくい。「相談先や接種方法については自治体からのお知らせをご覧ください」とあるが、そうした情報がもう少し載ってほしいのかなと思う。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>接種券と重要書類が一緒に来るのであれば、しっかりと紙媒体でいただける方が判断材料としては安心できる。</li> <li>日常生活でこのような情報を得る場合、冊子よりはSNSの方が使う機会は多いので、情報を短くして隙間時間にちょっとずつ情報をもらえる方がありがたい。小出しに理解できれば、身近に感じるきっかけづくりになるのかなと思う。</li> <li>一度に大量の情報を理解するのは億劫になってしまうので、少しずつ豆知識を得られるような感じにすると、より理解しやすい気がする。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え  (1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「4」。リーフレットを見る前は接種しなくていい感じで「3」に近かったが、ちょっと情報が増えて「もう1回検討してもいいかな」という気持ちで「4」になった。</li> <li>がんになる仕組みとリスクを確認することができたのが大きかった。</li> </ul>
ワクチンについて知れたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>副反応とかは気にしていない。怖いという部分はない。</li> <li>どのくらいの人接種しているかの実態や、接種によりどれくらいリスクを減らせたか具体的な数字があったら、効果に対して前向きな気持ちで判断ができる気がする。</li> <li>私にとって必要かどうか判断できていないので、接種した人はどういう思いで接種しようと思ったのかなど、いろんな人の考え方を聞いてみたい。</li> </ul>



No.4

職業（年齢） 大学1年（19歳）	同居家族 1人暮らし	接種経験 なし	接種時期 2024年4月予定
	居住地 北陸	今後の接種予定 あり（予約済）	家族・周囲の接種状況 周囲：不明



普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビは帰省した時しか見ない。一人暮らしの自宅にはない。</li> <li>SNSはX、Instagram、LINEを使用。アニメ、ゲーム、二次創作、イラストなどを見ている。YouTubeはDIYや雑学系を見る。</li> <li>何かを調べる時はGoogle検索。新聞は読まない。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生の頃、市からキャッチアップ接種の案内が届き、ワクチンのことを知った。それまでは名前を聞いたこともないし、周りで接種した人もいなかった。家族も知らない様子だった。</li> <li>「子宮頸がんを防ぐワクチン」だと認識。受けなきゃいけないのかな、面倒くさいな、という思った。注射が嫌いなので、予防接種全般が好きじゃない。</li> <li>がんというよく分からない怖いものを防ぐために、ちょっと嫌だけど接種しなきゃ、とは思った。</li> </ul>
接種を決めた経緯・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生のときは大学進学のことであって忙しかったので、あとで考えたいな、と先延ばしにしていた。</li> <li>年末年始のタイミングで帰省したときに、父と話して、「接種したほうがいいよね」「そうだね」という会話をした。</li> <li>2024年1月になり、公費で接種できる期限が近づいてきたし、ちゃんと打たなければいけないと思っていた。副反応もそれほど心配なものではないと思い、接種を決めた。</li> <li>期限を過ぎたら、嫌なものに対してお金を払わねばならない、という考えもあった。</li> <li>2~3月は実家にいるので、自宅に戻っている4月に接種することにした。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年1月ごろ、キャッチアップ接種について調べた。公費で接種できるのか気になり、[●●市 子宮頸がんワクチン]で検索して市の公式HPを調べ、公費でいつまで接種できるかを知った。</li> <li>同じ時期に、副反応についても調べた。[子宮頸がんワクチン 副作用]で検索した。</li> <li>調べたのは、個人のブログではなく、医師が回答しているインタビュー記事など。女性の医師の記事で「接種後の症状は、副反応として断定できるか不確定な人の人数で、ものすごく多く出たわけではないから大丈夫」という記述があって安心した。</li> <li>たまたま帰省したときにテレビでHPVワクチンのCMを見たり、YouTubeのCMを見たりすることがあった。</li> </ul>
キャッチアップ接種の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生の頃に最初の案内が届いた。キャッチアップ接種についての案内。</li> <li>大学進学で引越した時に、転居先の市から別の案内が来た。接種できる病院のリストもあったと思う。</li> <li>住所が変わり、新しい予診票をもらわないといけなかったで、「●●市 子宮頸がんワクチン」で検索し、市のHPでキャッチアップ接種について調べた。</li> <li>その後、市に電話をして予診票を送ってもらった。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットで調べた時に見たような気がする。概要版/詳細版よりやや難しめな、とっつきにくい第一印象。簡素なので“くらいなのか”と思った。</li> <li>これまで調べた知識があったので、不明点はない。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい。罹患者数を数字で見ると、他人事ではないと感じられた。</li> <li>「子宮頸がんが苦しまないためにできることが2つあります」ということが書かれていて、「あ、今できるんだな」ということがわかる。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界で接種されているということは大事なことなのだと思います。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>副反応については不確定な要素も含まれているので、確率はさらに低いと書かれていたら安心できそう。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットについて、学校や病院で配布されたら、大事な資料なのかなと感じる。病院なら、検診のあとに渡されたら目に留まるかもしれない。</li> <li>学校なら、他のプリントに混ざらないよう、特別授業の後に渡されたら印象に残るし、読まなければという気持ちになる。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え <small>(1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「6」。初めてHPVワクチンを知った時は「4」くらい。</li> <li>もともと注射が嫌い。すぐ接種したいかということ、そうではない。でも大事な、とは思うので。</li> <li>公費の期限が近づいていたこと、がんを防ぐためにはちゃんと打たないといけないということ、副作用もそれほど心配ではないということから、数字は変わった。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内をもらったときに、「なんで今？」とは思った。「公費で受けられるのが今だから、経済的には今なのか」というのは自分の中で落とし込んだ。</li> <li>調べて自分の中で落とし込めたので、ワクチンについて特に聞きたいことはないが、もし接種した人のSNS投稿があったら、どこに打ったのか、どんな状態か、ちょっと見てみるかもしれない。</li> </ul>



No.5

職業（年齢） 大学1年（19歳）	同居家族 1人暮らし	接種経験 あり（3回）	接種時期 1回目：2023年8月、2回目：2023年9月、3回目：2024年2月
	居住地 北陸	今後の接種予定 —	家族・周囲の接種状況 妹（中学3年）：1回接種済

普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビは週1~2回、暇つぶしで見る程度。</li> <li>最も多いのはSNS。Xのトレンドで目に入ったものをチェック。Instagramは食べ物やカフェの情報をよく見る。</li> <li>何かを調べる時はGoogle検索。新聞、雑誌は読まない。</li> <li>この中だとテレビのニュースをわりあい信用している。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校1~2年の頃、市から接種の案内が届いた。高校の途中からコロナワクチンを接種するようになり、「そういえば他のワクチンの案内が来ていたな」と思い出して調べたときに、しっかり認識した記憶。</li> <li>HPVワクチンがどんなワクチンかまでは読んでいなかった。期限があるようだとも思ったが、具体的にいつまでかは把握していなかった。</li> <li>案内が届いたことをきっかけに、高校の友達に「打った？」と聞いたこともあった。「打てるなら打ちたいよね」という話にはなった。</li> </ul>
接種を決めた経緯・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンについて調べたときに、「子宮頸がん予防」というものは認識していて、金銭的な負担なしで受けられるならぜひ受けたい、と思った。</li> <li>母は「子宮頸がんのリスクは少ない方が良いので、打った方が良い」と言っていた。</li> <li>接種しようと思ったのは、2022年くらい。スケジュールを合わせるのが難しくして先延ばしにしていた。大学受験もあったので。</li> <li>大学の夏・冬休みに帰省している時にすべて接種しようと綿密に計画した。</li> <li>自分が1回目を受ける日に、母が「妹も」と提案してくれて、妹も一緒に接種した。妹は2回で完了するが、2回目の予約はまだ。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約の時に、市内のどの病院が対応しているかは自分で調べたが、ワクチンの内容については調べていない。不安はなかった。</li> <li>市の案内ページ、子宮頸がんやHPVワクチンについてインターネットで調べた。</li> <li>推奨されていた時期とそうじゃない時期がある、という経緯の情報と、ワクチンの種類がいくつかあるところはよく見たと思う。</li> <li>市のHPは案内書類と同じ内容だったので、国のHPも見た。機関やクリニックが出してる情報は信ぴょう性が高いと思いつながりながら見ていた。一般人が書いているまとめサイトも参考にはなると思い、見た。</li> <li>帰省のタイミングに合わせて受けられるワクチンを扱っている病院で、家に近いところから電話した。9価を希望していたが、スケジュールを伝えたらまず2価を提案された。そのあと、9価でも1か月空けの希望をかなえられる、という情報をいただいて、9価を受けることにした。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内の内容は覚えていない。迷ったり嫌な気持ちになった記憶もない。</li> <li>案内は2回来ており、2回とも高校生の時に受け取った。キャッチアップ接種の案内で、期限があることは認識していた。</li> <li>ワクチンに種類があることも書いてあった気がするが、具体的な違いはネットで調べた。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットで調べた時に見たような気がする。</li> <li>スケジュールと子宮頸がんの進行は図になっているので目が行く。</li> <li>ワクチンは接種年齢が過ぎてても効果がある、というのは知っておきたい。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい。クラスで何人が子宮頸がんになるか、はイメージしやすい。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がんは40代が多いと初めて知った。リスクは表になっていて見やすい。</li> <li>日本だけでなく世界で接種されている情報も参考になる。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読んで安心感につながった情報は、16歳を超えても効果があることと、3種類のワクチンの違い。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院で受け取ったら目に留まりそう。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問が解消された状態で接種できていたので、特になし。</li> <li>もし身近に接種した人がいたら、どれくらい痛いのか、腕は痛かったか、副反応について聞きたかった。</li> <li>文章だと参考にならないが、動画だったら本当かなとは思う。</li> <li>ワクチンについて理解はできなくても、受ける年齢が近づいていることをお知らせされるほうが、準備はしやすいと思う。</li> </ul>



No.6

職業（年齢） 大学4年（22歳）	同居家族 1人暮らし	接種経験 あり（3回）	接種時期 1回目：2022年9月、2回目：2022年11月、3回目：2023年5月
	居住地 関東	今後の接種予定 —	家族・周囲の接種状況 妹（大学1年）：不明 周囲：数人（大学の友人）



普通の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職内定先が決まって引越したのを機に、テレビは持たなくなった。</li> <li>朝、SNSのXと電車内のニュースを見る。Instagramは友達関係。何かを調べる時はGoogle検索。</li> <li>新聞は取っていないが、日経新聞は無料会員に登録しており、メールで届くニュース記事の中から興味があるものを読んでいる。Xでも朝日、日経のアカウントはフォローしている。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生か高校生の頃、市から接種の案内が届いた。母が「体が麻痺した子がいるからやめておこう」と言ったことは覚えている。</li> <li>母の話を聞き、「HPVワクチン 副作用」で調べた気がする。多分そんなに強い副作用は出ないだろうと思いつつ、怖かった印象がある。</li> </ul>
ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じくらいの時期に、生理が不順になって検査に行った。名前は覚えていないが、「子宮のあれがこんな感じです」と言われた。子宮頸がんとか子宮の病気はあまり遠い物じゃないと思ったので、打った方がいいのかなと思った。</li> <li>高校の保健の授業でHPVワクチンの話があって、「打っていないな」とは思い出した。テストにも出たのを覚えている。</li> <li>当時、周りの友達で「打ったんだ」みたいな会話はした覚えはない。</li> </ul>
接種を決めた経緯・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>母から、キャッチアップ接種で無料で受けられることを教えてもらった。そのタイミングで一人暮らしを始めることになったので、「どうしようか」と頭の片隅にあった。</li> <li>2022年6月頃、一人暮らしの自宅にキャッチアップ接種の案内が届いた。「ようやく届いたから接種しようと思う」と母に電話で話したら「無料で打るときに打っておきな」と、すんなりOKが出た。「母子手帳持っていきな」ということも言われた。</li> <li>以前は強く反対していたので拍子抜けしたが、母がOKを出したことは大きかった。</li> <li>コロナがあったのも大きい。強制ではないが、ワクチンを打たなければならぬ状況になった。HPVワクチンの時よりも副反応の情報が多く流れた一方で、何事もない人が多くいる。私の性格上、「なるものはなるよね」「打たないで後悔するより打って後悔する方がまだいいかな」と思った。</li> <li>夏休みは帰省するので、自宅のほうで接種するつもりで9月に予定した。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチアップ接種のタイミングで、友達に接種したかどうか聞いた。大学で同じクラスだった友人ががん家系で、高校生の時点ですでに9価を受けていた。その友人の両親は医療関係者。問題ないということは聞いていた。</li> <li>他の友達にも聞いて、何人が受けていた人はいた。</li> <li>どのワクチンにすべきか迷ったが、母や接種した友人とも相談して、4価を受けることにした。接種を決めた当時、9価は自費だったので。</li> </ul>
キャッチアップ接種の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に母から話を聞いていたので、市から案内が来て「私のことだ」と思った。</li> </ul>

公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>市からの案内には、各病院ごとにどのワクチンが接種できるか一覧表があって、ありがたかった。</li> </ul>
厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市からのキャッチアップの案内で見た。自分が該当しているとすぐにわかった。</li> <li>3種類のワクチンのどれを選択したらよいかわからず、接種した友人に聞いた。</li> <li>詳細版にあるワクチンのリスクの表がこちらにもあれば、母に相談しやすかったかも。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小6ではHPVワクチンはわからないので、表紙のように親子で読んだと思う。「こういうものがある」という導入程度で、これで検討は難しい。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高1までに読んでいたら、かなり考えるきっかけになったと思う。</li> <li>3種類のワクチンのメリットデメリットが表になっていたら相談がしやすかった。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母からの言葉やメディアの情報は、HPVワクチンのネガティブな情報が多かったので、読んでいてもネガティブな情報が目につきやすい。</li> <li>リーフレットを読んで背中を押されることはないが、「考えなきゃ」くらいにはなる。</li> <li>リーフレットだけでは判断は難しい。私は、周囲からの後押しがあったのが大きかった。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実習に行ったとき、学校からのおたよりはオンラインで生徒や保護者に送っていた。紙だと保護者に見せないお子さんもいるので。そういう場合は紙とデータの両方で見せるのがいいのかも。</li> <li>YouTubeとかでVlogとしてあっても、本当に誰かが接種しているというだけで安心材料になる。短時間に多くの情報を詰めてくれるのでわかりやすい。</li> <li>学校の保健体育の先生からの話で、「過去にこういう生徒がいた」という実体験の話をしてくれるのは、危機感が迫ってくるものがあった。（※子宮頸がんの話ではない）</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>Vlogのような動画で、予約から接種、接種後までの流れを見られたら良い。接種した経験のあるロールモデルがいると、身近な人には聞きづらいけど、安心材料になる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>生理がきたのが小5くらいで少し早くて、子宮という器官があるのは意識していた。（対象の小6になって）突然案内されるよりは、それくらいの年齢で先に知る機会があってもよかったと思う。</li> <li>友達との話で、「男性も打った方がいい」というのは初めて知った。私の大学はジェンダーに厳しくて、学内のジェンダーイコオリティーの団体のSNSアカウントをフォローしていたら、男性も打った方がいい、という情報が出てきた。</li> <li>異性間でHPVワクチンについて話題にすることがなかったので、知人の男性で打っている人がいるかはわからない。</li> </ul>



No.7

職業（年齢） 大学2年（20歳）	同居家族 父、母	接種経験 なし	接種時期 —
	居住地 関東	今後の接種予定 なし（接種を迷っている）	家族・周囲の接種状況 周囲：不明



普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビはあまり見ない。気になったドラマがあれば見逃し配信で見る。</li> <li>一番目にするのはSNS。X、Instagram、TikTokでインフルエンサーやアイドルの投稿、美容を見る。YouTubeではゲーム配信をよく見る。</li> <li>ニュースはYahoo!ニュースの気になった記事を読む。</li> <li>新聞は高校までは取っていたが今はない。雑誌は気になるアイドルが出ているときは買うが、習慣的には読まない。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学2~3年の頃、学校でポスターを見た。「接種しよう。無料で受けられます」みたいな内容だった。</li> <li>保健体育の授業でも子宮頸がんについて勉強して、予防の方法としてワクチンがあることを聞いた。</li> </ul>
ワクチンの印象	<ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がんの怖さは理解していたので、母に「ワクチンを打った方がいいかな」と聞いたら、「やめておいた方がいい」と言われた。</li> <li>その後も、学校で貼ってあるポスターは目にする機会はあったが、母が反対していたので、接種する気にはならないまま今に至る。</li> </ul>
接種を迷っている理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に市から案内が届いたときは、自分で開封して中身を少し見たが、母が反対していて捨てられてしまった。</li> <li>母の友人が接種し、下半身麻痺でずっと動くことができないと聞いた。かなり怖いと思った。</li> <li>母に相談しても反対されるし、友達と会話するきっかけもない。もし周りの人が「接種した」と言ったら迷ってしまいそうで、怖くて聞けない。</li> <li>Webの広告とかでワクチンについて見る機会は少しあった。広告を見ると、プラス面が大きく書かれている。学校の掲示物にもリスクは書かれていなかった。副反応はない、昔は怖かったが今は大丈夫など。安全性が確実なら接種したいが、本当に大丈夫なのか不安の方が大きい。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>市から届いた案内をばらばらとみただけ。自分で調べたことはあまりない。</li> <li>何年までなら無料で受けられる、というのは気にしたことがある。大学に貼ってあるポスターで知った。女子大なので、そういう話題のものはよく掲示されている。</li> </ul>
公的機関からの案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回くらい案内が来たと思う。接種が無料でできるので是非受けましょう、という手紙と、ワクチンについてのリーフレットが入っていた記憶。</li> <li>ばらばらと見て「打った方がいいのかな？」と思った。結局、9：1くらいで打たない、となったが。</li> <li>身近な人で副反応があったので、ワクチンのリスクの情報を隠さずに書くことも重要なのではと思っている。市からの案内にそこまで書いてあったかは覚えていない。</li> </ul>
キャッチアップ接種の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>覚えていないが、大学に入ってから受け取ったのだと思う。このときも母が捨てた。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字が多すぎてじっくり読まないといけない気がする。</li> <li>優しいイメージで安心できそう。接種を逃した人向けということは何となく感じる。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすいイメージ。キャッチアップよりも量が少なく凝縮されているので、触れるきっかけとしてよい。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3種類のワクチンごとの副反応が分かりやすい。</li> <li>救済制度は本当？と思った。あっても審査が厳しそうなおイメージ。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットを読んで「打った方がいいかな」という気持ちは増えたが、身近に副反応で動けなくなった人がいるので、不安な気持ちが拭えない。</li> <li>下半身不随とか書かれてあったのは、「あ、本当なんだな」というのは感じた。そういうことも書いてあるのはいいこと。リスクを理解していないとわからないこともあるので。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙が良い。配布や貸し出しができる。</li> <li>学校の保健の授業で資料として配布されたら良いと思う。授業中なら半ば強制的に参加できる。</li> <li>文字よりは動画のほうがいい。</li> </ul>
ワクチン接種に対する考え <small>(1:絶対に接種したくない 4:どちらともいえない 7:ぜひ接種したい)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「3」。調査の前は「2」。</li> <li>リーフレットを読み、子宮頸がんやワクチンの知識が深まったが、まだリスクの方が上回る。</li> <li>自分にとってワクチンはあまり必要のないものだと思っている。母の反対が大きい。</li> <li>自分の中で母の存在が偉大で、母の言うことが一番正しいと思っている節がある。母の言うとおりにして外れたことがない。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが接種しているワクチンはどれか、各ワクチンのメリットデメリットは知りたい。みんなが接種しているということはリスクが低いと思う。</li> <li>親しい人からの情報なら安心だが、医療関係ではない人からの本音は聞きたい。医療従事者は勧める人が多いと思うので。</li> <li>インフルエンサーは嘘をつくと思っているので、一般人の話なら聞いてみたい。</li> </ul>



No.8

職業（年齢） 新大学1年（20歳）	同居家族 父、母、妹（2人）	接種経験 あり（3回）	接種時期 1回目：2023年夏、2回目：1回目の2か月後、3回目：2023年12月
	居住地 関東	今後の接種予定 —	家族・周囲の接種状況 妹（中学生、高校生）：接種する予定

普段の接触媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビは常にNHKのニュースが流れている。家族全員、ニュースはNHKで見る習慣がついている。</li> <li>新聞は日経新聞を取っているのので、朝は目を通して。子どもの頃は朝日小学生新聞を購読していた。</li> <li>SNSはInstagram、YouTubeではメイク情報をよく見る。</li> <li>何かを調べる時はGoogle検索。まずは公式ページを見て、次に個人的な意見を深堀りする。比較サイトも利用する。</li> </ul>
HPVワクチンについて知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学か高校生くらいの頃に案内が届き、母からワクチンの存在について聞いた。</li> <li>その頃、接種推奨がストップするかもしれないという話があったので、「一度考え直そう」ということで見送りにした。</li> <li>当時の案内の内容については覚えていない。</li> </ul>
ワクチンの印象	
ワクチン学校での説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業で、ほんの少し触れた程度。接種する・しないの意見に関わるようなことは言わないようにしていたと思うので、あまり深く触れられてはいなかった。</li> </ul>
接種を決めた経緯・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年の夏くらいにキャッチアップ接種の案内と接種券が届いた。ワクチンについて調べると、唯一がん予防ができることがわかった。子宮頸がんは女性としてリスクがない病気ではないから、接種できるならしようと、母との間で気持ちが固まった。</li> <li>ワクチンの種類も調べ、医師が推奨した新しい9価のワクチンが公費で接種できるまで待つことにした。受験時期との兼ね合いもあり、2023年の夏に接種することにした。</li> </ul>
ワクチンについての情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>母が婦人科に行った際、医師に話を聞いたり、ネットで情報収集してメリットデメリットを把握していた。</li> <li>同時に自分でも、国のHPでどんなワクチンか、何歳まで接種できるかを調べた。その後、子宮頸がんについて病院のHPやオフィシャルなもので調べ、ワクチンを推奨する意見、推奨しない意見どちらも読んだ。</li> <li>病院のHPにワクチンの種類について記載があったので、かかりつけの婦人科に行き、「HPVワクチンを受けたいが、新しいワクチンが出るという噂を聞いた」と相談した。</li> <li>医師から新しいワクチンの効果について説明を聞いて、「選べるなら新しいほうがいい」と、9価ワクチンを推奨してもらった。副反応についてもこの時、説明を受けた。</li> <li>接種を最後まで押ししたのは、医師の話を聞いたこと。母も勧めてくれて既に受ける気持ちになっていたが、専門家の方からデータに基づいたリスクの話聞き、そのうえで「推奨する」と言ってくれたのが大きかった。</li> </ul>
キャッチアップ接種の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>市から接種券とともにワクチンの案内が送られてきた。明確に書いてあったか定かではないが、子宮頸がんを予防できるとわかったのは、一つ大きかった。</li> <li>公費で接種できる期間は書いてあったので、時期は意識した。</li> <li>自分で調べた情報も多かったが、案内を読んで得た情報も多かった。</li> </ul>

厚生労働省作成リーフレット感想	<p>&lt;キャッチアップ版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がんとは？と書かれているのに、病気のリスクしか書かれておらず、どんな病気が自分で調べた。</li> <li>インパクトがあったのは「対象年齢を過ぎても接種の効果はありますか？」。なんとなく知ってはいたが、「安全性の懸念は示されていない」とはっきり書かれていた。16歳くらいが一番効果が高い、というのは知らないことだった。</li> </ul> <p>&lt;概要版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>唯一ワクチンで防げるがんだということを強調してもらえるとわかりやすいと思う。</li> </ul> <p>&lt;詳細版&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図が多く、とても読みやすい。</li> <li>ワクチンによって副反応が違うと医師に説明を受けていたが、詳細版でもそう書かれており、分かりやすかった。非常に低い確率の重篤な症状だけにフォーカスされた情報だけ見て恐れるのは違うと思うので、この表はとても良い。</li> </ul> <p>&lt;その他感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「防げるがん」だということは強調したほうが良い。そこはすごく重要で、唯一無二の良い点だと思うので。</li> </ul>
望ましい情報の受け取り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分は紙で見た方が分かりやすいが、グラフや図が多いので、PDFや動画などでもみられると、今の世代にも手が届きやすい。</li> <li>病院と学校で受け取れると良いが、受診しない人は見られないので、保健体育の授業で配布されると嬉しい。全員に配られる機会が平等にあって、判断は個人に任せる形が親切かと思う。</li> </ul>
ワクチンについて知りたかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>副反応や後遺症のリスクが大きめだと認識はしていたので、それに対して他の人はどんな捉え方をして接種したのか、または接種しないという判断をしたのか、意見を聞きたかった。</li> <li>できれば保健体育の授業とか講演会とかで、それぞれの人の意見が行き渡るのがいいと思う。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>がんを予防できることは大きいと思う。エビデンスがあったうえで医薬品として存在している。そのことを学校で周知しておくべきじゃないかと、当時も少し思った。これほど大事なことなのに少ししか触れていない。効果とリスクとそれぞれ話してもらったほうが、知らずに終わってしまうよりはいい。</li> </ul>

# インタビューフロー（親子ペアインタビュー）①

- 2005年度～2011年度生まれの女性（2023年度に小学校6年～高校3年相当になった女性）
- 上記女性の母親

◆「HPVワクチン」インタビューフロー（親子90分）			
目的：納得・安心してHPVワクチンの接種を判断できるような情報提供のあり方について検討するための示唆を得る			
Time	Title	内容	検証視点・備考
3min	趣旨説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンに関するインタビューであること</li> <li>司会者は調査会社に所属する人間で、委託されていること</li> <li>「本インタビューはHPVワクチンに対するお考えや、情報収集方法などについてお尋ねすることが目的であり、接種をお勧めしたり、お考えを肯定、否定するものではありません。「正しい」答えがあるものではないので、率直なお意見やお考えをお聞かせください。」</li> <li>個人情報の取り扱いについて ●撮影、録音の許可確認</li> </ul>	趣旨説明 ※「接種をお勧めしたり～」は、規定回数が完了している人は不要
5min	自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>お名前（仮名/本名どちらでもOK。どのようにお呼びすればよいか尋ねる）、お住まい（市区町村まで差し支えない範囲で）、ご家族構成、お母様ご職業、お子さん学年、習い事や趣味</li> </ul>	対象者プロフィールの把握
7min	普段の情報接触	<p>★インタビューの流れ説明</p> <p>はじめはお母様 + お子さんで進め、最後にお母様だけ、お子さんだけにお尋ねする予定。その時になったらお声をけるので、お母様/お子さんは少し離れたところでお待ちください。</p> <p>●普段の生活における接触媒体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普段よく見るものはどんなものがありますか？</li> <li>テレビ、インターネット、雑誌、新聞、SNSなど インスタなど具体的な名称が分かれば確認</li> <li>お子さんは自分用のパソコンやスマートフォンを持っていますか？ネットの使用に制限はありますか？</li> </ul>	普段接触している媒体
15/90			

30min		HPVワクチン接種検討について	
	(母子)	<p>●HPVワクチンの接種状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビュー時における、HPVワクチンの接種状況・接種意向（アンケート時と変わりがないか）※接種経験がある場合、接種を受けた年齢/時期と、その時期にした理由を聞く</li> <li>対象のお子さん以外に、ご家族の中でHPVワクチンを接種した人はいますか？</li> <li>いとこや親戚、仲の良いお友達はどうですか？</li> </ul> <p>●HPVワクチンの情報接触</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※HPVワクチンに関する情報接触の際、どんな媒体で、何を知ったのか、それが十分だったのかを確認する</li> </ul>	HPVワクチン接種状況
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンという存在を知ったのはいつ、何で見聞きましたか？</li> <li>このワクチンはどういうものか、と受け取りましたか？</li> <li>HPVワクチンのことを初めて知った時、どう感じましたか？（ポジネガ）その理由</li> <li>今回HPVワクチンをお子さんに接種した方が良かったと思った最初のきっかけはいつ、何でしたか？</li> </ul>	母子の認知タイミングは異なるか 受け止めの温度差はあるか 母が子供に接種させたいと思う
	母子別々に確認(子→母)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに情報を得て、接種に対する考え方は変わりましたか？どのような情報が加わることで変わりましたか？</li> <li>接種を決めるまでに、医師や看護師の説明を受けましたか？あった場合どんなタイミングでどんな説明でしたか？</li> </ul>	きっかけやタイミング
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今現在HPVワクチンの接種を決めかねているのはどうしてですか？</li> <li>今の情報は、最初に知った時から何か増えましたか？何でどんな情報が追加されましたか？</li> <li>これまでに、医師や専門家の説明を受けましたか？あった場合どんなタイミングでどんな説明でしたか？</li> </ul>	※接種検討者のみ
	(子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇さんは、HPVワクチンを受けたいと思いませんか？</li> <li>それとお母さんや誰かがおすすめるから、打った方がいいのかな、と思いませんか？それは誰？</li> <li>(+「おすすめるから」以外に、周りの人が「接種した」となどの「事実」が影響したかどうか、きく)</li> </ul>	子供は常に母からの勧めで、接種に至るのか？
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「接種しよう」と決めた一番のきっかけは何ですか？（※接種検討中の人は除く）</li> <li>母はどんな情報が必要なのか</li> <li>どこで見たのか</li> </ul>	→であれば、今後母向けの情報が必要であるはず
	(子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンについて、お母さん以外、誰から聞いたことはありましたか？</li> <li>自分で調べたことはありましたか？どのような方法で検索し、どのような情報が気になりますか？</li> </ul>	
	(母)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報が足りないか、わかりづらいと思ったことはありますか？</li> </ul>	子供が主体的に動くことはあるのか →であれば、どんな情報が必要なのか、どこで見たのか

	(母)	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチン接種を決定するまで</li> <li>HPVワクチンを受けると決めるまでの間に、親子で相談したり、話したりしたことはありましたか？</li> <li>具体的にどんな場面で、どんな会話がありましたか？</li> <li>普段からお子さんについて何か決めるときに、親子で相談するほうですか？親御さんが決めることが多いですか？</li> <li>例：学校の授業で出てきた、誰かが接種した、ネットの記事で見た・・・など</li> </ul>	親子の会話はどの程度行われているのか、どんな内容か
	(母)	<ul style="list-style-type: none"> <li>お母様の気持ちとして、お子さんが嫌だと云ったらどうするつもりでしたか？/どうする予定ですか？</li> </ul>	子供が拒んだ場合、どのようにするつもりだったのか
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機が熟すのを待つ、諦める、何とか誘導する、医師など知識のある人に頼る、など その理由</li> <li>お子さんにはどんなふうにご説明しましたか？その時どのような情報が役に立ちましたか？</li> </ul>	
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で接種に対する意見が違った場合、それはどのような点についてですか？</li> <li>その点について、何か話し合ったことはありますか？</li> </ul>	
45/90			
20min	厚生労働省発行物について		
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公的機関発行物の評価</li> <li>自治体から送られてきた、HPVワクチンの接種についての案内（封書、はがきなど）を見たことはありますか？</li> <li>どんなことが書かれていたか記憶がありますか？</li> <li>あなたにとって、HPVワクチンを受けるかどうかを決めるときに必要な情報は何か？</li> <li>そのほかに、こういうことが知りたかったというものはありますか？</li> </ul>	
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●厚生労働省発行リーフレットの評価</li> <li>※「小学校6年～高校1年相当 女の子と保護者の方へ大切なお知らせ（概要版）」</li> <li>※「小学校6年～高校1年相当 女の子と保護者の方へ大切なお知らせ（詳細版）」</li> <li>※「高校2年・3年相当のお子様の場合：平成9年度～平成18年度生まれまでの女性へ大切なお知らせ」もご用意いただく</li> </ul>	
	(母子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回配布した、厚生労働省から出ているこれらのリーフレットについてお尋ねします</li> <li>このリーフレットはこの調査の前から知っていましたか？</li> <li>知っている場合は、どこで、どんな場面で知りましたか？その時中を読みましたか？（概要/詳細を明らかに）</li> <li>印象は？</li> </ul>	リーフレットの認知度

# インタビューフロー（親子ペアインタビュー）②

- 2005年度～2011年度生まれの女性（2023年度に小学校6年～高校3年相当になった女性）
- 上記女性の母親

0	(母子)	・今回インタビューのためにご覧いただいたと思いますが、第一印象はどうでしたか？（概要/詳細を明らかに） お母様とお子さんと一緒に読まれたか？ 内容は理解できましたか？難しかったところ、わからなかったのはどこですか？ それらについて、ご自分で調べましたか？調べた場合は何でどのように解決しましたか？	リーフレットの印象、不透明、 不足情報の把握
	(母子)	・接種前、接種を決める前にこのリーフレットを見ていた場合、このリーフレットが接種するという方針に影響を与えましたか？ 接種をする予定の場合、このリーフレットを見ていたら、接種方針に影響を与えましたか？ それはどの部分がどのように影響しますか？ 逆に、このリーフレットでは接種を後押しできないでしょうか？その理由	リーフレットが接種の判断材料に なっているか、もしくはなっていない
	(母子) 接種検討者のみ	・接種を決めかねている場合、このリーフレットが接種する・しないに影響を与えましたか？ それはどの部分がどのように影響しましたか？	※接種検討者のみ
	(母子)	・冒頭で聞いた、不足していた情報はここには掲載されていますか？ されていない場合、このリーフレットに欲しいですか？それとも別の方法で知りたいですか？その理由	場合、このリーフレットの役割は？
	(母子)	●リーフレット、その他ツールの置き場所 ・このリーフレットはどこで配られたら目に留まると思いますか？	厚労省発行物の置き場所として 最適なのはどこか
(45/90)			
20min	お母様インタビュー		
		●HPVワクチン接種に対する態度 ・今回接種した/接種する予定/接種を検討中であると伺いましたが、接種する時/今の時点で、7段階の目盛りで、1 絶対に接種したくない 2 3 4 どちらともいえない 5 6 7 ぜひ接種したい そう考える理由は何ですか？ 必要があると思うか思わないか。必要があると思うのを受けていない場合、それはなぜか。 それらはどんな方法で知ることができればよいでしょうか？その理由 -新聞、インターネット、市町村のお知らせ、手紙、医師から、学校でなど	懸念点の有無、懸念の払しょく に必要な情報と、情報提供者、 提供ツールの確認 懸念がない場合、なぜないのか
		●HPVワクチン接種に関する情報接触の実態把握 学校で、HPVワクチンのことについて聞いたことはありますか？ 先生から話があったり、授業で聞いたことはありますか？どんな風に説明されましたか？ ・HPVワクチンのことを知ってから、お友達とこのワクチンについて話したことはありますか？ ある場合、どんなことを話しましたか？  説明を読んだり聞いたりして、わからなかったところはありますか？ あった場合、誰かに聞きましたか。それで解決しましたか？ →選択式で画面共有 1. 子宮頸がんにかかる仕組み、理由 2. 子宮頸がんになると、どんなデメリットがあるのか 3. HPVワクチンの種類と、それぞれのメリットデメリット 4. みんなが接種しているHPVワクチンどれか 5. なぜHPVワクチン打った方がよいのか 6. なぜ今HPVワクチン打った方がよいのか 7. 注射は痛くないのか、どこに打つのか 8. 本当はHPVワクチンが嫌だ、怖い、ということ 9. その他	学校でのHPVワクチンがどのように 取り扱われているか  子供たちの間ではどんな会話が されているのか  母側の知識不足、抵抗ある個所 の把握  子供側の疑問、言いにくい箇所 の把握
		●HPVワクチン接種の説明に関して困ったこと ・今回接種/検討するにあたり、ご家庭で話をされたと思いますが、説明が難しかったこと、質問されて答えにくかったことはありましたか？それはどんなことですか？ それらの説明は、もっと詳細な説明があればよかったですか、学校や医療機関が担ってくれたらいいのに、動画があればいいのに、と思いましたか？ ・ご自分以外の人、モノに説明してほしいと思う場合、そう思ったのはなぜですか？ -難しい、面倒、恥ずかしい、親だと反発する、など	母側の懸念は、自分自身の 情報不足に起因するのか、 漠とした不安か  これまでの親子関係による場合 何が代理になれるのか
(65/90)			

20min	お父さんインタビュー		
		●HPVワクチン接種に対する態度 ・今回接種した/接種する予定/接種を検討中であると伺いましたが、接種する時/今の時点で、7段階の目盛りで、1 絶対に接種したくない 2 3 4 どちらともいえない 5 6 7 ぜひ接種したい そう考える理由は何ですか？ 必要があると思うか思わないか。必要があると思うのを受けていない場合、それはなぜか。 受けたいと思った理由、受けたくないと思った理由を教えてください。 受けるかどうか決めようとするときに、何か気になることかわからないことはありますか？ それらはどんな方法で知ることができればよいでしょうか？その理由 -新聞、インターネット、市町村のお知らせ、手紙、医師から、学校でなど	懸念点の有無、懸念の払しょく に必要な情報と、情報提供者、 提供ツールの確認 懸念がない場合、なぜないのか
		●HPVワクチン接種に関する情報接触の実態把握 学校で、HPVワクチンのことについて聞いたことはありますか？ 先生から話があったり、授業で聞いたことはありますか？どんな風に説明されましたか？ ・HPVワクチンのことを知ってから、お友達とこのワクチンについて話したことはありますか？ ある場合、どんなことを話しましたか？  説明を読んだり聞いたりして、わからなかったところはありますか？ あった場合、誰かに聞きましたか。それで解決しましたか？ →選択式で画面共有 1. 子宮頸がんにかかる仕組み、理由 2. 子宮頸がんになると、どんなデメリットがあるのか 3. HPVワクチンの種類と、それぞれのメリットデメリット 4. みんなが接種しているHPVワクチンどれか 5. なぜHPVワクチン打った方がよいのか 6. なぜ今HPVワクチン打った方がよいのか 7. 注射は痛くないのか、どこに打つのか 8. 本当はHPVワクチンが嫌だ、怖い、ということ 9. その他	学校でのHPVワクチンがどのように 取り扱われているか  子供たちの間ではどんな会話が されているのか  母側の知識不足、抵抗ある個所 の把握  子供側の疑問、言いにくい箇所 の把握
		●HPVワクチン接種の説明に関して困ったこと ・今回接種/検討するにあたり、ご家庭で話をされたと思いますが、説明が難しかったこと、質問されて答えにくかったことはありましたか？それはどんなことですか？ それらの説明は、もっと詳細な説明があればよかったですか、学校や医療機関が担ってくれたらいいのに、動画があればいいのに、と思いましたか？ ・ご自分以外の人、モノに説明してほしいと思う場合、そう思ったのはなぜですか？ -難しい、面倒、恥ずかしい、親だと反発する、など	母側の懸念は、自分自身の 情報不足に起因するのか、 漠とした不安か  これまでの親子関係による場合 何が代理になれるのか
(85/90)			
5min	追加質問・謝礼		
		●追加質問 ●謝辞	
(90/90)			

# インタビューフロー（個別インタビュー）①

- 1997年度～2004年度生まれの女性（2023年度に19歳～26歳になった女性）

◆HPVワクチンインタビューフロー（単独60分）			
目的：納得・安心してHPVワクチンの接種を判断できるような情報提供のあり方について検討するための示唆を得る			
Time	Title	内容	検証視点・備考
3min	趣旨説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンに関するインタビューであること</li> <li>司会者は調査会社に所属する人間で、委託されていること</li> <li>「本インタビューはHPVワクチンに対するお考えや、情報収集方法などについてお尋ねすることが目的であり、接種をお勧めしたり、お考えを肯定、否定するものではありません。「正しい」答えがあるものではないので、率直なお意見やお考えをお聞かせください。」</li> <li>個人情報の取り扱いについて ●撮影・録音の許可確認</li> </ul>	趣旨説明 ※「接種をお勧めしたり～」は、規定回数が完了している人は不要
(3/60)			
3min	自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>お名前（仮名/本名どちらでもOK。どのようにお呼びすればよいか尋ねる）、お住まい（市区町村まで差し支えない範囲で）、ご家族構成、ご職業、習い事や趣味</li> <li>※学生の場合、大学院生/大学生/専門学校生/短大生か、をきく</li> </ul>	対象者プロフィールの把握
(6/60)			
4min	普段の情報接触	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活における接触媒体</li> <li>「普段よく見るもの/どんなものがありますか？」</li> <li>テレビ、インターネット、雑誌、新聞、SNSなど具体的な名称が分かれば確認</li> <li>「学生の場合、自分の用パソコンやスマートフォンを持っていますか？ネットの使用に制限はありますか？」</li> </ul>	普段接触している媒体
(10/60)			

15min	HPVワクチン接種検討について	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンの接種状況確認</li> <li>インタビュー時における、HPVワクチンの接種状況・接種意向（アンケート時と変わりがないか）</li> <li>自分以外に、ご家族の中でHPVワクチンを接種した人はいますか？いとご親戚、仲の良い友達はどうですか？</li> </ul>	HPVワクチン接種状況 ※接種経験がある場合、接種を受けた年齢/時期と、その時期にした理由を聞く
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンの情報接触</li> <li>※HPVワクチンに関する情報接触の際、どんな媒体で、何を知ったのか、それが十分だったのかを確認する</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンという存在を知ったのはいつ、何で見聞きましたか？このワクチンはどういふものだと、受け取りましたか？</li> <li>HPVワクチンのことを初めて知った時、どう感じましたか？（ポジネガ）その理由</li> <li>今回HPVワクチンを接種した方が良かった最初のきっかけはいつ、何でしたか？</li> <li>新たな情報を得て、接種に対する考え方は変わりましたか？どのような情報が加わることで変わりましたか？</li> <li>接種を決めるまでに、医師や看護師の説明を受けましたか？あった場合どんなタイミングでどんな説明でしたか？</li> <li>HPVワクチン打った方がいいよ、と誰かに言われたことはありますか？それは誰？</li> </ul>	認知タイミングと接種を検討するタイミングのタイムラグはあるか ※↓母親に関する質問を追加？ 子供は常に母からの勧め、接種に至るのか？ →であれば、今後母向けの情報が必要であるはず
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今現在HPVワクチンの接種を決めかねているのはどうしてですか？</li> <li>今の情報は、最初に知った時から何か増えましたか？何でどんな情報が追加されましたか？</li> <li>これまでに、医師や看護師の説明を受けましたか？あった場合どんなタイミングでどんな説明でしたか？</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「接種しよう」と決めた一番のきっかけは何ですか？（※接種検討中の人は除く）</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンについて、自分で調べたことはありましたか？どのような方法で検索し、どのような情報が気になりましたか？</li> <li>情報が足りなかったか、わかりづらかったことはありますか？</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチン接種を決定するまで</li> <li>HPVワクチンを受けると決めるまでの間に、親御さんに相談したり、話したりしたことはありましたか？</li> <li>普段、何かを決めるときに、親御さんに相談するほうですか？</li> <li>誰かと相談したり会話がありましたか？具体的にどんな場面で、どんな会話がありましたか？</li> <li>例：学校の授業で出てきた、誰かが接種した、ネットの記事で見た・・・など</li> <li>周りの人で、ワクチンを打たない派の人はいましたか？その理由は何か話していましたか？</li> <li>あなたはその話を聞いてどう思いましたか？</li> <li>この会話の中で、どのような話をしましたか？そのときに何か役立つ情報はありましたか？</li> </ul>	検討～決定に誰かと相談するのかが 検討～決定で、どんなツールが利用されているのか、もしくは何も無いのか？
(25/60)		

20min	厚生労働省発行物について	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的機関発行物の評価</li> <li>「自治体から送られてきた、HPVワクチンの接種についての案内（封書、はがきなど）を見たことはありますか？どんなことが書かれていたか記憶がありますか？あなたにとって、HPVワクチンを受けかどうかを決めるときに必要な情報は何ですか？そのほかに、こういうことが知りたかったというものはありますか？」</li> <li>厚生労働省発行リーフレットの評価</li> <li>※「小学校6年～高校1年相当 女の子と保護者の方へ大切なお知らせ（概要版）ピンク」「小学校6年～高校1年相当 女の子と保護者の方へ大切なお知らせ（詳細版）水色」「平成9年度～平成18年度生まれまでの女性へ大切なお知らせ 紫」をご用意いただく</li> </ul>	リーフレットの認知度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回配布した、厚生労働省から出ているリーフレットについてお尋ねします</li> <li>このリーフレットはこの調査の前から知っていましたか？</li> <li>知っている場合は、どこで、どんな場面で知りましたか？その時中を読みましたか？（概要/詳細/紫を明らかに）</li> <li>印象は？</li> <li>今回インタビューのためにご覧いただいたと思いますが、第一印象はどうでしたか？（概要/詳細/紫を明らかに）</li> <li>内容は理解できましたか？難しかったところ、わからなかったのはどこですか？</li> <li>それらについて、ご自分で調べましたか？調べた場合は何でどのように？解決しましたか？</li> <li>接種前、接種を決める前にこのリーフレットを見ていた場合、このリーフレットが接種するよう方針に影響を与えましたか？</li> <li>接種をする予定の場合、このリーフレットを見ていたら、接種方針に影響を与えましたか？</li> <li>それはどの部分がどのように影響しますか？</li> </ul>	リーフレットの印象、不透明、不足情報の把握
	<ul style="list-style-type: none"> <li>接種を決めかねている場合、このリーフレットが接種する・しないに影響を与えましたか？</li> <li>それはどの部分がどのように影響しましたか？</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭で聞いた、不足していた情報はここには掲載されていますか？</li> <li>されていない場合、このリーフレットに欲しいですか？それとも別の方法で知りたかったですか？その理由</li> <li>リーフレット、その他ツールの置き場所</li> <li>このリーフレットはどこで配られたら目に留まると思いますか？</li> </ul>	場合、このリーフレットの役割は？ 厚生労働省発行物の置き場所として最適なものはどこか
(45/60)		

# インタビューフロー（個別インタビュー）②

- 1997年度～2004年度生まれの女性（2023年度に19歳～26歳になった女性）

10min	HPVワクチンへの態度	
(55/60)	<p>●HPVワクチンに対する態度</p> <p>・今回接種した/接種する予定/接種を検討中であると伺いましたが、接種する時/今の時点で、7段階の目盛りで、1絶対に接種したくない 2 3 4どちらともいえない 5 6 7ぜひ接種したい</p> <p>そう考える理由は何ですか？</p> <p>必要があると思うかと思うか、必要があると思うに受けていない場合、それはなぜか。</p> <p>それらはどんな方法で知ることができればよいでしょうか？その理由</p> <p>→新聞、インターネット、市町村のお知らせ、手紙、医師から、保健師・助産師から、学校などで</p> <p>●HPVワクチン接種に関する情報接触の実態把握</p> <p>・学校ではHPVワクチンについて先生から話がありましたか？</p> <p>あった場合、それはどんな時ですか？どんな風に説明されましたか？ →冒頭で回答済みの場合有</p> <p>・HPVワクチンのことを知ってから、お友達とこのワクチンについて話したことはありますか？</p> <p>ある場合、どんなことを話しましたか？ →冒頭で回答済みの場合有</p> <p>・このワクチンについて、ご家族や友達に聞いてみたいと思っても、聞きにくかった質問や、言い出しにくかったことはありますか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>必要に応じて提示</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子宮頸がんにかかる仕組み、理由</li> <li>2. 子宮頸がんになると、どんなデメリットがあるのか</li> <li>3. HPVワクチンの種類と、それぞれのメリットデメリット</li> <li>4. みんなが接種しているHPVワクチンはどれか</li> <li>5. なぜHPVワクチンを打った方がいいのか</li> <li>6. なぜ「今」HPVワクチンを打った方がいいのか</li> <li>7. 注射は痛くないのか、どこに打つか</li> <li>8. 本当はHPVワクチンが嫌だ、怖い、ということ</li> <li>9. その他</li> </ol> </div> <p>・HPVワクチンの説明や、打った人のお話は聞いてみたいと思いませんか？</p> <p>それは、どんな方法で聞けたら良いですか？何が聞いてみたいですか？</p> <p>→医師、教師、保健の先生、お母様、SNSのインフルエンサー、同世代の女性</p>	<p>懸念点の有無、懸念の払しょくに必要な情報と、情報提供者、提供ソースの確認</p> <p>懸念がない場合、なぜないのか</p> <p>学校でのHPVワクチンがどのように取り扱われているか</p> <p>若年女性の間でどんな会話がなされているのか</p> <p>他人に聞きにくい質問はあるか</p> <p>欲しい情報と、その手法</p>
5min	追加質問・贈礼	
(60/60)	<p>●追加質問</p> <p>●謝辞</p>	